

の爲めに發見せられたるなり按ずるに壺の石碑は青森縣坪村に往古ありしものなりと顯照の歌に「石ふみやけふのせはぬのはつくくにあひても猶あかぬけさ哉」とあるを見れば蓋し坪村にありしものならんか

○野田玉川 多賀城碑を去ること東方十町許路傍に小渠あり老松數株鬱茂す、昔時此邊は潮流の來往したる所なりと

夕されは汐風こしてみちのくの野田の玉川千鳥啼くなり 能因法師
みちのくの野田の玉川見渡せば汐風こしてこぼる月影 順徳院

等の古歌に依りて其名高し然れども一説に眞の野田玉川は盛岡九戸に在りと暫く記して博雅の叱正を待つ

○末の松山 岩切村字八幡に在り青松幾十株高邱を掩ふて茂る邱上に寺あり寶國寺と號す境内眺望に富み四時共に騷客をして喜ばしむるに足るものあり

なみにうつる色にや秋の越ぬらん宮城の原の末の松山 俊成女
老の波こへける身こりあはれなれことしもいまは末の松山 寂蓮法師

其他數多の古歌に依りて誰れも知る所なるが又一説に依れば眞正の末の松山は此地

に非ずして南部一の戸と福岡町との間に在りといふも倭成の女の歌に依りて之を考ふれば此説も亦疑ふべきものあり故に兩所に出し置くこととなしぬ

○奥の細路 岩切橋の北東寺前に深淵あり霧谷淵といふ此所の道路は其跡なりと宗久紀行にいふみちの國多賀の國府にも成り又うれより奥の細道といふ方を南さまに末の松山に尋ね行きぬ云々とあるは此處なり

鹽釜停車場

上野より
二百二十六哩三十九鎖

宮城縣陸前國宮城郡鹽釜町にあり當驛は松島灣に枕み仙臺を距ること僅かに四里本線中海陸聯絡の利便あるは當驛を措て他にあるなし爲めに阪、神、尾、勢、京濱及北海道各地の物産と奥羽四縣の物産とを賣買中繼するの咽喉にして港内は船舶常に出入し陸には汽車絶へず去來す一ヶ年輸出入貨物額の概算を擧ぐれば殆ど六百萬圓に垂々たり商業繁盛なる推して知るべし戸數凡千有余、人口五千七百余を有す

◎官 衙

警察署、町役場等

◎旅店

太田屋、老海兵、齋藤

◎神社

○鹽釜神社 鹽釜町北隅高邱の上に在り武甕槌命と經津命を左右に並べ祀り別宮に岐神を祀る三坐を併せて一宮正一位鹽竈大明神と稱す古來著名の神社にして殿宇の壯麗樓門の美觀共に東奥に得易からず鎮守府將軍秀衡の三男忠衡の納むる鐵燈籠あり銘に文治三年七月と刻す又古文書刀劔等あり中に政宗寄附の來國光の鞘卷太刀及び備前雲次古代黒太刀あり又林子平の作りたる石磐上の日時計、鹽竈櫻と名くる古櫻樹等あり境内は山を負ひ松島灣に臨み石階數百級巍然として樓門に達す老樹鬱蒼境域清潔にして風色最も佳なり宮傍に祠堂あり安産の神符を出す其名海内に遍し毎年舊曆正月廿八日同三月十日祭禮あり遠國より參詣するもの頗る多く市中甚た賑ふ

◎古跡

○竈の祠 市中なる旅舎海老屋本店の前に在り神竈四個を存す傳云ふ上古神の作爲し

て鹽燒業を民に教へたる跡なりと

○牛石 竈の祠の附近町家の池中に在り平常は水に浸され其背部をのみ現す毎年陰曆七月六日水を汲干したる際其全身を見る傳云往古神の鹽水を汲むに使用したる牛化して石となりしなりと里人之を牛石明神と稱す、臥牛の姿なり

◎海水浴

○菅浦田の海水浴 鹽釜より南方一里半七ヶ濱村に在り道路平坦にして馬車を通ず、此地大洋に臨み有名なる眺望ヶ崎海中に斗出し斷崖千尺松は瘡せて仙骨を磨し砂は碎けて銀粉を散す昔時伊達政宗其風光の絶奇なるを賞し因て眺望ヶ崎と名く海水浴場は其左右にあり近時追々浴客の數を加ふ

◎交通

石巻地方に往復する漁船、松島、金華山等の諸地方へ往來する各種の船舶あり貞山堀亦水運の便に富む

◎物産

蠣、石巻産雄勝石、稻名井石、化石笠石及鮮魚等

利府停車場

上野より
二百二十四哩六十六銀

宮城縣陸前國宮城郡利府村にあり當驛は岩切より別れて青森に通ずる本線第一番の停車場なり

◎神社

○青麻神社 停車場附近に在りこは中氣病祈願の神なりといふ賽するもの常に絶へず

松島停車場

上野より
二百三十二哩五銀

宮城縣陸前國宮城郡松島村にあり松島灣は當驛を距ること東南里許の處にあり道路概ね平坦にして途中一坂あれども車馬通ず此間の人力車賃大抵八九錢なり此地は日本三景の一に居り其名噴々として普く人の知る所なればこれを詳説するの要なしたる其一班を記せむに南は千賀浦より北は磯崎に到るの間大小の島嶼甚の如く布き星

の如く群がる其内重なるものを舉れば左に五大堂、寶珠、翁島等あり右には龜崎、觀月崎、觀瀾亭、苦浦、箕浦、小松崎、屏風島等あり、裸體島といへる最小島を除くの外如何なる小島と雖も島上必ず青松の繁茂せざるなく烟波漂渺白鷗漁舟其間に來往して風光の美言ふべからざるものあり旅舎には松島ホテル、觀月樓、鈴木屋、等皆清潔宏壯にして斯景を弄ぶに價するものなり松島に遊ばんと欲せば東京地方よりするものは鹽竈より小舟に棹し島嶼の間を經めぐり奇景を賞しつゝ到るを妙とす又青森地方よりするものは松島停車場より下車し腕車を驅りて到るを順路とす

○瑞巖寺 松島村に在り舊松島寺と稱す天長年中慈覺大師の創建に係る後最明寺時賴行脚して此地に來り法身上人と約し天台を禪宗と改め松島山圓福寺と號す法身上人は俗名眞壁平四郎と稱し髮を薙り宋に渡り經山の無準禪師に學び歸朝して此寺を開く尋で宋國より大覺、覺雄、覺智、覺滿、明極等の僧來り住す九十一世義山和尚の時鎌倉建長派となる慶長十年伊達政宗大に土木を起し殿宇を造營し瑞巖圓福寺と名け伊達氏の廟所となす其結構壯麗雄偉を極む本堂簾幕中に甲冑を被りたる政宗の像を安置す、又奥室の上段に更に一高座を設け藩主と雖も敢て入ることを許さず明治

九年 陛下松島御遊覽の際此寺を
 行在所に充てられ則ち此高座を以
 て御坐所に供し奉りたりといふ、
 又瑞巖の門を入り左傍斷崖の下に
 一洞窟あり時頼此裡に宿して法身
 上人と改宗を約したる所なりと謂
 ふ故に法身窟又無相窟と名く此外
 政宗手植の五葉松、八房梅等は玄
 關の左右に在り共に朝鮮より齎し
 たるものなりといふ政宗の瑞巖寺
 を詠みたる歌に「松島の松の齡に
 此寺の末さかへなん年はふるこ
 も」とあり
 物産の重なる者は鯛、實竹等とす

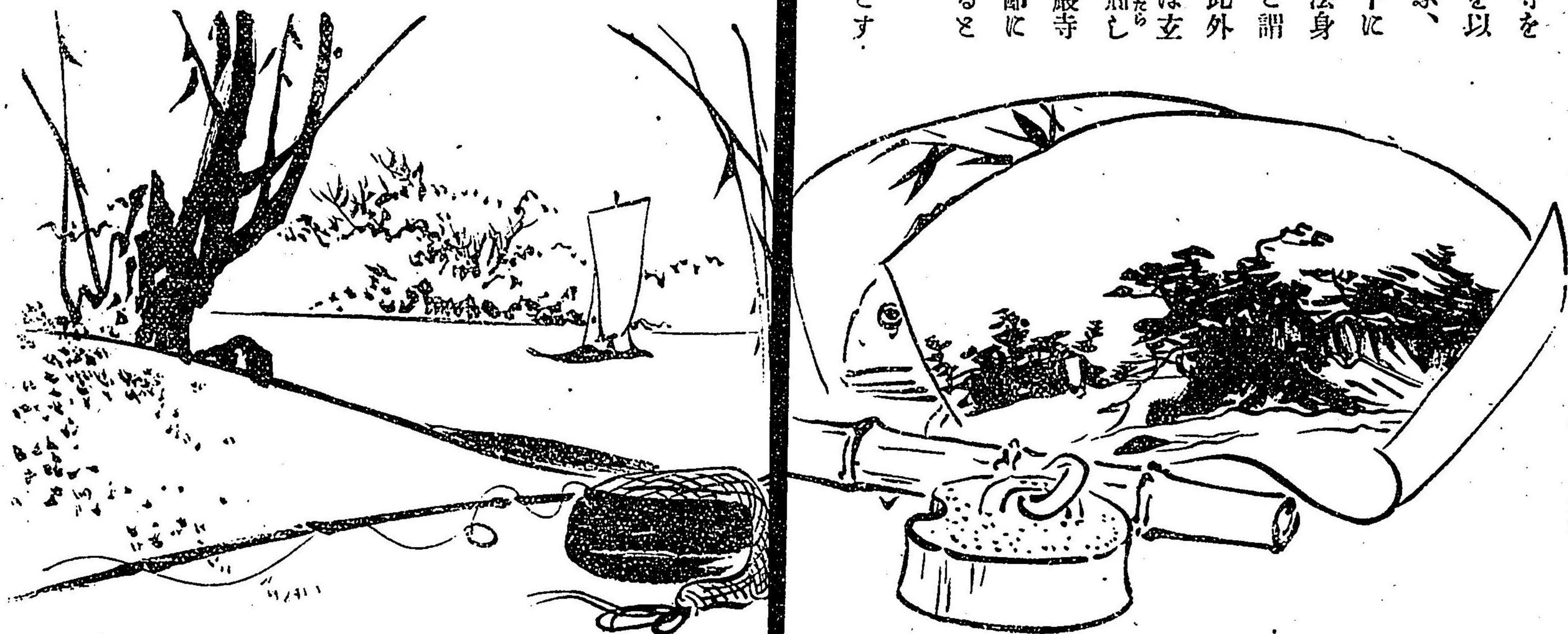
鹿島臺停車場

上野より

二百三十八哩四十五銀

宮城縣陸前國志田郡鹿島台村に
 あり當驛附近に品井沼ありて風
 景に富む

○品井沼 周圍五里廿三丁面積千
 百九十八丁吉田川は黒川郡より
 來りて此に注ぎ更に流出して二
 派となる一は高城川にして一は
 小流をなし鳴瀬川に入る、沼の
 周邊は水田に適し既に耕作する
 あり、沼中には鯉鮒等の産最多



小牛田停車場

上野より

二百四十四哩二十五鐵

宮城縣陸前國遠田郡小牛田村にあり戸數三百三十、人口二千二百余

◎神社

○小牛田の山神 停車場を距ること七八町の處に在り土俗子なきもの之に祈願すれば靈ありといふ毎年舊曆三月十二日同十月十二日の兩度に祭禮あり參詣者頗る多し

◎温泉

附近に鳴子、川渡の二温泉あり効能は俗に脚氣川度、瘡鳴子と唱ふるに依りて明かなれば又贅するの要を見ず

◎交通

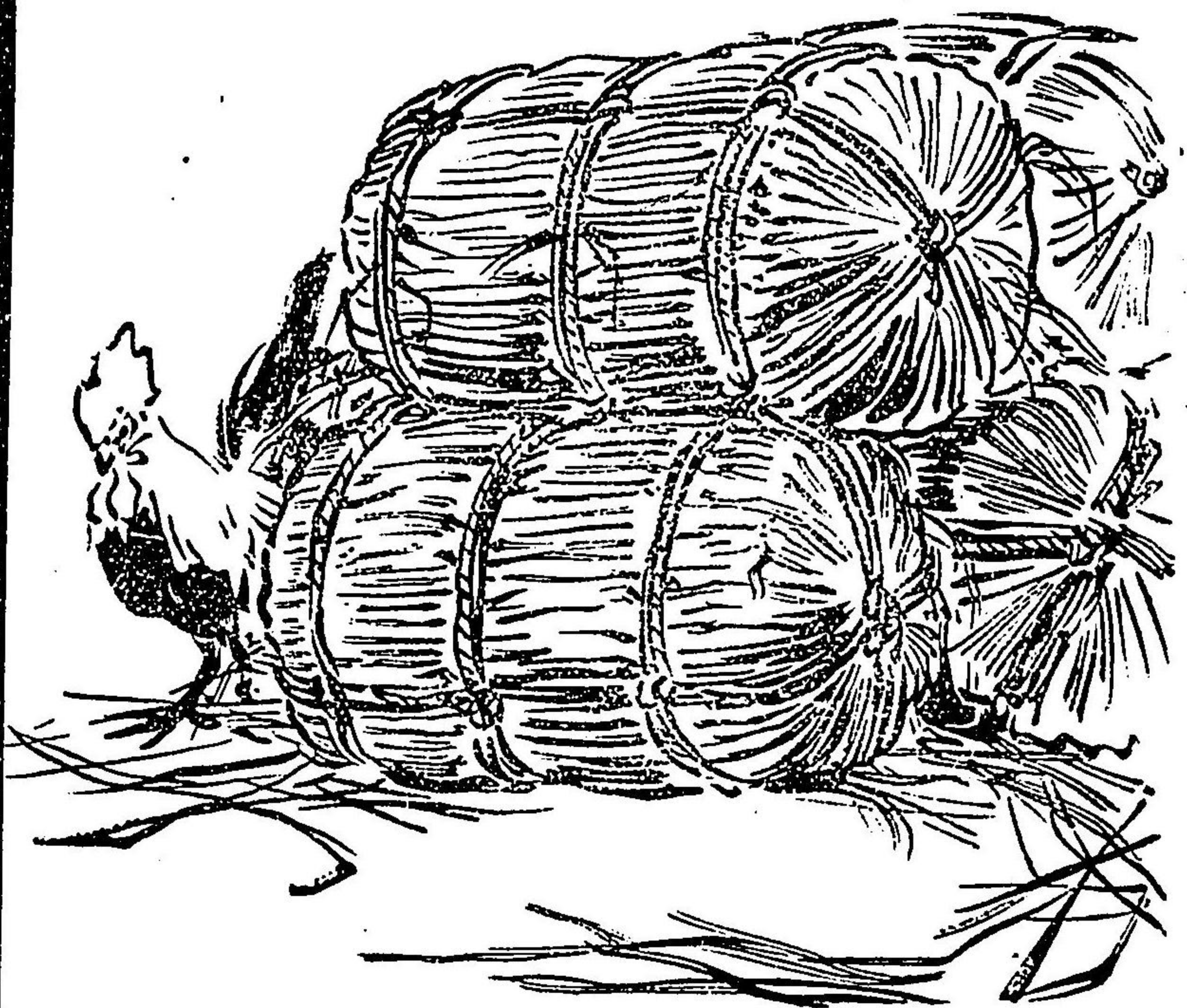
當驛より北方二里半許にして古川町あり且つ石の巻への順路にして馬車の便あり鍛冶谷軍馬育成所は北方三里許涌谷町へ二里とす
停車場近傍一二哩を距て鳴瀬川入合川あり何れも石巻港に通するを以て舟楫の便あり此地物産の重なる物は米穀にして遠田、志田、玉造、栗原四郡の平野より産出する者は多く此處に集散す隨て市街繁盛商業亦殷振なり

瀬峰停車場

上野より

二百五十一哩六十鐵

宮城縣陸前國栗原郡藤里村字瀬峰にあり當驛は戸數二三百戸を有する村落にして高



清水に到るの順路なり附近に蕪栗沼あり周圍一里廿七町

新田停車場

上野より
二百五十六哩七十二鐵

宮城縣陸前國登米郡新田村にあり當驛は佐沼町に到るの順路なり附近の伊豆沼は周圍七里十二町宮城縣最一の大沼なり

石越停車場

上野より
二百六十一哩二十二鐵

宮城縣陸前國登米郡石越村にあり當驛は若柳町に到るの順路にして米の輸出稍々盛なり

花泉停車場

上野より
二百六十六哩十九鐵

岩手縣陸中國西磐井郡花泉村にあり戸數五百余、人口凡う二千を有する村落にして此驛と次驛一の關との間に延長八百八十呎の有壁隧道あり

◎古跡

○義經の墓 停車場を距ること西方一里十五町有壁驛の西に在り義經自盡の後沼倉小次郎高次なるもの之を葬り其陵墓を建つ此地は高次の古館地にして上に山あり辨慶ヶ峰と稱す往昔辨慶經歴の地なりといふ

○津久毛橋 有壁驛より國道を南に行くこと一里半許澤邊村に在り源賴朝泰衡を攻むる時梶原景高詠歌の處なりと今は僅かに一小圮橋を存するのみ

◎旅店

油屋、佐藤屋、金澤屋、阿部屋

◎物産

生糸、繭、麻、葉蓆、編笠

一 關停車場

上野より
二百七十三哩七十三級

岩手縣陸中國西磐井郡一ノ關町字吸川小路にあり往昔田村氏の城市にして國道の要衝に當り石巻、氣仙沼今泉街道の起點地なり、戸數凡う千五百、人口七千余を有し市街繁華にして巖手縣内盛岡に亞ぐの都會なり

◎官 衙

郡役所、警察署、區裁判所、郵便電信局

◎神 社

○一ノ關町 在り坂上田村麻呂を祀る又八幡神をも合祀せり祭日は毎年四月十八日及び九月八日の兩日なり

◎寺 院

○願成寺 一ノ關町字釣山に在りて南に經堂あり輪奐美を盡し西北には酢川嶽を望み又北上川漁船の上下するを見る東山は藤原秀衡京都の三十六峯に擬せし所にして風

景頗る佳なり慈覺大師作の如來及び不動明王等の什室あり會式は四月八日及九月の兩度に施行し參詣人甚だ多し

◎物 産

生糸、真綿、麻、苧、酒、醬油

平泉停車場

上野より
二百七十八哩二十六級

岩手縣陸中國平泉村にあり此地は藤原清衡以下三代の遺跡にして前は北上川の長江に臨み後は峰嶺遠く連り衣川の清流其北を遶り磐井の平原其南に開けり古誌を見るに寛治年間藤原清衡あり後三年の役八幡公に従ひ屢々戰功ありし賞として奥羽兩國の押領使に任せられ鎮守府將軍に補せらる於此居館を豊田の里より此地に移せり其子基衡父の勲業を繼て鎮守府將軍となる基衡死して嫡子秀衡其跡を承け鎮守府將軍に任じ尋で陸奥守に拜せらる源豫州の京師を逃れ來り投するや容れて高館に入らしむ秀衡死して泰衡之を承け官祿父祖に超へて幸榮一身に集まる文治四年義經追捕の

宣言あるや父の遺言に反き之を高館に襲殺せり全五年頼朝と戦ひ大敗して遂に居館を火き東奥に逃れ家人河田次郎の爲めに弑せられて死す云々嗚呼藤氏は王室擾亂の時於て累世東北に割據し坐して六郡を制し兵塵に觸れざる事殆ど九十年其間社堂を草創し迦籃を造營し居館の如きは王室に擬して伽羅御所と稱し頗る豪奢を極めたりしも榮華百年に満たす祀は斷ち跡は滅し今や荒寥たる一小村と變し當年豪富の地朱樓碧殿の跡空しく草舍茅屋の散點するあるのみ芭蕉翁句あり「夏草や兵ものと夢の跡」此地を過る者誰か一片此の感慨なからむ

◎古 跡

○中尊寺 は清衡の勅命を奉し造營せし處にして當時の建築は建武年間大半焼失し僅かに金色堂及經藏の二字漸く全を存するのみ抑當寺は人皇五十四代仁明天皇の御宇嘉祥三年釋圓仁(則ち慈覺大帥)開基に係り初め經山の中央に一字の本堂を建て弘臺壽院と號す其後清和天皇貞觀元年に中尊寺の號を賜ひ四境を定めらる後泉天皇の御宇天喜五年源賴義安倍貞任を征伐の時日吉白山兩社を衣の關の月見坂に拜して戦勝を祈願し凱旋の後贈澤郡なる甕尻、小前澤の二邑を寄附せり堀河天皇の御宇長

治二年勅命あり藤原清衡をして當寺を經營せしめ天仁二年工を竣へ堂塔四十余宇僧坊三百余宇成る、乃ち鎮護國家の靈場たるべしとて勅願所となし給ふ、山谷の間に斐瓦相並び殿閣樓臺の結構光彩赫耀として眞に海内屈指の佛界靈場たりしに惜むべし建武四年野火延焼して堂宇悉く烏有に歸し僅に經堂及金色堂の二字を残したり、金色堂は里人光堂と稱し方三間の小宇なり外部四面悉く龜布を張り黒漆して其上に金箔を貼し内部は鐫柱彫梁悉く螺鈿珠玉を飾り壇上には定朝の作阿彌陀、觀音、勢至、多門、持國、二天、六地藏等の十一體を安置せり壇下に清衡、秀衡、基衡の棺を藏め又泉三郎忠衡(秀衡の季子)の首桶を藏す當時は其名の如く頗る壯麗なりしならむも千年に近き星霜を経て今や古色蒼然たるのみ正應元年鎌倉將軍惟康親王其額廢せむことを虞れ套堂を建て四面を包み屋上を覆ひ漸く今日に存するを得たり堂傍石碑あり芭蕉翁の句を刻す「五月雨の降殘してや光堂」經藏堂は金色堂の東北拾余歩の處に在り天正元年建る所といふ内に一切經三部を藏す其他古文書等頗る多し就中北畠顯家の書せる中尊寺供養願文は頗る長卷にして一字の大きさ方二寸許筆力雄健墨痕淋漓たり實に稀世の寶物とす卷尾書して曰く件願文者右京太夫敦光朝臣草之中納言

朝隆卿書之而有不慮之事及紛失之儀爲擬正文忽染疎毫耳鎮守將軍花押」其他古趾の存するもの毛越寺、常行堂、圓隆寺、大金堂、二階大塔等枚舉に遑あらず今暫く省略に附して遊觀者の耽賞に一任すといふ

○判官館 一に高館と稱し義經の舊蹟なり地は北上川畔に突起せる一小丘にして往時洪水の際山の半面を洗ひ去れりともべなるかな川に面せる處は斷崖絶壁にして水之に激す衣川は其前を流れて頗る眺望の勝あり義經堂新山社あり

○衣川 歴史上古來著名の川たり古歌多し
拾遺集

袂より落るなみたはみちのくのころも川とういふへかりける 讀人しれす
山家集
とりわきてこころもしみてさねわたる衣川みにきたるけうしも

西 行

○衣の里とは此邊一帶の古名なり

六帖題御歌

わきもこか衣の郷の梅の花さうくれないの色に咲くらむ 中務美二
○衣の關 此邊なるへきも今や殆んど尋ねべからず
影さゆるよはの衣の關守はねられぬまゝの月を見るかな 定 家

○衣川柵 往古貞任の據りたる處して衣川村字下衣川にあり綠苔深く封すること殆んど千年廢瓦殘礎時に或は土中より出といふ

○東稻山 北上川を隔て對岸にある山にして藤氏の盛時にありては櫻樹非常に多かりしも今や其面影さにも止めずされと風光の勝あるは平泉地方第一たり
きくもせずたわしね山の櫻花吉野の外にかゝる白雲 西 行

○達谷窟 平泉村達谷にあり中尊寺より二里許往昔夷酋の據りし處と云ふ窟内に昆沙門堂を達つ延暦年間坂上田村麻呂東夷を滅し其跡に山城國鞍馬寺を模造せりと

○五串瀧 巖美とも云ふ達谷窟より一里半許五串村にあり昔平泉の盛時にありては遊勝の地となり義經吟杖を曳けるの跡等あり瀑は大小三瀧に分れ左迄大ならさるも兩岸は恠巖重疊實に目を驚かすものあり水の之に觸るゝや泡となり雪となり溪間には飛橋を架し頗る趣を添ゆ岸上には柳櫻松樹互に相錯生し春時の美觀營ふるに物なし

前澤停車場

上野より
二百八十三哩

二〇二

○岩手縣 陸中國膽澤郡前澤町にあり當驛は水澤に亞ぐの小市にして戸數千三百余を有す

◎交通

中尊寺へ一里二十四町達谷へ三里、衣川村安倍頼時、貞任の城趾へ二里半

◎旅店

佐藤屋、太田等

◎物産

漁網、鰻鮓、生糸、雪下駄等にして附近より米穀、木材、薪炭等を出す

水澤停車場

上野より
二百八十九哩三十八銀

○岩手縣 陸中國膽澤郡真城村水澤町にあり當驛は昔時仙臺の伊達將監の舊城市にして戸數二千餘、人口凡う八千を有し繁華なる一小市なり

◎官衙

郡役所、區裁判所、警察署

◎交通

盛岡市へ十四里二町、一ノ関へ六里廿六町、黒澤尻へ四里廿三町

◎神社

○駒形神社 金ヶ崎村大字西根にあり國幣小社にして駒形神を祭る本社は水澤の西南に聳立する有名の高山駒ヶ嶽頂上に在り祭日は毎年九月十九日にして參詣者遠近より集ふ

○鎮守府八幡宮 水澤より一里許の處佐倉川村大字宇佐八幡に在り此地は鎮守府の舊趾にして九州宇佐八幡宮を遙請せし所なり其開基頗る古く且つ有名の神社なるを以て參詣するもの常に絶へず

◎旅店

二〇三

龜梨秀吉、菱屋勘七、高橋善吉

◎物産

米穀、漁網、半紙、餛飩、草履、鍋釜類、川魚等

金ヶ崎停車場

上野より
二百九十四哩十四鎖

岩手縣陸中國膽澤郡金ヶ崎村にあり一小村にして記すべきなし

黒澤尻停車場

上野より
三百四十八鎖

岩手縣陸中國東和賀郡黒澤尻村にあり當驛は元安倍貞任の弟黒澤尻五郎正任なるものゝ住みし所にして一城廓ありしも源頼義陸奥征伐の時攻陥され今は城趾の何れに在るや詳かならず地は秋田地方往來の要衝に當り戸數凡千余を有し繁華なる市邑なり

◎交通

水澤鐺山へ五里、秋田市へ三十六里、院内鐺山へ二十七里

◎旅店

南部ホテル、野村屋、金澤屋

◎物産

米穀、百合根、生糸、銅、炭繩、摺附木素木等なり

花巻停車場

上野より
三百七十九鎖

岩手縣陸中國禰貫郡花巻町はなまきにあり此地は昔鳥谷と呼安倍頼時の始て城きし所にして天正十九年淺野長政九戸を鎮め歸上の時南部信直と約し其家人北秀愛に此地を守らしめ始めて花巻と改稱したり古へ北上河岸に櫻樹多數あり暮春落花の候散りて水上に流るゝ花逆巻く波にうひて流れあへず暫し渦巻うずまききて止まりければ里人花巻の淵と呼へりぞ

郡役所、區裁判所、警察署、電信局

◎官 衙
◎交 通

土澤町へ三里、遠野町へ十一里、釜石町へ二十四里、秋田縣六郷町へ二十三里、志戸平温泉へ二里六町、大澤温泉へ三里十九町、鉛温泉へ四里十九町、新鉛温泉へ四里二十二町、釜温泉へ二里十五町

◎古 跡

○鳥谷ヶ崎城趾 花巻里川口兩町の間であり昔時南部氏鎮南の名城にして伊達政宗の銳鋒も尙當るを得ざりしと鳥谷ヶ崎神社は城主北秀愛を祀る所にして城趾内にあり祭日は毎年舊八月十七、十八の兩日にして頗る賑ふ

○延壽寺觀世音 花巻町陽光山雄山寺にあり本尊は閻浮檀金三寸布引觀世音にして田村將軍東夷征討の持佛又一體は舊城主北秀愛の守本尊黄金二寸八分の觀世音にして東國二十五番の札所となす毎月十七日緣日にして祭日は鳥谷ヶ崎神社と同日なるを以て頗る賑かなり

◎旅店及料理店

釜津田、狩野屋、後藤等旅店の重なるものにして菊七亭、門茶屋、菊屋、花屋等の料理店亦あり

石鳥谷停車場

上野より
三百十五哩六鎖

岩手縣陸中國稗貫郡好地村にあり當驛は古來銘酒及び蕎麥を以て名あり近來米の輸出稍盛なりといふ

日詰停車場

上野より
三百十八哩三十三鎖

岩手縣紫波郡赤石村北日詰にあり當驛は北上川の西岸に位する國道の一驛なり

◎交 通

南、石鳥谷へ一里二十九町、北、盛岡市へ六里十七町

◎古 跡

○比爪館の舊趾 日詰新田にありと雖ども今は宅地と變じて分明ならず館は比爪五郎季衡の居城にして季衡は秀衡の族比爪入道俊衡の子なり東鑑に後鳥羽天皇の文治九

年九月十五日比爪太郎俊衛其弟五郎秀衛等六人厨川に降るとあり

◎旅店
松島屋、美濃屋

矢幅停車場

上野より
三百二十三哩五十鐵

岩手縣陸中國紫波郡煙山村にあり

盛岡停車場

上野より
三百二十九哩七十七鐵

岩手縣陸中國南岩手郡下厨川村字木伏にあり南部氏の城市にして元木來方の城と稱する古城たりしが慶長年間南部利直三戸城より移りて城池を改修し名を盛岡と更めたり爾來累世封を此地に受け以て維新に至る當市は仙臺以北第一の都會にして東西三十六町南北十八町戸數凡り八千五百、人口三萬三千を有す商賈軒を並べ物貨輻輳し實に縣下第一の繁昌地たり瀛車の今や停車場に入らんとする所に大河あり雫石川

といふ鐵橋の長さ七百九十一呎北上川に合流せむとする所とす北上川は停車場と市街との間を流れ幅員甚だ狭し前記雫石川と加し始めて大河となる

◎官 衙

縣廳、市役所、地方裁判所、警察署、郡役所、大隊區司令部等

◎學校病院

尋常師範學校、尋常中學校、獸醫學校、實業學校、盛岡女學校、巖手女學校、農事講習所、私立盛岡病院、巖手病院

◎銀行及會社

盛岡銀行、第七十七銀行、第九十銀行、安田銀行支店、盛岡農工銀行、土木積負盛岡會社、精米會社、北上株式會社、内國通運會社支店

◎旅 店

三島屋、高興、杉本、成瀬、陸奥館、清風館

◎料理店

三上亭、秀清閣、吉田屋、瀬川

◎名所及び古跡

○石割櫻 市内内丸地方裁判所内にあり高さ七八尺長さ二丈余幅八九尺の巨石中より一株の櫻樹生ぜり幹根大にして根の周り五尺もあるべく根本より二尺許にして上は雙木となれり枝葉能く繁茂すれども其石上一土塊なし而して此樹木の成長に従ひてかゝる大石も爲めに二つに割れたるなり市人之を櫻雲石といふ蓋し如此奇觀は多く見ざる所なり

○公園地 内丸中津川の北岸にあり瓢山といふ池には多く鯉魚を養ひ池畔一二の亭榭を設く又境内の正北に招魂社あり成辰の役以來國事に殞れたる志士の靈を祀る社に隣り一大碑あり十年の役に戦死せしものゝ人名を列記し文を刻せり園内櫻樹多く春風駘蕩の候士女の來遊するもの群をなす又園内に丸竹和洋料理店及び山屋寫眞館等あり

○櫻山神社 市内大字米内字北山にあり舊藩主初代南部三郎光行及び廿六代南部大膳太夫信直兩公の靈を祀る最初城内淡路丸と稱する所にあり淡路神社と稱へしが後同所の字を櫻山と改稱せしが爲め櫻山神社と改稱するに至れり地位高燥山に接して公園を設て庭中に小池あり楓櫻枝を交へ遙かに巖手山を眺め市街を脚下に瞰るも四時

の風光頗る佳なり祭日は毎年五月廿五日にして人出甚だ多し

○見馴松 市内餌差小路菊地某氏の邸内にあり明治九年 御巡幸の時此邸宅を行在所と定められ庭前の松樹を御賞あらせられ名を賜ひて見馴の松と命せられぬ文學博士川田剛氏此園に名くるに賜松園を以てし其記を爲る之れより菊地氏庭園の名遠近に聞ゆ

○安倍館 又厨川柵といふ安倍貞任の居城趾なり縣廳所在地を距ること西方二十丁厨川村にあり、傳へ云ふ康平五年九月源賴義貞任を此處に攻めて之を誅すと盛岡八景として擧ぐる處左の如し

- 高島夜雨 鱧山秋月 圓光寺晚鐘 北上川歸帆
- 阿庭晴嵐 舟橋夕照 澤田落雁 岩手山暮雪

○岩手山 一に岩手富士と稱し停車場前面に聳ゆる高嶺にして古來著名の名山たり古歌一二を擧ぐ

うはて山うはてなからの身のはては思ひも如く誰かつけまし 人 麻 呂
思へともうはての山に年をへてくちやはてなん谷の埋木 左京大夫顯輔

◎物産

米、大豆、生糸、南部綿、縮緬、絹織物、麻布、鐵
瓶、林檎、梨子、玉葱、洋菜、晒鮓、松の實、下駄
表、木材、牛、馬等

好摩停車場

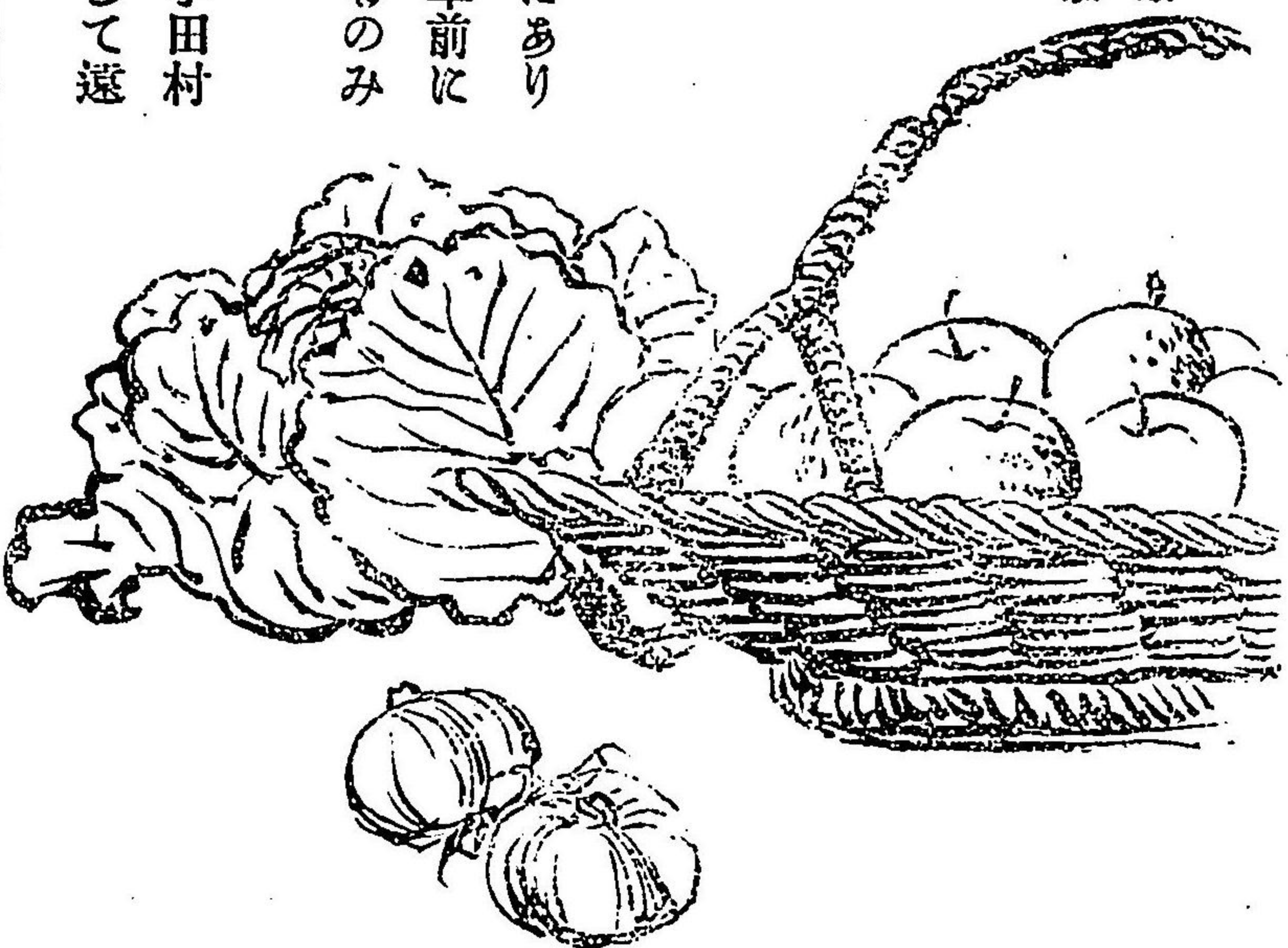
上野より

三百四十二哩七十六銀

岩手縣陸中國北岩手郡卷堀村字好摩にあり
當驛は好摩臺と稱する高原にあり停車前に
好盛館と稱する旅店及一二の茶店あるのみ

◎神社

○駒形神社 停車場を距東南十五六丁芋田村
に在り祭日は毎年舊曆六月十七日にして遠



近諸地より參詣する者頗る多く尙年々増加の傾あり神體は石してこれに祈願を籠れ
は名馬を得ると唱へ信心者は祭日特に持馬に盛裝して連れ詣る

川口停車場

上野より

三百四十六哩三十六銀

岩手縣陸中國川口村にあり近傍に卷堀神社あり舊正月十八日及舊八月三日に祭祀を
執行す

沼宮内停車場

上野より

三百四十九哩四十九銀

岩手縣陸中國北岩手郡沼宮内村にあり當驛は昔時沼宮内少輔の居りし所にして古
古城趾ありしかど今は其所在地詳かならず戸數凡う五百、人口三千許を有する一小
驛たり

◎官衙

警察署、郵便局

◎交通

盛岡市を距ること九里、南川口へ一里

◎古跡

○弓珥清水 當驛より二里半許新通寺内に在り傳へ云ふ天喜五年六月源賴義賊魁阿倍頼時を討つ時に炎暑甚しく士卒大に渴に苦しむ賴義因て皇天を拜し伏して觀音を念じ弓珥を以て岩頭を衝きしに清水立るに湧出し兵士の渴を醫せりと今尙滾々として源泉常に饒かなり是即ち兩陸を貫通する長江北上川の水源なり寺什には義家陣中に用ひたる釜あり

◎旅店

山口、愛宕旅館、高橋

◎物産

米、大豆、牛馬、生糸、木材、木炭、木皮、林檎、百合

中山停車場

上野より
三百五十七哩二十四鎖

岩手縣陸奥國二戸郡小鳥谷村にあり當驛は日本鐵道全線路中最高の地にして海面を抜くと千四百九十四呎線路は四十分一急勾配を以て昇れり昔此山より北方を奥の細道と云へり西行法師の歌に「東路のあひの中山ほと狭み心の奥の見はこりあらめ」とは此處をいふならむ此地方は特に牧馬に適するを以て三本木軍馬育成所の支所あり陸軍省の用馬を養ふ

◎旅店

柴田(停車場前)

小鳥谷停車場

上野より
三百六十六哩七十一鎖

岩手縣陸奥國二戸郡小鳥谷村字小繫にあり當驛は中山と同じく山間の一小村落に過

ぞす而かも線路は深山幽谷の間を遶りて或は隧道に入り或は鐵橋を渡り恰も東海道
函根の奇勝に彷彿たり

◎交通

九戸郡伊保内村へ五里、淨法寺村へ四里

◎物産

木材、木炭、大豆

一戸停車場

上野より
三百六十九哩五十九鎖

岩手縣陸中國二戸郡鳥海村にあり陸奥街道の一驛にして戸數五百余を有す

◎交通

伊保内村へ三里廿二町、淨法寺村へ四里廿町

◎旅店

堀口、田頭、中島

◎寺院

○鳥越觀世音 一戸町を距ること廿七町鳥越山にあり此山は高數十丈奇石巖重疊して屹立す頂上に石窟あり廣さ凡そ十疊敷、中に觀世音を安置す大同二年慈覺大師の開基とす縁日は毎年舊曆九月九日、十九日、廿九日にして參詣頗る多し

○毘沙門堂 停車場より三町許祭禮は舊毎月三日にして就中舊正月三日、十六日及三月二日は參詣者非常に多し

◎物産

竹細工、貝化石、小麥煎餅

福岡停車場

上野より
三百七十三哩五十三鎖

岩手縣陸中國二戸郡石切所村字石切所にあり當驛は往古貞任の屬白鳥三郎高任の城きし處にして宮城野と稱せしが天正年中九戸左近將監政實此城に據り蒲生氏郷、淺野長政、井伊直政、堀尾吉晴等と戦ひ遂に滅され其後福岡と改めたり戸數凡六百余を有し人口凡二千

◎官 衙

郡役所、警察署、區裁判所、收稅署、電信局

◎交 通

金田一驛へ一里廿町、末の松山へ一里、湯田温泉へ二里、輕米へ五里十町

◎名 所

○末の松山 當驛と一の戸驛との中間にあり國道に當る峻坂にして路傍の岩石などに波濤の浸蝕したる痕あり此山を浪越せし證として一名を浪打峠ともいふ又貝の化石せしもの多く此山より出づ山頂には三葉の松あり、此坂を以て眞の末松山とするは未だ俄かに許すべからざるものありと雖ども口碑の傳ふるが儘岩切驛附近のものと併せ録して博識家の叱正を待つといふ

○水晶瀧 停車場より東方凡う里許上野山の麓にあり高五丈余幅二間林叢翁蔚の裡より落下す、水清冷にして宛然水晶簾の垂れたるが如し故に此名あり

◎温 泉

金田一村より國道を右折せし所字湯田に在り泉源三個所田圃の間より湧出し鹽類泉

にして無色透明最も疥癬に効顯ありといふ



◎旅 店

大館、村井

◎物 産

牛馬、貝化石、竹細工、大豆、漆、木材、生糸、生皮、麻糸

三戸停車場

上野より

三百八十四哩七十九鐵

青森縣陸奥國三戸郡向村字住谷野にあり當驛は元と南部氏基業の地にして貨物概ね具備せざるなく戸數凡う千戸人口四千余を有する一市街なり

◎官 衙

警察分署、郵便局

◎交 通

二戸郡金田一へ二里三十町、五戸驛へ五里十町、八戸町へ八里

◎古 跡

○長慶天皇行宮跡 三戸町の東方里許名久井嶽の半腹に在り傳へいふ南北兩朝の頃八戸氏天皇を奉じて此處に據り以て恢復を謀りしと

◎物 産

生漆、牛馬、栗實

劍吉停車場

上野より
三百九十哩六十一鎖

青森縣陸奥國三戸郡北川村字劍吉にあり

尻内停車場

上野より
三百九十七哩五十三鎖

青森縣陸奥國三戸郡長苗代村大字尻内にあり當驛は八戸支線の岐るゝ所にして八戸、湊、鮫港等へ到らんとする旅客は此驛に於て列車を乗換へらるべし

◎物 産

牛馬、魚類、鱒、海苔、大豆等

●八戸支線

八戸停車場

上野より
四百一哩一鎖

青森縣陸奥國三戸郡八戸町字八幡町にあり當驛は馬淵川河口の南に位し舊八戸藩の城邑にして今の三八城神社の在る所は則ち其城趾なり戸數二千三百余、人口一萬二千余を有し土地豊饒にして海陸運輸の便を備へ頗る繁華なる一都會なり

◎官 衙

郡役所、區裁判所、警察署、稅務所、町役場

◎學校及病院

青森縣第二尋常中學校、實業補習學校、八戶病院

◎銀 行

階上銀行、八戶商業銀行

◎神 社

○縣社 三八城神社は字八幡町に在り祭日は毎年舊曆八月六日、龍神社、新羅神社の合同祭禮は毎年舊曆九月廿日より三日間舉行、長者山八坂神社の祭禮は毎年舊曆六月十五日、以上何れも有名なる祭禮にして人出甚だ多し

◎名 所

○四季の花見 としては松館村の臥龍梅八戶町の南二里許なる松館村の溪間に在り頗る老樹にして花最も見るべく其樹一株より梅實二十俵を得るといふ、長者山なる八戶公園の櫻桃花は春風和煦の候遊人を牽くに足るべく是川村の桃林亦頗る喜ぶべし、白山の紅躑躅は春の後殿たるに堪へ、對泉院の菊花は秋の寂寥を採色す四時の花又

以て此郷を賑はすに足れり

◎旅 店

佐川、若松與市、杉本、江渡、

◎料理店

武藏野

◎交 通

青森市を距ること十九里廿三町、三戸町を距ること八里

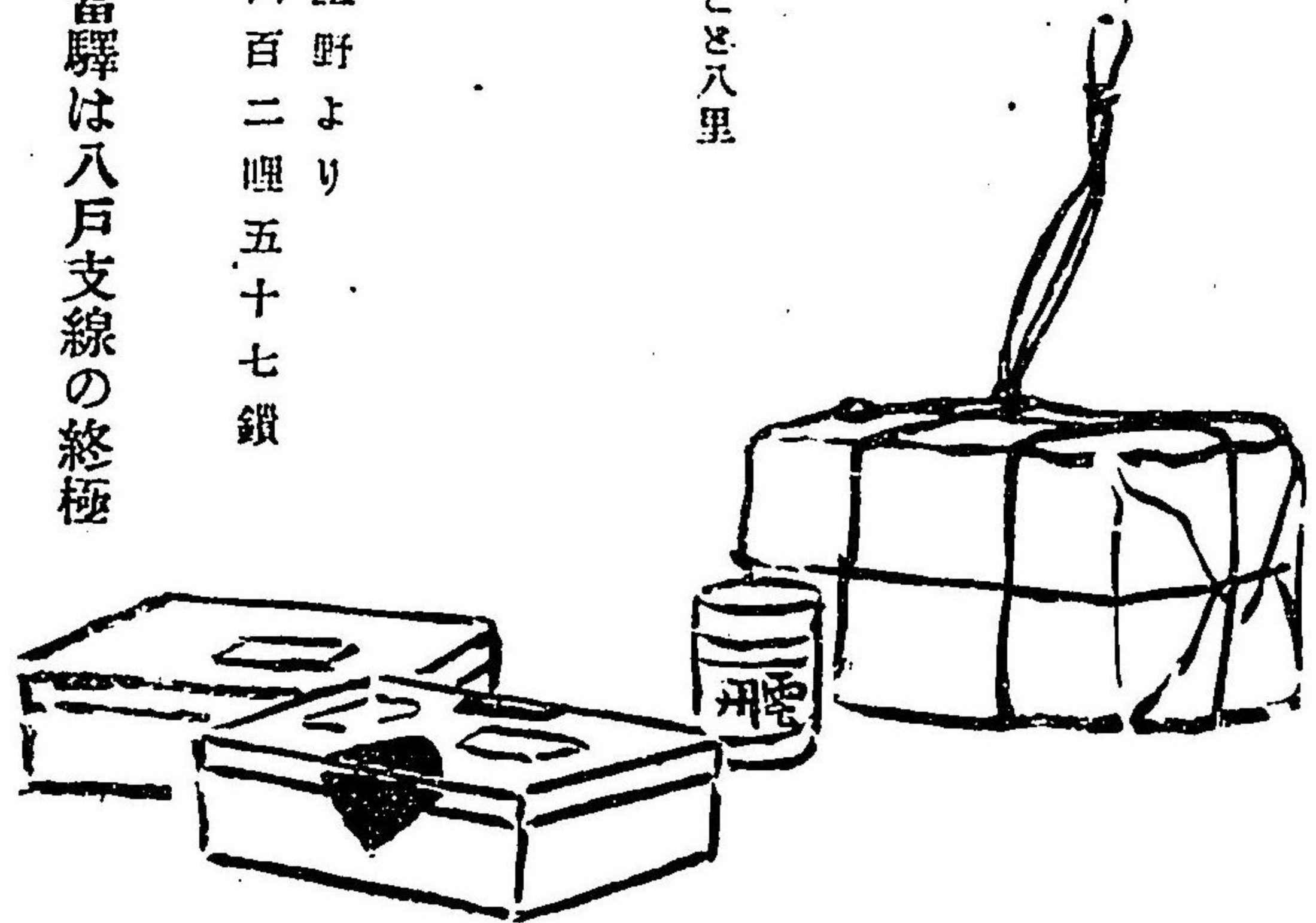
◎物 産

大豆、軸木、粕、海産物、雲丹等

湊 停 車 場

上野より
四百二哩五十七鎖

青森縣陸奥國三戸郡小中野村にあり當驛は八戶支線の終極
點とす



○鮫港 湊停車場より東方一里の海岸に在り戸數三百許、蕪島其前に横はり灣内は水清く魚介に富み空氣清潔眺望絶佳避暑地としては得易からざるの地たり海水浴旅館石田家は客室清潔、膳部新鮮大に旅情を慰するに足る蕪島は海岸を距ること三丁許往古より全島蕪草の繁茂するを以て名あり春風駘蕩の候は金泥を抹したる如く異彩波に映し實に美看とす島に辨財天あり鎮座となす祭日は毎年舊曆三月三日汐干狩の日を以て舉行す遠近より來り集ふもの甚だ多し今鮫港の名所をよみ込たる俗唄を録して以て叙事の足らざる所を補ふべし

鮫浦の名所聞かしやんせ、沖に蕪島べさい天、半崎に恵比須濱、大崎さまにて小湊を物見石にて一杯樂しめや、遙か向ふに見ゆる船はアレハ松前秋あじか但しや津輕の備船來る船は帆足を揃へて満々と、蕪名かはせや鮫浦女郎衆は繁昌する湊停車場より此地迄は車馬の往來自由にして馬車八錢若しくは人力車賃十五錢を投せば履齒に泥せずして到るを得べし。

下田停車場

上野より
四百〇四哩四十五鎧

青森縣陸奥國上北郡下田村にあり

○交通

百石村へ廿二町、一川目迄二里、二川目迄二里三十町

○物産

鮭(世に魚曲りと唱ふる本場品なり)貝類、鮭鱈引(尋常の鮭に非ず北海道のカラシと同種)鱒、鮭、大豆、米、馬匹(三本木に馬匹の市場あり)

古間木停車場

上野より
四百十哩六十二鎧

青森縣陸奥國六戸村大字落瀬字古間木にあり

○交通

木ノ下村氣比神社迄廿八丁

沼崎停車場

上野より
四百十七哩二十二鐵

青森縣陸奥國上北郡浦の館村字上野にあり當驛は原頭の一小村にして幕末の際會津侯が斗南三萬石に左遷せられたるの地なり

◎名所

○三本木原 停車場附近より既に此原に屬す廣袤十數里平原渺茫として更に際涯を見ず原の中央に一驛邑あり三本木といふ此邊天然の牧場にして多く良馬を産す世に奥州馬として稱揚せらるゝは皆此邊の産馬なり今は軍馬育成所として陸軍省に屬す
東路のをくの牧なる荒馬をなつくるものは春の若草
みちのくの牧の荒駒の程にのりへぬものは心なりけり
なごの古歌頗る多し

乙供停車場

上野より
四百二十一哩四十四鐵

青森縣陸奥國上北郡用地村にあり

野邊地停車場

上野より
四百三十四哩三十二鐵

青森縣陸奥國上北郡野邊地村にあり當驛は國道の要衝に當り戸數千二百余、人口凡六千五百を有し稍々繁華なる小都會にして且つ良港灣なり此近傍は冬季降雪最多く往々列車の進行を阻障する事あり

◎官衙

區裁判所、警察分署

◎交通

七戸驛へ五里三町、東津輕郡中平内へ四里十二町

◎名所及古跡

○恐山 一名宇曾利山といひ噴火山にして下北郡の中央に在り海面を抜くこと二千六百七十六尺、此山に地獄、極樂ありとて巡拜者頗る多し

○尾鯨牧 恐山に至るの途中尾鯨村あり東海に接したる廣野にして古來良馬の産出多く古歌等にも其名高し

陸奥のをふちの駒も野かふにはあれこりまされなつくものかは 讀人不知
網たへて離れ果にし陸奥の尾鯨の駒をきのふ見しかな 相 模

頼朝の名馬生駿も亦此地の産なり

狩場澤停車場

上野より
四百三十四哩二十七銀

青森縣陸奥國上北郡東平内村にあり此邊の高野は總て牛馬の牧野なり往々線路に出てて列車の至るに驚き列をなして狂奔するの狀實に奇異の看あり

小湊停車場

上野より
四百四十一哩四銀

青森縣陸奥國東津輕郡中平内村大字小湊にあり當驛は戸數三百許を有する一海村なり曾て築港の計畫ありし地とす淺所は停車場より一里許漁業場として其名高し

◎官 衙

警察分署、小林區署、登記所

◎物 産

帆立貝、鱈其他海産物等とす

淺虫停車場

上野より
四百四十七哩廿七銀

青森縣陸奥國東津輕郡野内村大字淺虫にあり當驛は青森灣頭にありて近く湯の島裡島、鵜島等を望み氣候温和、風景佳絶にして全線中稀に見るの勝地たり

○温泉

○淺虫温泉 傳へいふ昔時圓光大師東國に巡錫して偶々此地に來りしに一頭の牡鹿温泉中に浴せるを見、初めて靈泉の効驗あるを知り郷民を諭して浴場を此地に開設せしむ、是れ其温體なり然れども土人は恐れてこれに浴せず唯だ布に織るべき麻を温泉に涵して蒸しけるが故に誰れいふとなく麻蒸の湯と呼ぶに至り中古更に淺虫と訛するに至れるなり、泉源は八箇所、則ち椿湯、大湯、大湧の湯、五郎兵衛湯、裸の湯、柳の湯、目の湯、鶴の湯是なり

○名所古跡

○停車場附近 にアイノ臺、善知鳥前、荒石、(久栗坂)等の古跡あり又杜鵑花は非常に多く花時は満山紅を染めて溪水爲めに色あり螢谷と稱するは其名の如く螢の名地にして暗夜百千群をなし飛行何れを襲はむとす、秋の茸狩に至りては樂亦一段なり、或は海水に浴し或は小舟に棹して靜に綸を垂るなど浴後消閑の樂一にして足らざるべし

○交通

野内町へ一里廿丁、小湊へ三里、青森市へ三里

○旅店

淺虫館、海老屋伊右衛門(椿湯)三國本店、小宮山良介、山田茂八等皆清潔にして何れも温泉あり就中淺虫館は海岸に在るを以て眺望頗る佳なり

○物産

食鹽(これは當地温泉の熱にて製する特有の物産なり)鮑等

野内停車場

上野より
四百五十四哩四十四鎖

青森縣陸奥國東津輕郡野内村大字野内にあり

○古跡

停車場 附近に藤原秀衡の古跡あり境内多く櫻樹を生じ花時吟杖を曳くもの多し

浦町停車場

上野より
四百五十五哩十八鎖

青森縣東津輕郡浦町にあり

青森停車場

上野より
四百五十六哩七十一級

青森縣陸奥國青森市宇安方町にあり青森灣頭に枕みて戸數四千余、人口二萬七千を有す抑當市は本州最北の都市にして當會社東北線の最終停車場なり而して鐵道局與羽線亦此地を起點とし目下開通るせば弘前大鰐等を経て碓ヶ關迄三十五哩六十鎖間とす又海上には定期船常に出入して北海道函館、室蘭、小樽等と聯絡し其他沿岸各港への往復船舶港内に輻輳して帆船林立實に繁昌を極む加ふるに本州と北海道とを往復する客貨は此地に依るを最も便利とするを以て旅客の往來貨物の集散四時間斷なく陸には鐵車の輾聲高く海には出入の船笛常に轟々たり商業の活氣ある亦以て察するに足るべし

◎官 衙

縣廳、市役所、四族團司令部、第八師團の五聯隊分營、憲兵分署、大林區署、郡役所、登記所、地方裁判所、區

裁判所、警察署、郵便電信局等あり

◎學校病院

師範學校、中學校、青森病院

◎銀行會社

第五十九銀行、青森商業銀行、青森銀行、弘前銀行支店、青森貯蓄銀行、農工銀行、郵船會社、電燈會社

◎新聞社

東奥日報、陸奥新聞

◎旅 店

鍵屋、中島、早瀬、田澤、和島、鹽谷、山崎

◎料理店

金森樓、丸吉樓、紀伊國屋

◎劇 場

中村座、青森座

◎交 通

造道村へ一里、原別村へ一里十八丁、高へ村二里、田東樺村字宮田へ二里廿七丁、横内村へ二里九丁

◎神社

善知鳥神社 青森町大字安方町にあり停車場より七丁許縣社にして市杵島姫命、多紀理姫命、多岐都姫命を祀る大同年間の創建なりといふ傳へ聞く鳥頭安瀉なるもの此地に左遷せられ死後其靈化して善知鳥となれりそを「ウトウ」と訓するは其啼く聲に基きしものなるべし其後祠は全く頽廢して遺趾をも留めざりしが坂上田村麻呂東夷征討の時新たに社殿を造營し自後代々の國司絶へず修繕を加へて保存を計り今尙本社にて毎年九月十四日に祭典を行ひ神樂を奏し又新米を供す西行法師が子を思ふ涙の雨を笠の上にかゝるもわひしやすかたの鳥

と歌ひしは此祠なり又謠曲に善知鳥とあるも此地の事を作れるなり善知鳥とは一見白鳥と異なる事なし此地にては之を捕ることを禁しあるを以て非常に多く灣内を翔飛し或は波間に遊詠し頗る美看なり

◎名所

○外ヶ濱 青森灣の總稱にして西は龍飛崎より東は夏泊までの間をいふなるべし一説に外ヶ濱とは擬字にて實は率土ヶ濱ならざるべからず其故は此地王土の最極點なる

に因ると未だ何れか信なるやを知らざるなり西行の歌に

陸のくはをくゆかしくもをもほゆる

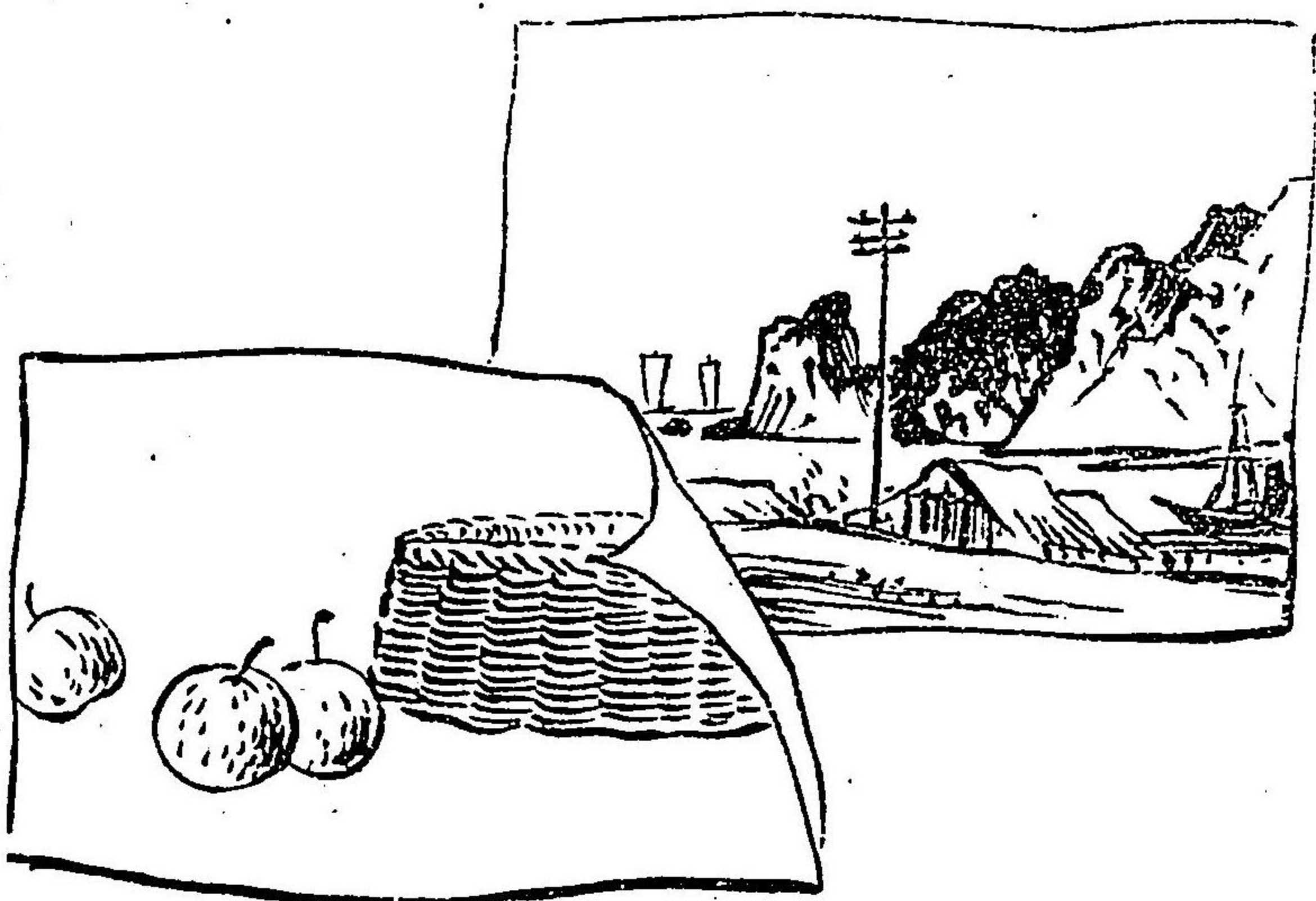
壺の碑外の濱風

とは人の知る處なり

○青森公園 は停車場より卅五丁一に今浦公園と稱し老松古櫻園内に叢生しまかも青森灣の絶勝に對す風光明媚なる贅するを要せず

○物産 は海産物を第一とし其他林檎蔓細工等とす

本線終り



年 中 無 休 刊

日本は日本の日本なり。一ありて二あるへからず日本は『仁義則文明』の旨義を奉じ『道德維開化』の主張を唱ふるものなり。端嚴にして閑雅。奇抜にして温潤。交るべく屈すへからず。親しむべく狎るへからず。是れ日本の特色なり。理説を解し趣味を解するの士は日本が自ら薦めて辱交を希ふ所なり。



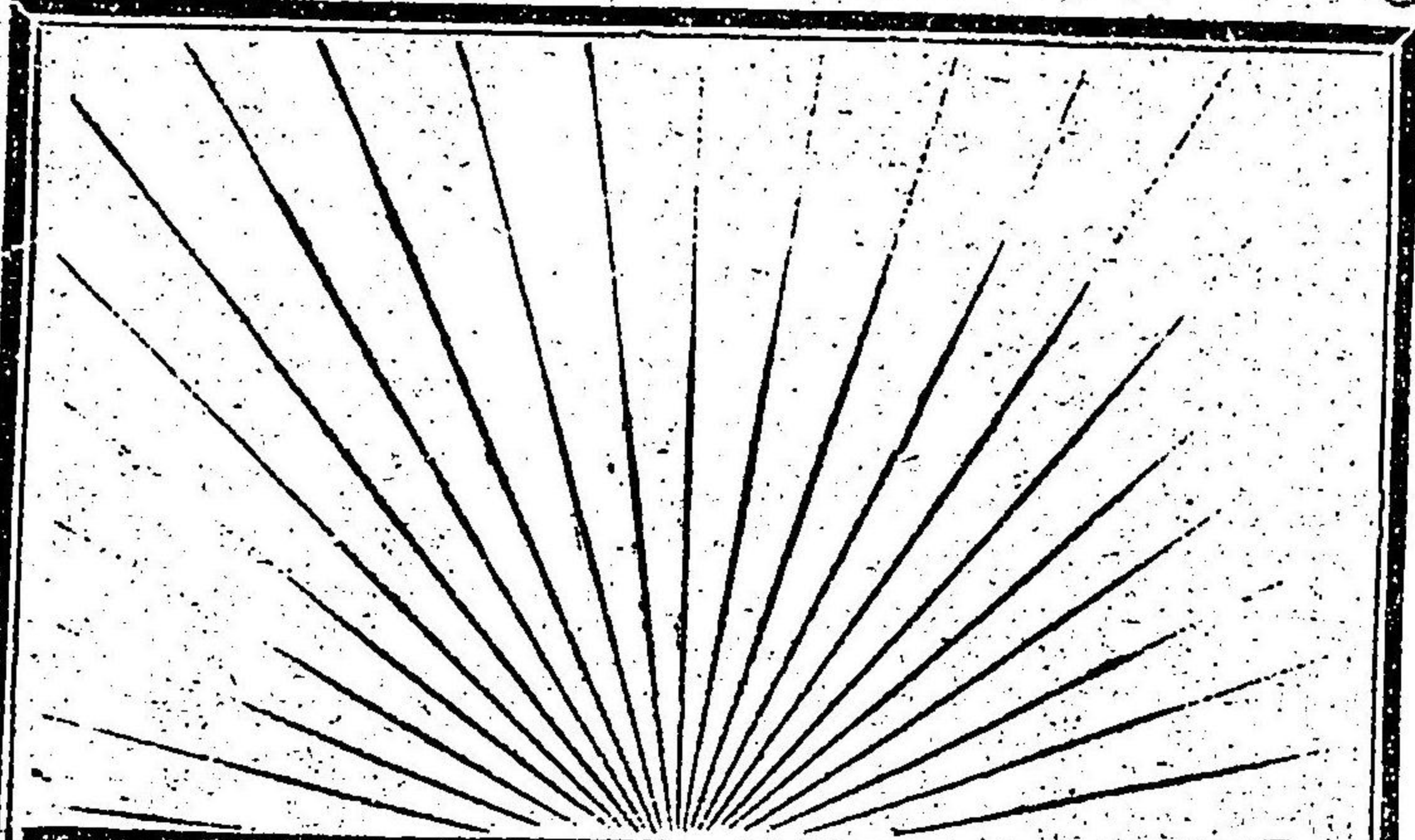
●為替振宛所は
東京・神田・淡路町
郵便為替受取所
とす

料 告 廣	一日限登行 金貳拾五錢	二日以上登行 金貳拾四錢	七日以上登行 金貳拾參錢
但一行五號活字二十四字詰 六號活字三十二字詰			
價 定	壹箇月 前金四圓拾五錢宛	三箇月 前金四圓拾五錢宛	半年 前金四圓拾五錢宛
郵稅	一箇月 前金四圓拾五錢宛	三箇月 前金四圓拾五錢宛	半年 前金四圓拾五錢宛

廣 告

東 京 神 田 雉 子 町
日 本 新 聞 社

廣告



年中無休刊

新聞代價

一ヶ月 金三十五錢

郵送料

地方に對し一ヶ月本社直接
注文に限り郵送料八錢

廣告料

五號活字
廿二字詰

一回限り 一行卅錢

二回以上 一行廿八錢

五回以上 一行廿六錢

日曜附録

毎日曜日發刊

東京銀座四丁目九番地(電話新聞橋一七九)

中央新聞社

511

廣告

本誌定價

一部	金貳錢	一ヶ月	金四拾錢
三ヶ月	金壹圓拾五錢	半年	金貳圓
前金貳圓	拾五錢	一年	金三圓
四圓	拾錢	市外郵送	一ヶ月
拾三錢		前金	

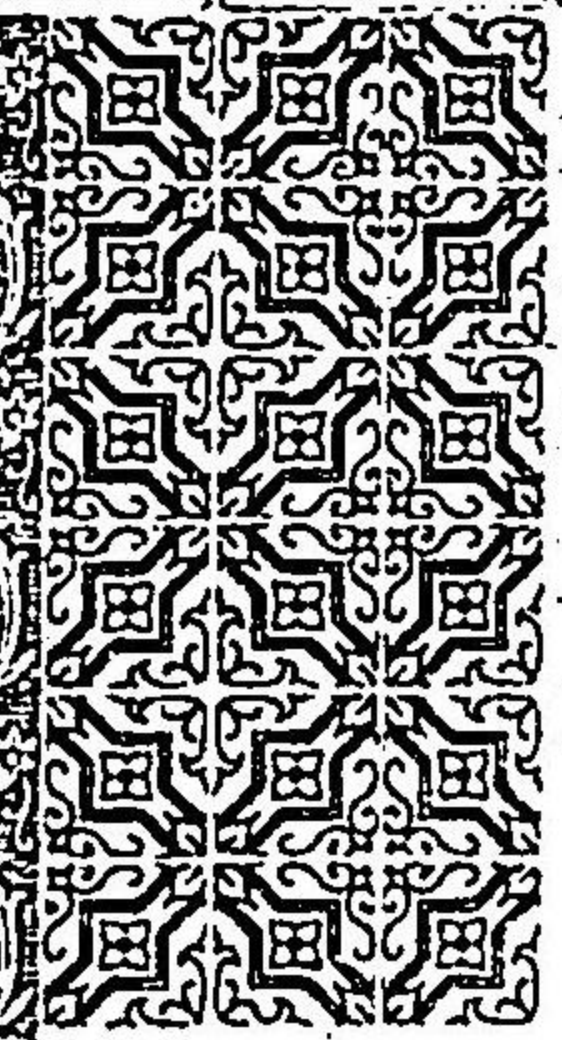
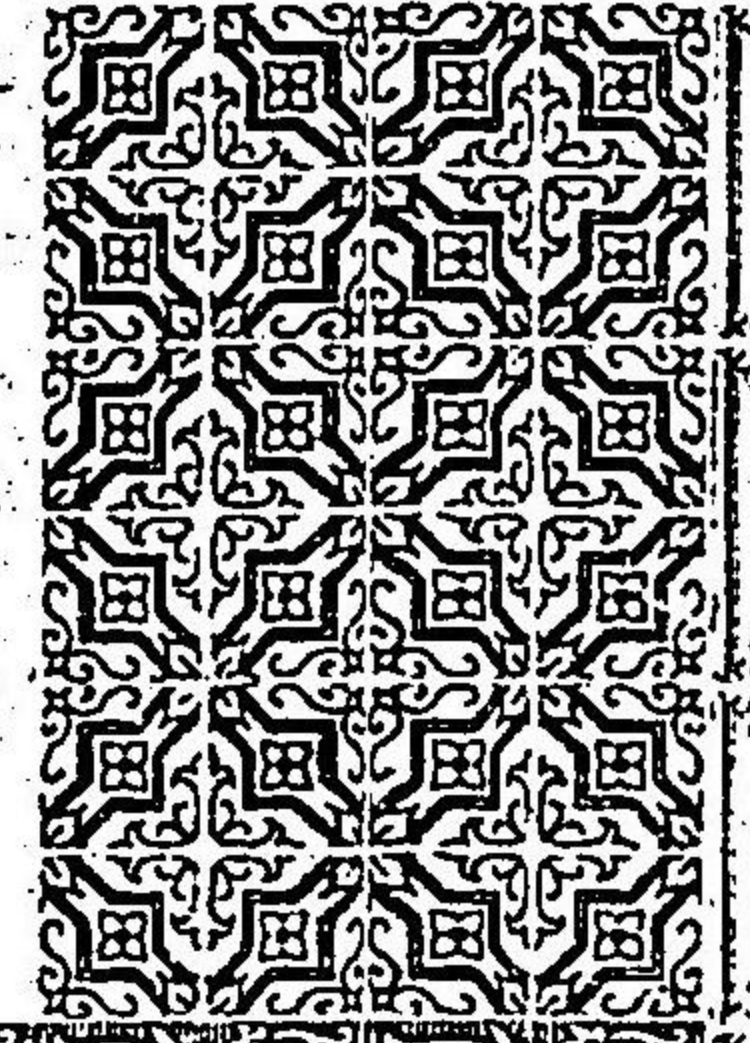
東京日日新聞

廣告料

一行	二十二字	詰一日	分金貳拾
五錢	二日	以上	金貳拾三錢
以上	金貳拾壹錢	一面	特別一行
金三拾錢	二日	以上	金貳拾八錢
五日	以上	金貳拾六錢	

東京日日新聞の總ての點に於て特に一
頭地を抜くは世上既に定評あるれば今更
自畫自讃を敢てせずと雖も日本勸業銀
行債券の抽籤番號を詳記する者は全國
中に東京日日新聞あるのみなれば同債券
所有者は是非とも東京日日新聞を購読せざ
るべからず

本紙見本御入用の方は一命次第直に送呈す
東京市京橋區尾張町 日報社
一丁目一番地
電話編輯用新橋七番 長距離電話加入
事務用新橋九十番



511

廣告

讀賣新聞

料無本見

本紙は年中無休刊にして明治七年の創刊に係る、爾來今日に至るまで歲月既に久しと雖も、未だ曾て政府政黨に隸屬して其の機關に供したることなく、新聞紙あるも總振假名付にして、記述の平易なること、恐るべきを得んや、紙上奇警の文字なきは、能く女子の讀むに適し、語句の易きは、商賈の愛顧を惹くを得んや、平易なる記事、特種佳趣あり、新聞紙を弄賞するに、善惡の旨を忘れて、人の陰謀を計く、能事とし、又徒らに警察事故を並へ、花柳社會の卑猥言ふに、堪へざる者、録し、人を嫉妬冷人乃至は兇惡の徒、然らずやと疑はしむ、心ある者は、之を讀むに、忽ち聲を低うし、耳を蔽ふに至らん、本紙は決して然らず、常に疑はしむ、心ある者は、之を讀むに、變の席に於て、展讀するも、決して之れを倍加するの勢あり、一度以上、社會に愛讀せられ、半平たる根底を存するも、上は愛讀者、年々増加するの勢あり、以て我が讀者を奪はんと企つるも、功を得ざる所以なり、我々社は、他新聞社が幾回か割引を爲し、以て我が讀者を奪はんと企つるに、酬ゆる能はざらんを是れ恐れ、麴町及ひ神田に支局を置き、幸に愛讀者に反むくならんを期せり、江鴻の士本紙一讀の後、本社の言の眞否を甄別するあらば、幸甚の至りなり

新聞定價
 三ヶ月前金貳圓四角
 一ヶ月前金壹圓九角
 一月前金壹圓
 廣告料
 五號活字 二十二字詰 一行一回 金貳拾五錢
 全二回以上 金貳拾錢
 全五回以上 金拾八錢

國民新聞 東京市京橋區日吉町府下隨一の
大新聞 國民新聞社より發行する
品位高尚 讀ん利益多娛樂的
商況 物價 外報 凡て精確
信用 厚し

民友社 出版書籍は、其世に聲價は、江湖已に定評あり、地の民友社、每月新版、概ね二三種、切手送は呈す、
賣捌所 は、新聞書籍とも各地に出す、
卸賣 は、又、小賣り、
上野停車場 構内には、宮内

廣告

五

發行所 (東京市京橋區銀座一丁目番一) 日就社
 (電話新橋五十四番長距離加入) 會社名

都新聞

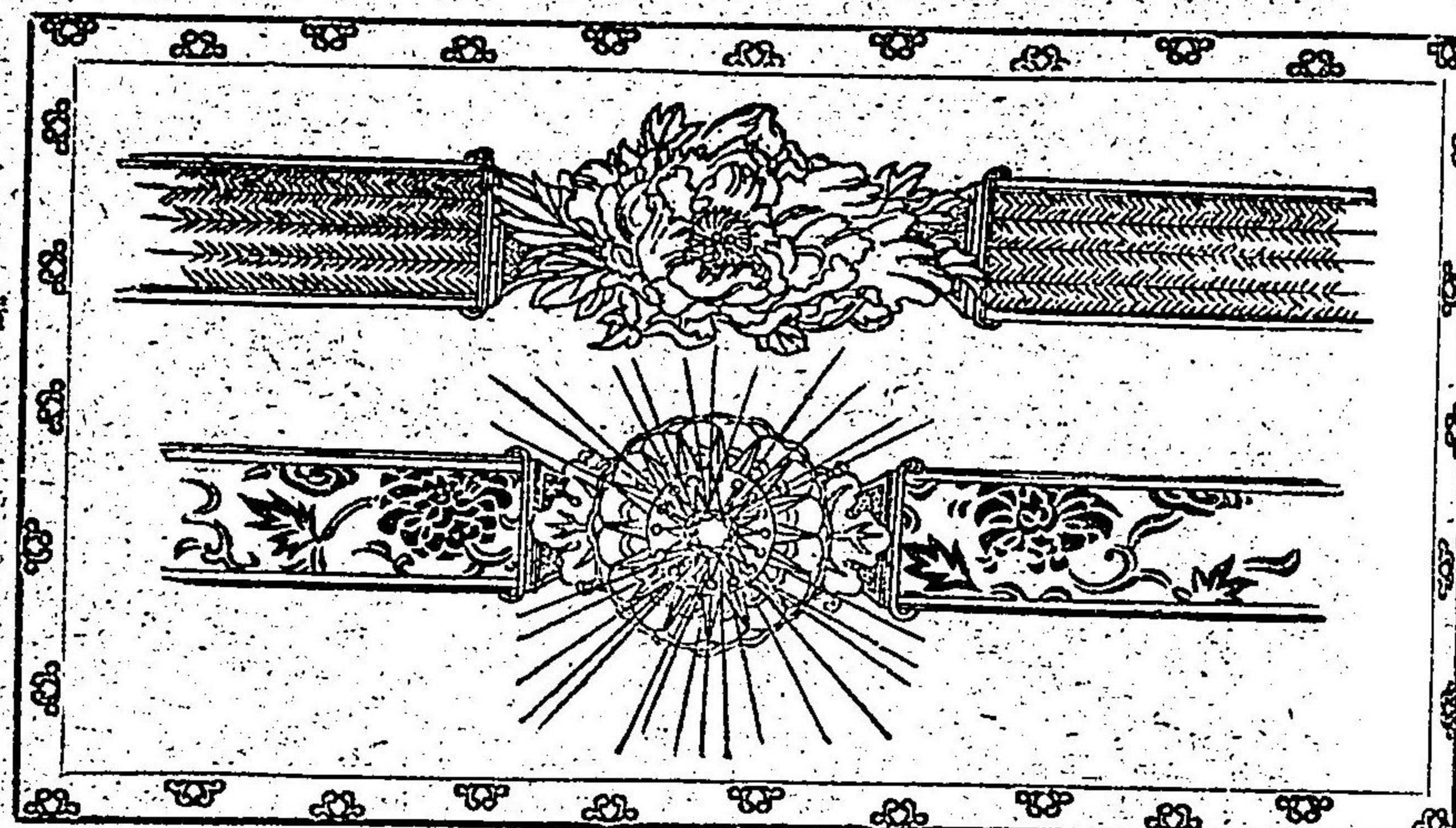
東京市麹町區内幸町一丁目五番地
都新聞社
 電話新橋百七十五番

●都新聞 は一箇の小天地なり世の中の重なる事柄は残らず紙面に備はれり小説の花、挿畫の艶、賑やかなると春の如し「都の華」は毎月一回本紙に附録する美麗の冊子にして四時流

行の鏡なり
 ●都新聞 は中等以上の交際家と實業家とに愛讀せらるる故に廣告のさくらめ最も多し一度都新聞に廣告せば商業たちまち繁昌す

見榮あるとは他の新聞の企て及ぶ所にあらざる事は申迄もなし一目瞭然直さま讀者の注意を惹く

●廣告の意匠文案等は懇切に御相談に可應候



●美術詩畫彫刻櫛笄
 ●儀式用籠甲御櫛笄
 ●貴金屬寶石入指環
 ●貴金屬金具付帶締
 ●本珊瑚根掛簪玉
 ●婦人用紙入烟草入

東京市南傳馬町二丁目
 婦人用美術品商 **大田白牡丹**
 (電話本局三十番)

正價彫刻付三圓半五圓七圓十二圓十五圓十八圓二十二圓二十五圓三十圓三十五圓四十五圓五十五圓六十圓七十圓八十圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價十五圓廿五圓卅五圓四十五圓五十五圓六十圓七十圓八十圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價廿八圓卅四圓四十五圓五十五圓六十圓七十圓八十圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價卅八圓四十四圓五十五圓六十五圓七十圓八十圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價四十八圓五十四圓六十五圓七十五圓八十圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價五十八圓六十四圓七十五圓八十五圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價六十八圓七十四圓八十五圓九十五圓九十圓一百圓以上各各種金剛石入正價七十八圓八十四圓九十五圓一百圓以上各各種金剛石入正價八十八圓九十四圓一百圓以上各各種金剛石入正價九十八圓一百圓以上各各種金剛石入正價一百圓以上各各種金剛石入正價

本品は其産地に本場土州の二種有之又色之淡濃其他に依り凡て價を異に致せば此に列記不仕候も一品毎に正札を附し精々廉價を以て販賣致候此の外御婦人方の金縁眼鏡烟管其他凡ての飾品並に附屬之携帶品は何種を不問又價の高低不拘販賣致居候

保 明

生 命 火 災

明 教 保 險 株 式 會 社

東 京 市 京 橋 區
三 十 間 堀 一 丁 目

東 京 支 社

長 距 離 加 入 (電 話 新 橋 一 一 四 四)

京 都 市 三 條 通 寺 町 西 入 (電 話 三 四 九)

大 阪 市 東 區 本
町 通 御 堂 筋 西 入

大 阪 支 社

(電 話 東 九 六 四)

廣 告

險

教

紙 之 消 費 高 者 一 國
文 明 之 計 度 器 也

全 國 紙 商 中 其 營 業 最 大 者
全 國 紙 商 中 其 信 用 最 大 者



湊 屋 服 部 源 三 郎
服 部 大 阪 支 店

電 話 東 千 三 百 〇 九 番

紙 類 直 輸 出 入 商

東 京 市 日 本 橋 區 堀 留 町 壹 丁 目

電 話 浪 花 七 十 四 番

弊 店 ハ 內 地 各 製 紙 場 ハ 申 ス ニ 不
及 歐 米 諸 國 ノ 諸 會 社 諸 製 紙 場
特 約 ヲ 結 ビ 居 候 得 者
如 何 ナ ル 種 類 ノ 紙 ニ テ モ 一
切 御 相 談 ニ ヨリ 御 注 文 ニ 相 應 シ
可 申 候

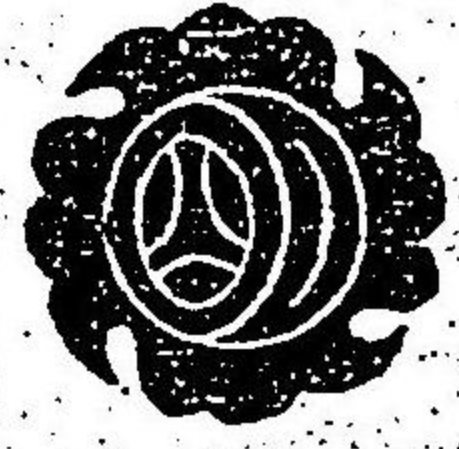
廣 告

七 八

保

明

生 命 火 災



明教保險株式會社

東京市京橋區
三十間堀一丁目

東京支社

長距離加入(電話新橋一一四四)

京都市三條通寺町西入(電話三四九)

大阪市東區本
町通御堂筋西入

大阪支社

(電話東九六四)

廣 告

一

險

教

紙之消費高者一國
文明之計度器也

全 國 紙 商 中 其 營 業 最 大 者
全 國 紙 商 中 其 信 用 最 大 者



弊店ハ内地各製紙場ハ申スニ不
及歐米諸國ノ諸會社諸製紙場ト
特約ヲ結ヒ居候得者
如何ナル種類ノ紙ニテモ一
切御相談ニヨリ御注文ニ相應ジ
可申候

紙類直輸出入商

東京市日本橋區堀留町壹丁目

湊屋 服部源三郎

電話浪花七十四番

大阪市東區瓦町貳丁目

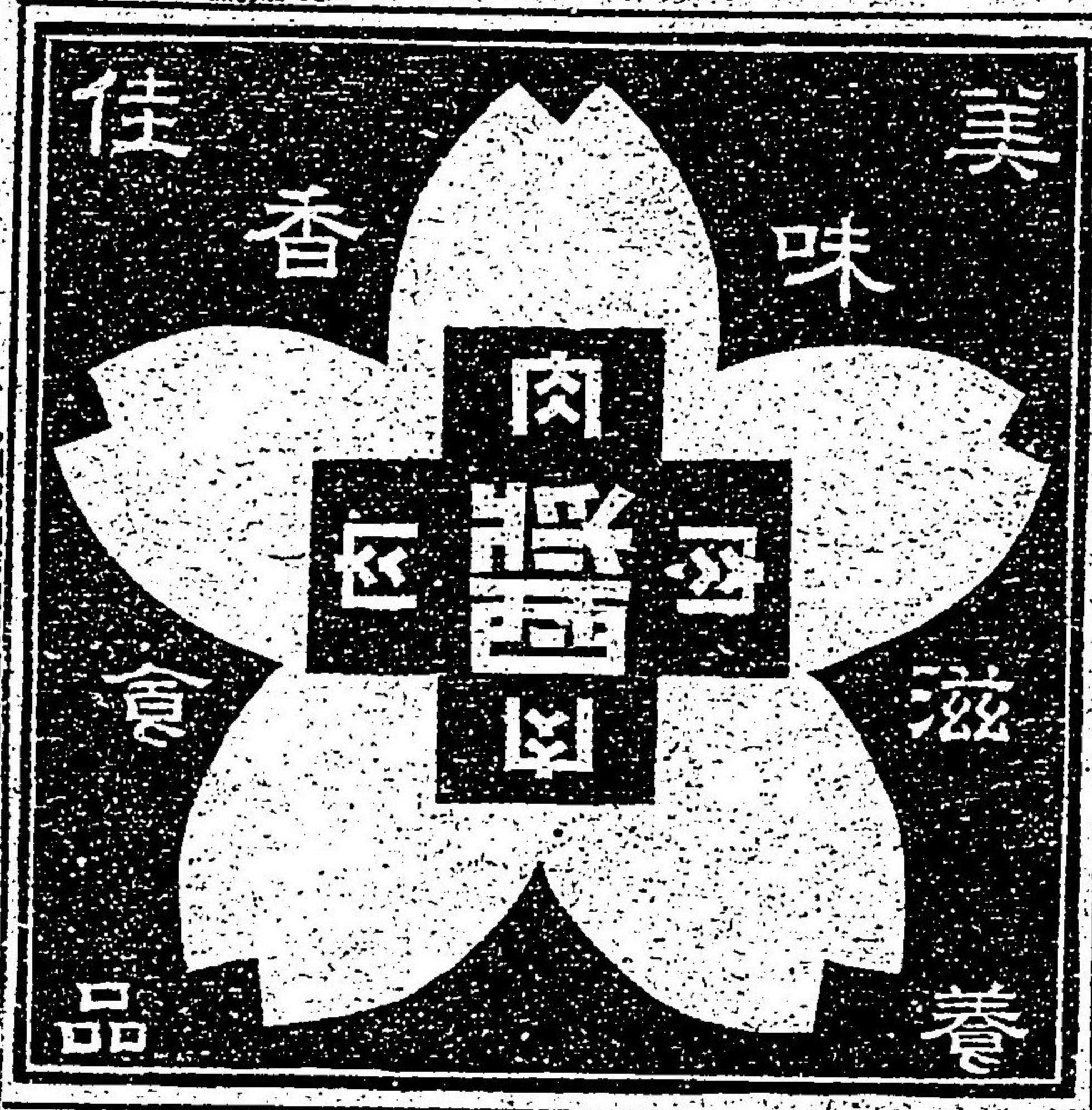
服部大阪支店

電話東千三百〇九番

廣 告

八

陸軍監醫長瀨時衡先生保證
 陸軍藥劑監石塚左立先生保證
 海軍大醫官林泰良先生保證
 木花園主人菟道春代先生創製



元賣發醬肉

東京日本橋區傳馬町二丁目

伊藤朔太郎

賣捌は全國到所の洋酒
 店食料品店藥舖等

廣
告

三

宮內省御用

東京第一

TOKIO BEER



登錄

元賣發

東京麥酒株式會社販賣部

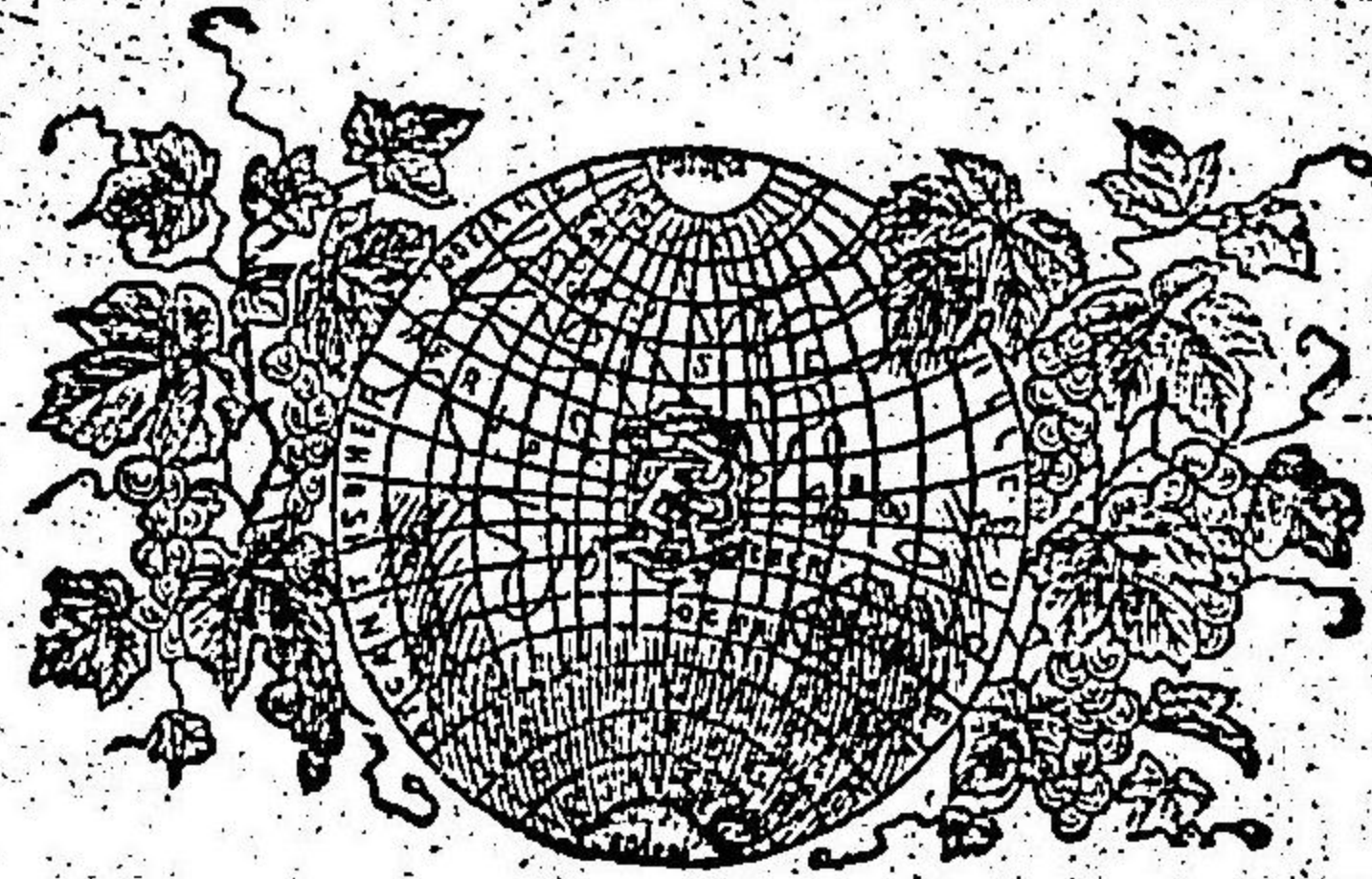
東京市日本區八丁堀二丁目

電話新橋十四番

廣
告

三

廣
告



地 天 有 別 中 壺

地球印藥用葡萄酒



發賣元東京
伊部商店

賣捌所は全國到る處にあり

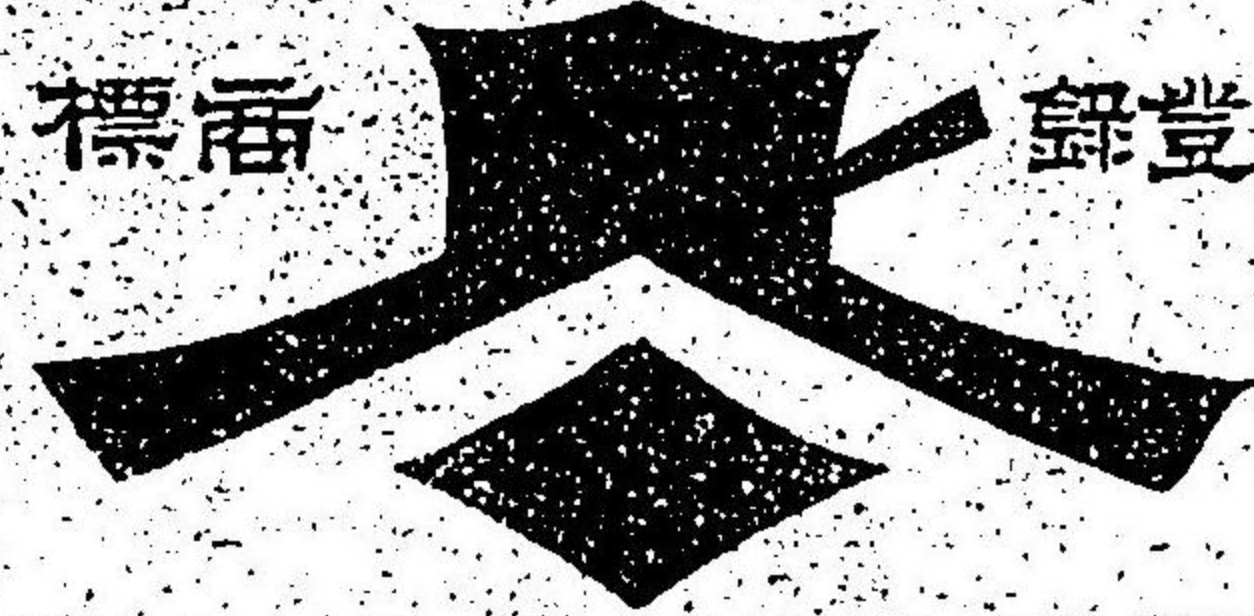
五



用御省內宮
油醬昆最

標商

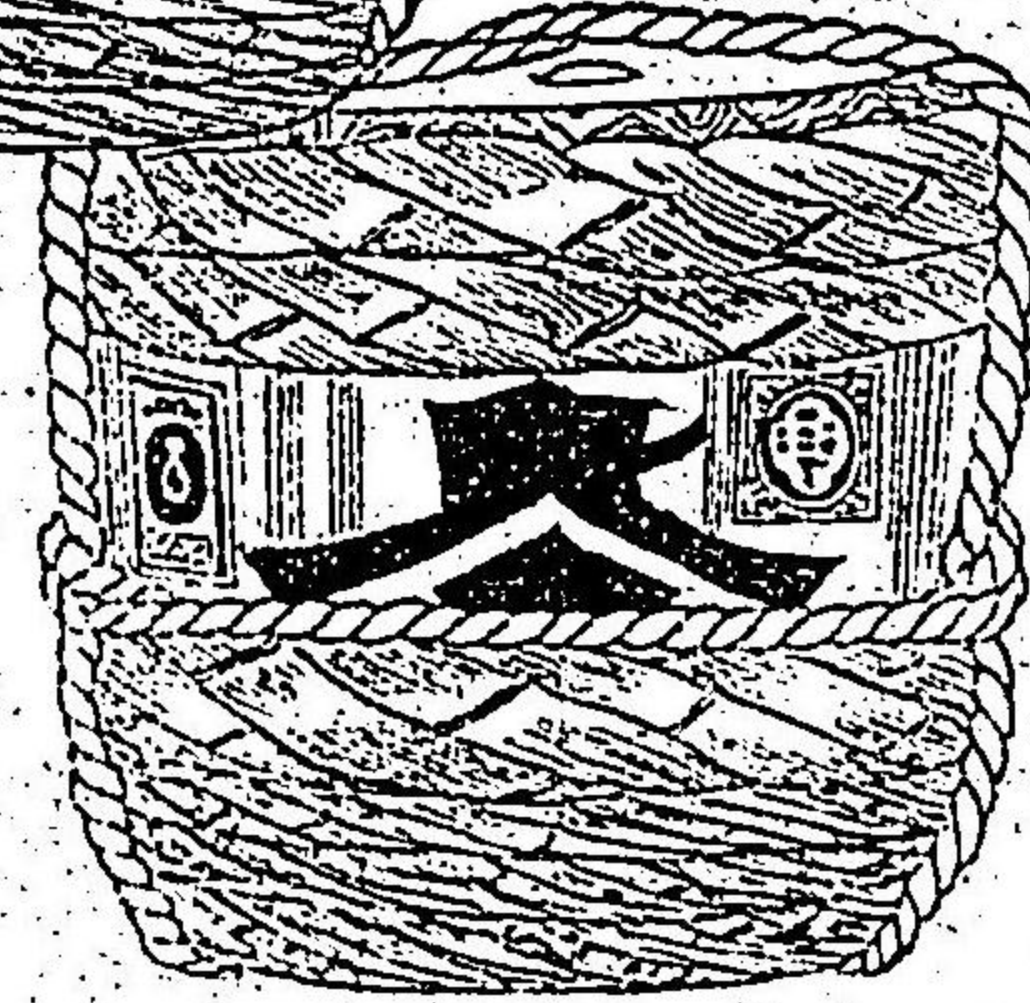
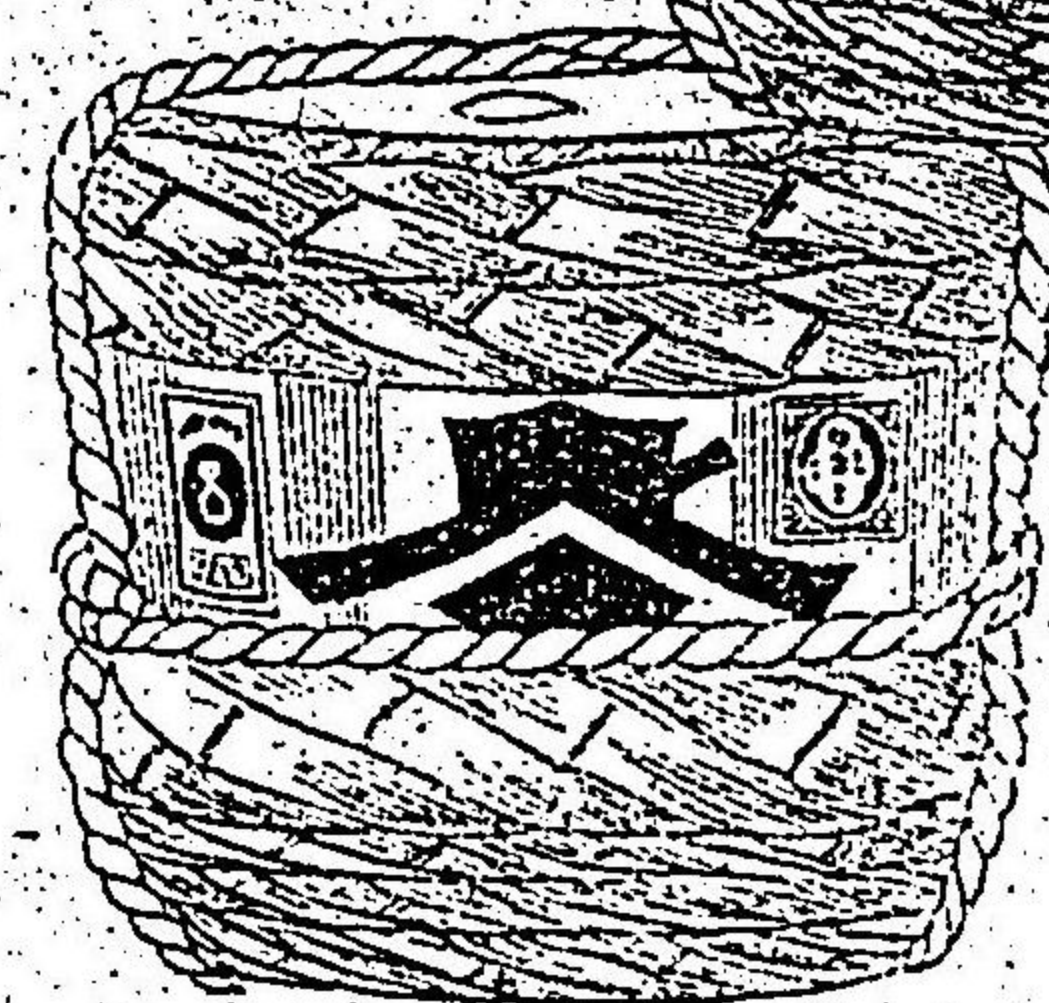
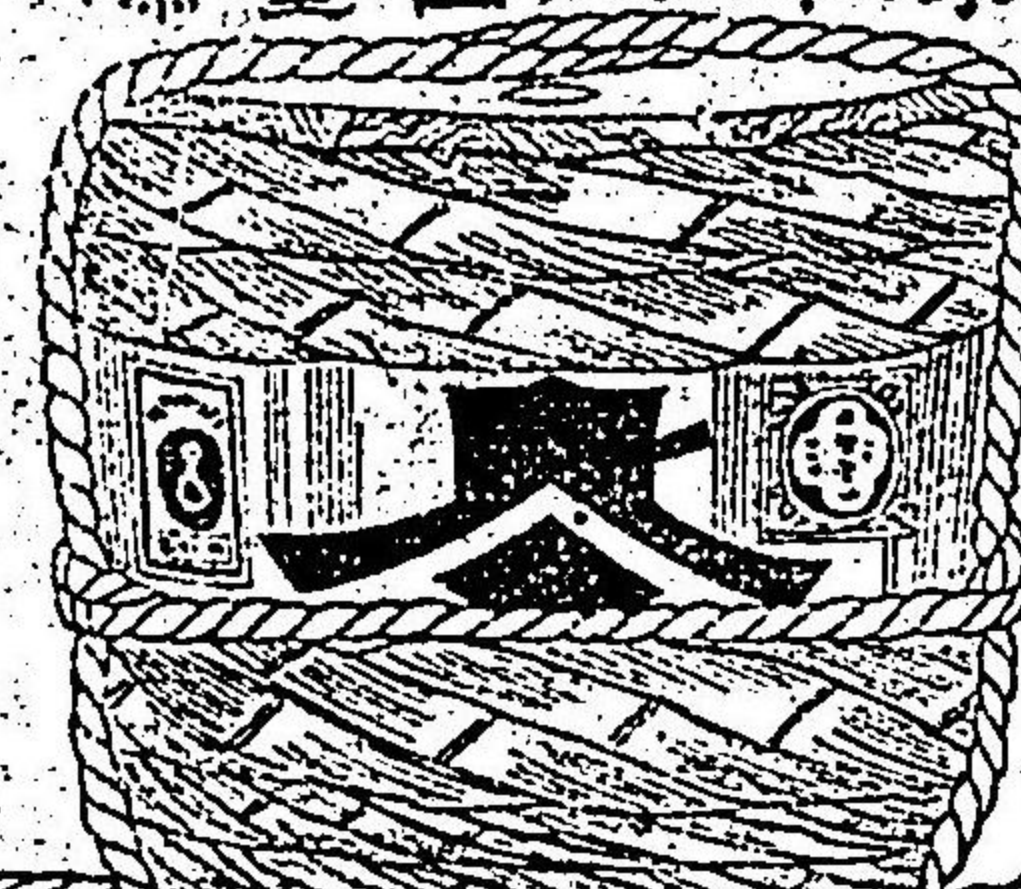
錄登



品質 濃厚 風味 優美 升目 多量 經濟 專一

進物用松行用又ハ海外輸出用
に供する為の瓶詰醬油あり

東京横濱及各地著名の
酒醬油店にて販賣す



社 會 式 株 油 醬 菱 昆
常陸國稲敷郡鳩崎村

東京市日本橋區蛸壳町四丁目番地東京出張所

廣
告

四

廣告

藥源質白葡萄酒 用興奮武蘭西

登錄「ヒポクラテス」先哲ノ肖像
商標



取次販賣店ハ全國到ル所ニアリ

東京市日本橋區大傳馬町
二丁目五番地

發賣元 小室松次郎

電話浪花五百〇七番

たるは誠實にあり即ち誠實に勝る

綿連の三年の山屋

清酒部

要概目品賣販

清酒、味淋、醬油、酢、味噌
以上本場物品、卸小賣共致候
江戸山川白酒元祖本舖
名代 鹿島本家揚子辰馬悅藏
褒紋正宗代理一手塚詰元
右同 山邑本家藏
正眞櫻付正宗代理塚詰元
其他味噌醬油、酢、壘詰各種

洋酒部

要概目品賣販

歐米各國葡萄酒、ポートワイン、シエ
リー、シヤンパン、ブランデー、ウヰ
キ、ベルモット、ライム、ガース各社
特約ビル、天然礦泉、歐米各山直輸
入ミル、各種、パタチス、和洋魚、
鳥、獸肉、果物罐詰野菜酢液之類數十
種、○チヤム、ダエリ、珈琲、紅茶、
角砂糖、蜜、ソー、食鹽、酢、油、
藥味、一式其他干葡萄酒干杏子ビスケッ
トの類に至る迄一式

東京淺草
雷門前 山屋本店
(電話近々開通)

偽物販の當節柄

國分商店販賣品

- 食料罐詰類 商標 桐印 滋養強壯葡萄酒
- 琉球泡盛 醬油
- 樽入葡萄酒 一味 贈油
- 清酒壘詰 洋酒類
- 醬油壘詰 燒酎類
- 酒精(アルコール) 一口 金耐類
- 猩猩水(清酒) 正宗詰二合
- 右多少共御取引願上候也

醬油味贈 大國屋



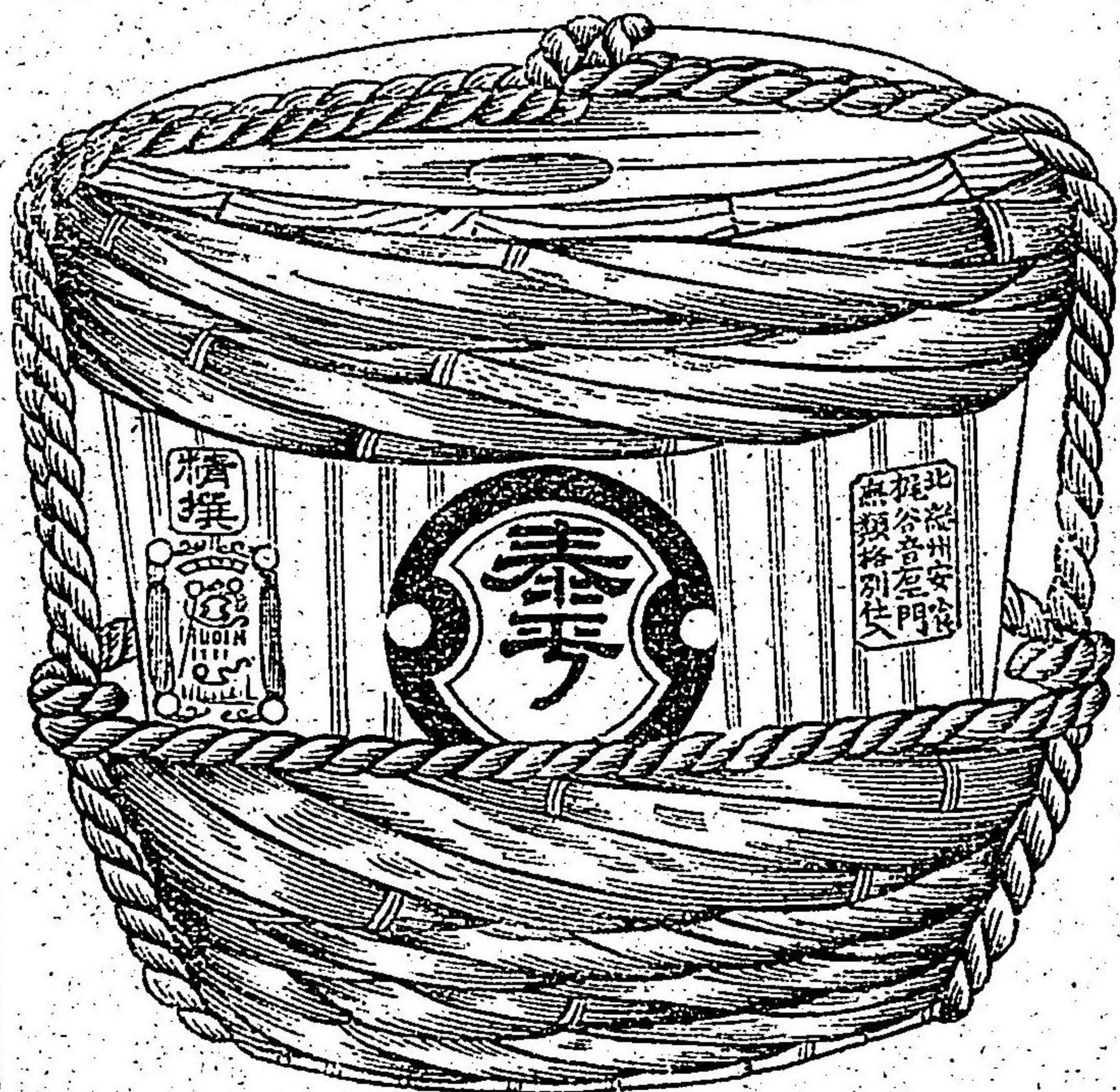
洋酒問屋 大國屋

東京日本橋區通壹丁目西河岸

廣告

七

商略なればなり 心御用敵大



取上醬油
 千葉縣下總國安曇町
 釀造元
 梶谷音村衛門

◎土浦線

南千住停車場

上野より
 四哩五十三鎮

東京府下北豊島郡南千住町にあり田端より岐れ土浦線に入る第一の停車場にして又陸羽街道の首亭たり南は淺草區に連り北は隅田川を境して南足立郡千住町に接す市内には警察署郵便電信局等あり此地元塚地にして早草繁茂せるを後人拓きて原となせしを以て小塚原と稱せりと今も尙妓樓のある處を稱して小塚原と云へり停車場前の線路を隔て我社の隅田川貨物取扱所あり構内頗る廣く中央に隅田川を引きて溝渠を通し列車と船舶との接續を便にす故に東北各州より出るの貨物は此處にて直に船に移して市内各所へ分散し又市内若くは横濱等より船載し來る貨物は此處にて列車に搭じ各地に送出す故を以て構内には百貨常に堆積し頗る雜踏を極む

◎神社、寺院

○飛鳥神社 は俗に三輪の天王と稱し事代主命を祭る又無縁寺は昔時死刑を行ひしも

◎土浦線

南千住停車場

上野より
四哩五十三銀

東京府下北豊島郡南千住町にあり田端より岐れ土浦線に入る第一の停車場にして又陸羽街道の首亭たり南は浅草區に連り北は隅田川を境して南足立郡千住町に接す市内には警察署郵便電信局等あり此地元塚地にして芊草繁茂せるを後人拓きて原となせしを以て小塚原と稱せりと今も尙妓樓のある處を稱して小塚原と云へり停車場前の線路を隔て我社の隅田川貨物取扱所あり構内頗る廣く中央に隅田川を引きて溝渠を通し列車と船舶との接續を便にす故に東北各州より出るの貨物は此處にて直に船に移して市内各所へ分散し又市内若くは横濱等より船載し來る貨物は此處にて列車に搭じ各地に送出す故を以て構内には百貨常に堆積し頗る雜踏を極む

◎神社、寺院

○飛鳥神社 は俗に三輪の天王と稱し事代主命を祭る又無縁寺は昔時死刑を行ひしも

のく靈を祀る、街の左傍に刑場の跡あり巨大なる石地蔵を建つ誓願寺は大字南組隅田川の南岸にあり其南隣に熊野神社あり永承五年源義家貞任征討の途次此地を過ぎ河水漲りて渉るに術なし依て携ふる處の熊野の神幣を出し祈念して遂に淺瀬を發見したりと

◎名物

川魚、鮎のすめ焼

北千住停車場

上野より
五哩六十三緞

東京府下南足立郡千住町にあり隅田川を隔て南千住と相對す市内に南足立郡役所ありて戸數凡三千人口一萬五千を有す商業頗る繁盛にして南端中組には毎朝青物河魚の市を開く此地は濱街道と陸羽街道と岐る處なり近傍に小菅集治監あり

◎寺院

○西新井大師 は停車場より一里十町余此間人力賃片道十五錢往復二十錢を普通とす

弘法大師の草創にして五智山總持寺と號し眞言宗たり本尊大師の像は古へ下總國眞間山弘法寺にありしも同寺の日蓮宗に屬せし際當寺に徙せりと毎月廿一日の縁日には信徒の參詣非常に多し

◎名所

○堀切村菖蒲園 へは當驛より二十五丁人力賃片通十錢往復十八錢なり園は武藏屋、植木屋の二軒にして孰れも庭内盡く花菖蒲を栽し其數頗る多し初夏の候都人遊勝の地とす

◎名物

川魚、野菜、鮎のすめ焼等にして就中鮎は此地の名産たり都人特に來賞する者多し

龜有停車場

上野より
八哩六十緞

東京府下南葛飾郡龜有村大字龜有にあり新宿町へ十町許

金町停車場

上野より
九哩六十八級

二四〇

東京府下南葛飾郡金町村にあり當驛は戸數五百戸許を有する一村落なり

◎神社寺院

○柴又帝釋天 停車場を距る拾數町の處に在り經榮山題經寺と號す寛永年間の創建たり本尊は長二尺五寸巾一尺五寸許の梨板にして表に帝釋天の像裏に四尊四菩薩等を刻す表門は近年の建築にして構造頗る美なり寺内に神水あり參詣者之を竹筒に汲み取り携へ歸る者多し毎庚申の日には都下より來詣する者數萬人路傍には露店を出し頗る賑賑を極めり

○葛西神社 停車場附近に在り元と香取神社と唱へしが先年 陛下習野原に御巡幸の際偶々此處に休憩あらせられ「葛西」の名を賜はる

○半田稻荷 停車場より八町、田間に一廓を構へ此所に結構宏壯なる神社あり半田稻荷といふ遠近より參詣するもの常に絶へず

○高須三弘大師 停車場より二十町許亦參詣者多し

◎物産

野菜、茶

松戸停車場

上野より
十二哩二十六級

千葉縣下總國葛飾郡松戸村にあり濱街道に衝り江戸川其後を流る水陸の交通極めて便に商業盛なる郡下殆ど比するなし毎月四九の日に互市を開く

◎官衙

郡役所、區裁判所

◎交通

野田へ五里、流山へ二里余、市川へ一里、以上の三地へは汽船の往復あり日々四回發船す貨金野田へ二十七錢、流山へ十三錢、市川へ十一錢とす

◎古跡

○國府臺 一に鴻の臺と稱す停車場より三十町許古へ國府を置かれたるの地にして松

二四一

戸より市川に至る岡陵の總稱とす此地里見、北條と屢々對戰したるの地にして江戸川に臨み斷崖直立古松其上に叢生す風景の美なる既に世人の知る處たり加ふるに古趾名跡頗る多く往時は一の遊勝地たりしも今や教導團を此地に置かれ猥りに庶人の入るを許さざるに至れり近傍には總寧寺、手兒奈の祠、眞間の弘法寺、全繼橋等あり

○相模臺 驛の東方に在る高地を稱す國府臺の役陣地を置きたるの地とす

馬橋停車場

上野より
十四哩二十四鎖

千葉縣下總國東葛飾郡馬橋村にあり

柏停車場

上野より
十九哩二十三鎖

千葉縣下總國東葛飾郡千代田村大字豊四季にあり當驛附近より次驛の間に小金ヶ原

あり風色快潤を極む

○小金ヶ原 は古へ高田、臺、上野、中野、印西の五區に分ち共に牧場なりしが明治二年東京府下無産の窮民を移し開墾に従事せしめ今や漸次村落を成すに至れり

我孫子停車場

上野より
二十一哩七十九鎖

千葉縣下總國東葛飾郡我孫子町にあり濱街道の一驛にして利根川を隔て取手驛と相對す近年成田鐵道線を延長して此地に接続せしむるの計畫あり異日落成の上は市況亦今日の比に非らざるべし

◎名所

○手賀沼 は停車場附近にあり長さ三里に及ふと云ふ湖畔の地勢は小丘相連り或は懸崖となり或は長汀となり曲浦の狀を成すの處には水に沈みて草舎七八戸漁舟之を臨みて歸り野渡の趣を成すの處には垂柳二三株牧童馬を曳て其蔭に憩ふ風光明媚宛然畫圖に臨むの看あり冬季は水禽群がり村人皆網を張りて之を捕ふ毎冬の獲獲非常に

多く物産の第一たり湖畔の丘上に子の神と稱するあり社前の酒樓は湖を望むに最宜し

○布施辨天祠 停車場より三十町許富勢村大字布施にあり關東三辨天の一なり昔此邊一帶の池沼なりしが大同年間紅龍現はれ土魂を榛げ一島を作る然るに其島毎夜光明を發しければ里人之を怪む時に一人夢想に感じ光明を尋て島上の窟中に至れば一體の辨才天あり依て傍に小祠を建て之を祀れり後程なく弘法大師の巡遊せらるゝ時右の物語りけ



るに大師亦之を奇とし親しく其像を拜せしに巽に自ら彫刻して但馬國朝來郡筒江の郷に安置せしものなりしかば大に其靈異を感じ嵯峨天皇に奏請し勅許を得て弘仁十四年終に伽藍を造り紅龍山東海寺と號し又地名は辨天の利益に緣みて布施と稱したり其後將門の亂兵燹に遇ひて伽藍は烏有に歸せり六孫王經基武藏介となりて箕田城にあるの時一日來詣し尊像の松の梢にありて光を放つを見收め歸り將門伏討の後再興して松光院と號せりと是其緣起の大略なり地は利根川畔の小丘にあり殿堂山門等稍見るべきあり前面に曙山あり春の櫻秋の紅葉共に美なり祠畔に酒樓二戸ありて利根川に望み眺望頗佳川魚の調理亦都人の口に適す春秋の候遊勝の客參詣の信者常に絶へずと云ふ

◎交通

成田山へ九里、布佐町へ三里、木下町へ四里

取手停車場

上野より二十五哩六十三錯

茨城縣下總國北相馬町字和田にあり利根河畔に接し水陸の便に富む此地天正年間大鹿左衛門の城きたるの處にして城跡今尙歴然たり戸數六百を有し稍繁華の一市街たり利根鐵橋の長さ三千百十呎

◎官 衙

郡役所、警察署、町役場、收税署、登記所

◎銀 行

取手銀行

◎交 通

水街道へ五里、馬車常に往來す布川へ三里、相馬へ一里廿四町、守谷へ二里廿町

◎旅 店

山口屋、釜屋

◎名 物

奈良漬

◎名所、古跡

○長禪寺の大師 停車場前なる一丘陵の上に在り利根の長流を臨みて富士の秀峰に對

し風光明媚たり一月、十二月兩度の縁日には甚だ賑ふ

○相馬古御所の跡は停車場より二里廿町北相馬郡守谷町字守谷にあり廣袤凡六萬五千余坪郭趾遺跡今猶指點すべし將門の亡びし後孫小太郎文國七世の孫重國此墟を修め居れり後徳川氏の世に至り堀田正俊此地に封ぜられ天和元年古河城に徙るに及び竟に廢城となる

藤代停車場

上野より
二十九哩三十九鎮

茨城縣下總國北相馬郡相馬町字和田にあり當驛は龍ヶ崎へ通する順路なり其距離二里

牛久停車場

上野より
三十三哩七十八鎮

常陸國稻敷郡牛久村にあり

○古跡

○女化原 是停車場より一里許濱街道を横断して東西三里十八町南北二里、古此は根本ヶ原と稱したりしが女化が原と改めたるに就き面白き話あり年代は詳らかならざるも昔此地に年老ひし狐あり農夫忠七なる者の爲めに命を援けられ其恩に報いむと美人に化して忠七方に嫁入し夫妻睦ましく年月を過ぎ遂に一女二男をもをけ未子漸く三才なりし時一首の歌を遺し行く所を知らずなりぬ近隣其奇異を唱へて女化が原と呼ぶに至れりと女化稻荷と稱するは其老狐を祭りたるの祠にして參詣者常に多し

○牛久沼 當驛附近に在り園圃凡五里烟波渺茫四時の眺めあかず

荒川沖停車場

上野より
三十八哩七鎖

茨城縣常陸國稻敷郡朝日村大字荒川沖にあり

○神社

○月讀神社 停車場より 里許參詣者甚だ多し

土浦停車場

上野より
四十二哩十二鎖

茨城縣常陸國新治郡土浦町にあり當驛は舊土屋采女正の城下にして戸數二千余、人口凡一萬人を有し此線路内に於ける第一等の都會なり特に東南には霞ヶ浦を遠望し風景絶佳神暢び心浮くの思ひあらしむ

○官衙

郡役所、區裁判所、警察署、町役場、收税署、郵便電信局

○學校、病院

尋常中學校、新治病院、松葉病院

○銀行、會社

第五十銀行、農商銀行、土浦運送株式會社、土浦運輸合資會社、櫻組運送合資會社、常陽製糸會社

○交通

銚子港(一日一回)鹿島(一日一回)行の小蒸船每日往來す北俣町へ四里廿町筑波町へ五里廿九町、谷田部町へ三里十二町、水海道へ五里三十四町

◎名所、古跡

○筑波山 當驛を距ること五里

廿九町、山頂迄は六里廿九町

人力車賃七十五錢

○霞浦 は一に香澄浦に作る東

西七里十町南北六里卅三町周

圍三十四里十七町頗る大湖に

して沿岸の風光二三にして足

らず湖中に一島あり浮島と稱

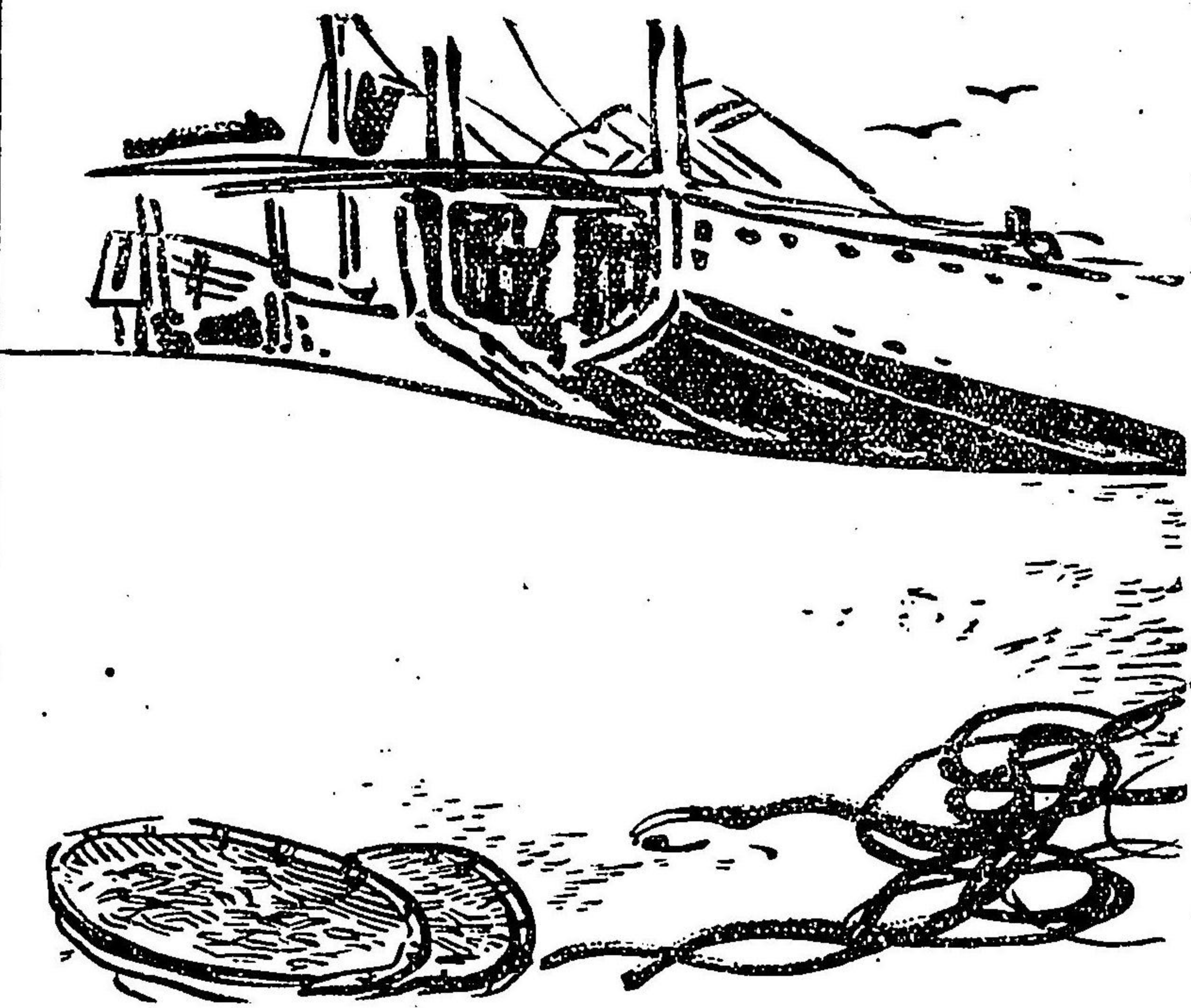
す貫之の歌に「櫻川瀬々の白

浪しけこれ霞うなかなす信太

の浮島」とは是なり

○公園 停車場附近に西子岡公

園あり櫻樹頗る多く境内に月



讀神社を祀る、總宜園は停車場を距ること十五六町多くの櫻樹を栽へ花季遠方より望めば白雲の簇がるが如く頗る美觀を極む

○一ノ矢天皇 停車場を距ること三里許の處に在り參詣者多し

◎旅店

松庄、江戸崎屋、櫻井、笹本、丸萬

◎料理店

日新樓、浩養館

◎劇場

鈴木座

◎物産

米麥、繭、生糸、干魚、焼魚、醬油、わかざ(魚類)

神立停車場

上野より
四十五哩七十八銀

茨城縣常陸國新治郡上大津村にあり

高濱停車場

上野より
五十哩

茨城縣常陸國新治郡高濱町にあり霞ヶ浦に望める一市にして佐原、銚子等と舟楫の便あるを以て貨物の集散最多し隨て商業亦繁盛なり

石岡停車場

上野より
五十二哩二十鎮

茨城縣常陸國新治郡石岡町にあり當驛は茨城縣下の名邑にして舊國府のありし處なり故に往古は府中と稱したりしも維新後今の名に改めたり戸數二千三百、人口一萬余を有し商業甚だ盛なり市中には造酒業者、醬油製造業者多く巍然たる大建物は遠方より眺めらる

◎名所古跡

國香の墓 停車場より十町許字貝地平福寺内に平國香の墓及大椽氏歴代の墳墓あり

○戀瀨川

は水源を加波、難臺二峰の間より出で當市の傍を流れて霞浦に入る家隆の歌に「戀瀨川つれなき中に行く水は年もせかれぬ涙なりけり」とは即ち此川なり

○筑波山 當驛を距ること三里

羽鳥停車場

上野より
五十六哩廿二鎮

茨城縣常陸國東茨城郡竹原村にあり當驛は薪炭の産出地にして別に記すべきなし

岩間停車場

上野より
五十九哩五十一鎮

茨城縣常陸國西茨城郡岩間村にあり當驛は南川根村へ到るの順路なり

○岩間神社 停車場附近に在り參詣者多し

◎物産

薪炭

濠洲シドニ：府
SMP會社製造



日本濠洲兼松
商店直輸入

骨血 肉粉 牛卸動物肥料

此肥料ハ、
窒素・磷酸極メテ濃厚也故ニ如何ナル作物ニ施スモ必ス超越
偉大ノ特効ヲ奏スルヲハ各府縣農家諸君ヨリ寄送サレシ實
驗報告表ニ詳悉セリ目下内地ノ各肥料ニ比較シ品位優等ニ
シテ直段格安ナリ

困難ノ今日農家諸君ハ成ルヘク純良格安ノ肥料ヲ撰定シテ
利用厚生ノ道ヲ攻究セネバチラス未知ノ諸君ハ見本説明書
實驗報告表等御申越次第直チニ進呈致ヘク未タ販賣店無キ
地ハ特約可致候

本品百分中
窒素七、五二
磷酸壹壹、四二
無限責任確証

廣告

東京深川佐賀町二丁目廿番地
鈴鹿保商家商店

廣告

明治二十年

登



錄

業人製造肥料廣告

資本五拾萬圓

完全人造肥料

拾貫目入壹圓六拾錢
定價金貳圓九拾錢

但し藍用及麻用肥料に限り 同量金貳圓九拾錢
弊社製造の完全人造肥料乃ち米、麥、桑、麻、茶、煙草、野菜、藍、
其他各種用肥料の特効あるとは夙に世の熟知せらるる所にし
て他の在來肥料に比し收穫上二割乃至三割の利益あるべし

過磷酸肥料

拾貫目入壹圓七拾錢
定價金壹圓七拾錢

此含有主成分百分中有効磷酸一五、以上
弊社製造の過磷酸肥料は米麥其他一切の植物に對し在來肥料
に混じ用ゆべきものにして品質を善良ならしめ作得上三割内
外の增收あることは是亦江湖の既に熟知せらるる所なり

注意 近來人造肥料と唱へ濫造粗悪の品を製し甚しきは
セメント 粕石炭 澱湯 灰等を用ひ弊社の商標を模擬し發賣する輩徒少からず候に付社名并に商標等御鑑別
の上御購求被下度候

施用方法書御入用の向きは御報次第贈呈可仕候

東京深川釜屋堀

東京人造肥料株式會社

大坂硫曹株式會社製造分析保證



過磷酸肥料

拾貫目入
東京倉渡

金壹圓七拾錢

獨逸國製分析保證品

一重過磷酸肥料

壹袋拾三貫五百目入
東京倉渡

金八圓拾錢

英國製分析保證品

一沈澱磷酸大豆粕料

壹袋拾三貫五百目入
東京倉渡

金六圓七拾五錢

右之諸肥料は各地至る處に販賣店有之候に付就て御購求相成度猶特約なき地方は特約
販賣の御約束御相談可仕候

重過磷酸直輸入之元祖

大坂硫曹關東奧羽大取扱



中央肥料商會

東京靈岸島東港町一丁目

代用比重計

壹本金貳拾錢
但郵送料共

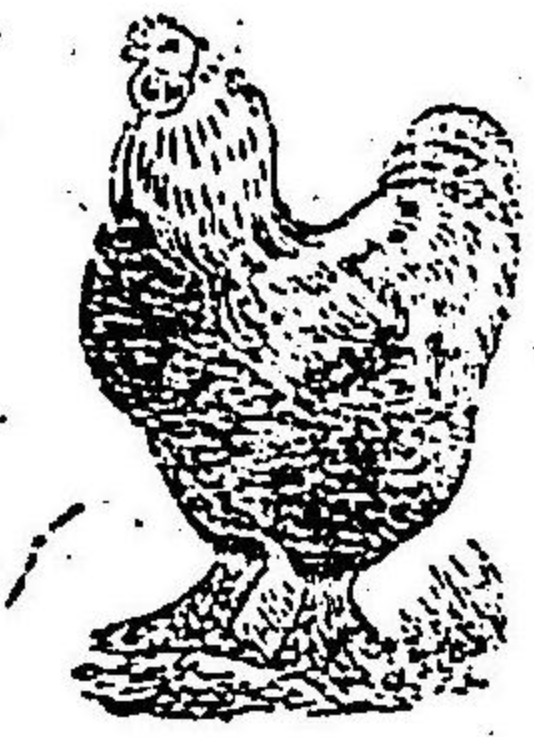
此品は種を撰むに農家の必要品なり

廣告

三

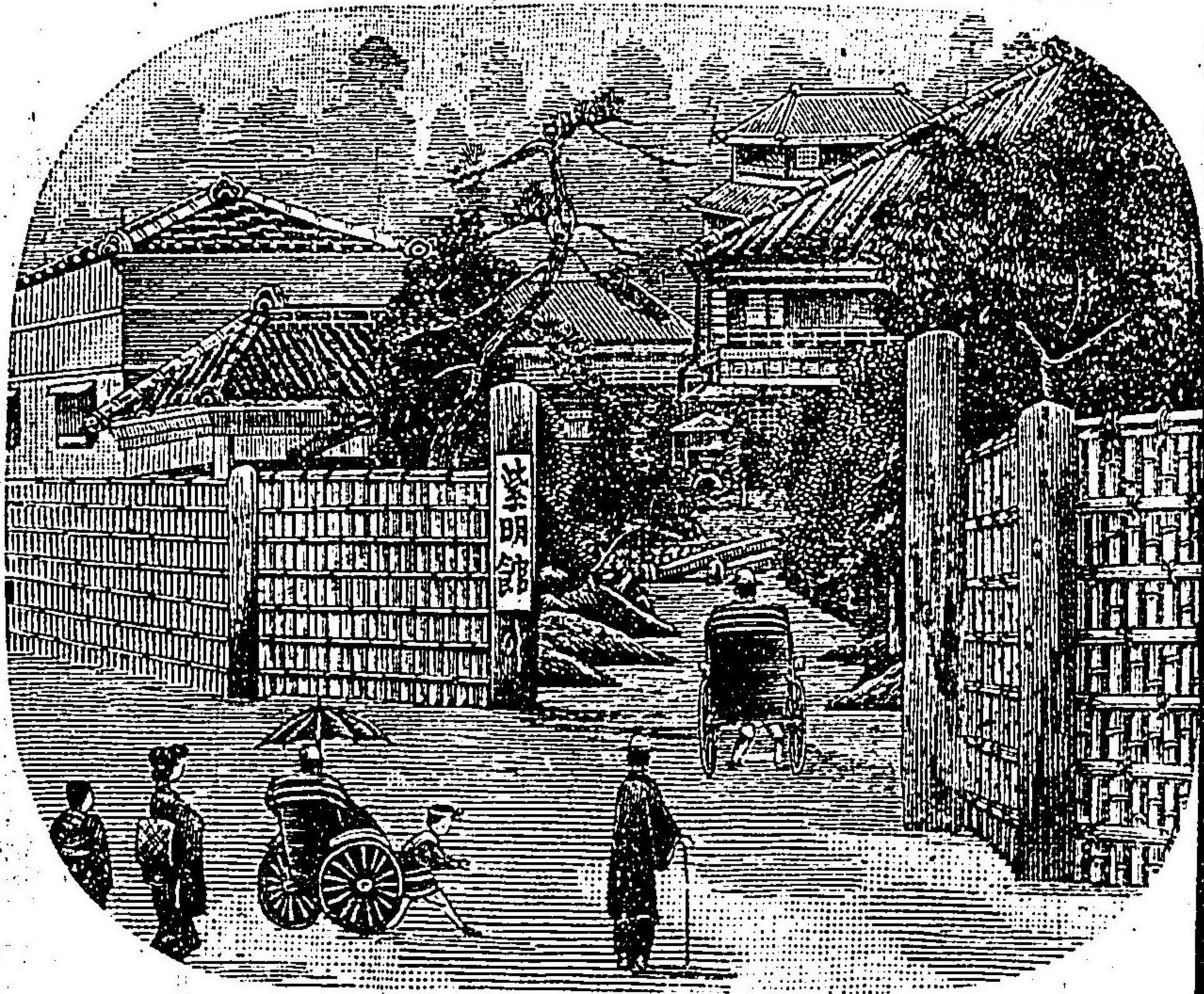
廣告

純良種禽雛卵販賣



養鷄手引草 全一冊
 正價卅五錢 遞送無料
 養鷄手引草 二編
 正價卅五錢 遞送無料
 石版刷彩色家禽畫甲乙二組
 正價三十拾錢 遞送無料
 右御望の方は御一報次第詳
 細御答可申上候
 東京芝區三田豐岡町七番地

豊岡町種禽場



廣告

東京根津 紫明館 都下仙郷
 (電話本局四百三十九番)

●内外ホテル各地保養旅館
 易高尙シ旨トシ日本流儀
 ニ組織シタル高等旅館也
 ●權現社頭幽邃閑雅ナル數
 千坪ノ庭園壯麗ナル百餘
 敷ノ廣間其他數十ノ客室
 フ有スレバ如何ナル大客
 フモ之ヲ辭セズ
 ●浴室ニ用ユル磯部嶺泉ハ
 (肺、胃、腸、咽、喉、息、子、宮、
 痔、便、痲、質、斯、神、經、等、奇
 効アリ官報第八百六十五
 號ニ詳ナリ)元地ヨリ立
 送シ日々白湯ト並ヒ仕立
 以テ清養ニ供ス
 ●滞在旬日便法ナリ又遠來
 顧客若坊定刻前御報アレ
 ハ迎車ス
 ●天功ヲ利シ人事ヲ盡シ益
 願客ノ便宜ヲ計リ衛生安
 息ノ本分ヲ完クシ以テ江
 湖貴紳ノ樂園ニ供セント
 欲ス

五

臺灣行荷物速達取扱廣告
 全國ニ支店出張代理店有
 北陸鐵道 北陸金山 北陸富山 北陸各埠
 日本郵船 日本各埠 日本各埠
 大阪商船 大阪各埠 大阪各埠
 大坂神戶四國九州行 取扱懇切ニ運賃低廉ナリ
 東京日本橋西川岸

企原鐵出張店

主任 太田秀三郎

名刺用紙大安賣廣告

製造販賣 東京京橋大錦町三番地
 主任 太田秀三郎
 太田三平堂

今回又々製造ニ大改良ヲ加ヘ紙質ヲ撰ミ新
 形モ澤山製造發賣仕リ候間何卒倍舊續々御
 用向ノ程被仰付度奉願上候 見本御入用ノ
 節ハ郵券拾錢御送付次第直ニ御送品可仕候

大正 益 萬 百 圓 圖

等付金當座貸越金手形割引爲替取組代金取立ハ精々御
便利ニ取扱可申候

爲替取組
先 仙 新 大
八 王 子 臺 鴻 坂
王 子 臺 博 函 京 都
幌 小 葉 多 館 都
高 崎 前 橋 宇 都 宮
門 司 濱 松 靜 岡
熊 本 名 古 屋 金 澤
長 崎 神 戶 橫 濱

日本橋支店

同市日本橋區通壹丁目十二番地 (電話新橋千百八番)

定期預金
當座預金
小口當座預金
株式會社 丁酉銀行

東京市京橋區宗十郎町十三番地

三ヶ月以上 年六分八厘
六ヶ月以上 年七分
百圓ニ付 日步壹錢五厘
百圓ニ付 日步壹錢七厘

廣告

六七

廣告

弊館ハ市内中央最高等ノ位置ニシテ電鐵門前ヲ往復シ交通
遊覽頗ル便宜鴨河ニ臨ミ東山連峰ニ對シ眺望絶佳ナレバ陸
續御投宿之榮ヲ賜リ度尙御着京前御一報ヲ賜ハラバ直ニ御
迎へ御鄭重御取扱可申上候

富士亭旅館

京都市木屋町通高辻上ル



三條小橋 萬屋旅館

電話番號 四百三十三番
電信番號 キヨトヨロヤ

廣告

六七

廣告

＊明治廿四年創業＊

公債株式
地金銀 **賣買**

確實と便利を旨とし親切專一に御
取扱申候

東京株式取引所仲買人

玉塚榮次郎

日本橋區本材木町
一丁目九番地海運橋際

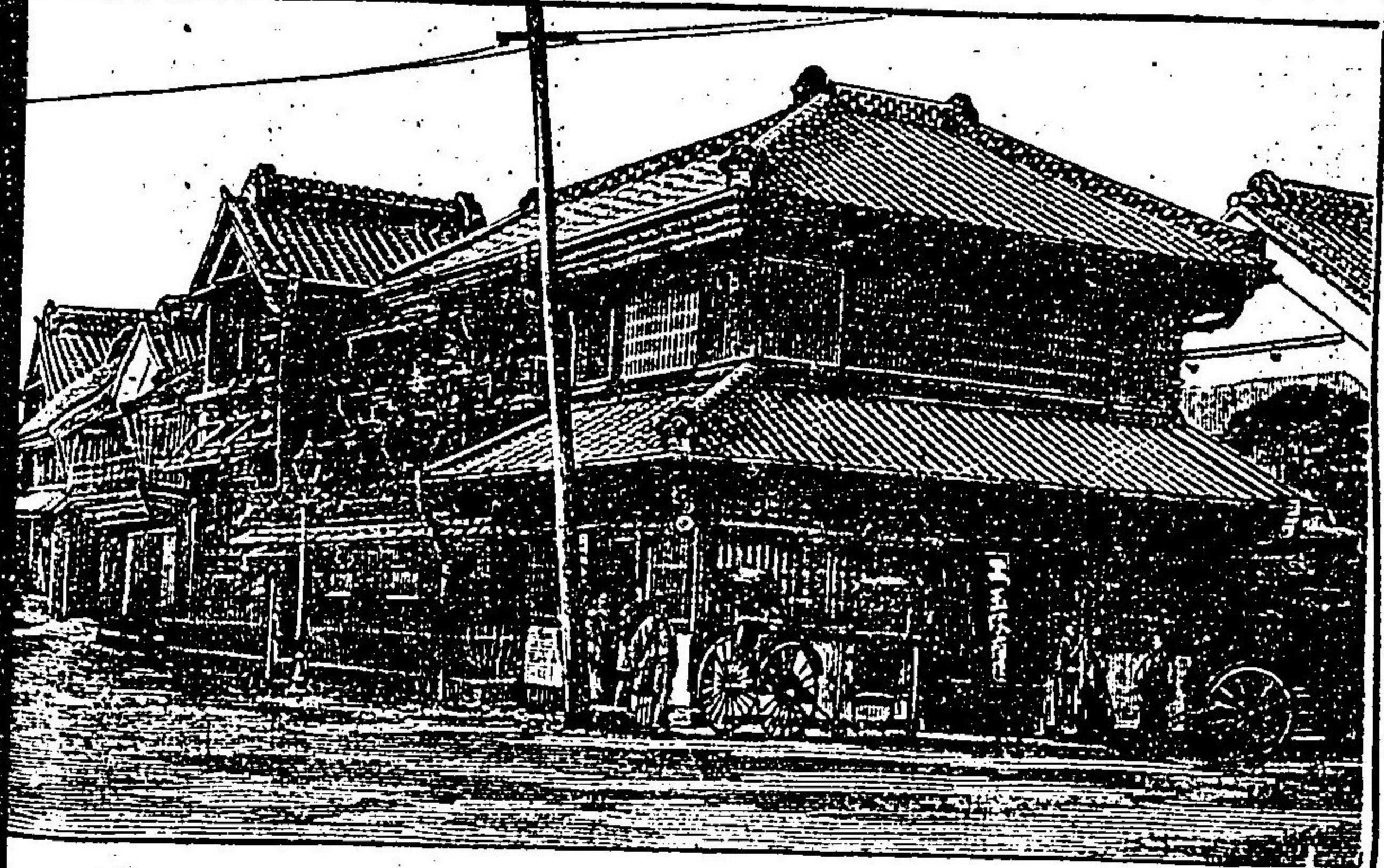
長距離電話加入

電話本局 四四七〇

住宅 大森停車場最寄
荏原郡入新井村
千五百五拾番地

電話新橋 一一二一五

當店發行の「二六節用」は貳錢切手
御送付あれば進呈す



E. TAMAZUKA,
STOCK, SHARE & BULLION BROKER,
No. 9 (corner) Honzaimokuchō Itchōme, Nihonbashi, Tokyo.
Telephone, Nos. 440 & 477 Honkyoku.

●水戸線

結城停車場

小山より
四哩二十鎖

英城縣下總國結城郡結城町にあり當驛は舊水野日向守の城市にして戸數二千余、人口一万余を有し商業盛なる一市街なり此地古來歴史上著名の地にして遠く其昔を緜ぬるに天慶二年藤原の秀郷平將門を誅滅するの功により鎮守府將軍に任せられ城を小山に築き自ら小山に居り支城を此地に構へ其屬をして之を守らしむ即此城の創始なり降て徳川氏に至り結城秀康の封を越前に移すや一時荒廢に歸せしも元祿年間水野勝長此地に封せられ子孫相襲ふ明治成辰の役官軍之に據る今や毀ちて原形なし

◎官衙

◎寺院

町役場、警察分署、登記所

○弘經寺 文祿四年結城秀康の創建とす、稱名寺 境内に結城氏四世の墓あり本尊の阿彌陀如來は春日の作なり、安穩寺内に源翁禪師の墓あり那須野の妖狐を化度したるは皆人の知る處とす

◎旅 店

三村屋、潮田重吉

◎物 産

結城紬最も名あり

川島停車場

小山より
六哩四十九銀

茨城縣常陸國眞壁郡伊讚村六字下川島にあり附近に鬼怒川の流れありて舟楫の便に富む

下館停車場

小山より
十哩二十銀

茨城縣常陸國眞壁郡下館町下館にあり當驛は舊石川若狹守の城邑にして郡内第一の市邑なり戸數千百余、人口六千を有し市街繁盛にして商業の殷賑なる縣下有數の驛

◎官 衙

郡役所、警察署、登記所等

◎神 社

○大寶八幡 當驛を距る南方三里許の處に在り宇佐八幡を勧請せしものにて殿堂宏壯境内廣潤一名祠たるを失はず下に大寶の沼あり周回一里半風景頗る妙なり

◎名 所

○筑波山 當驛を距ること五里許、小山地方より登山せむとする旅客此驛より到るべし平坦にして行路容易なり抑當山は突兀として平原に秀出する名山にして古來詩歌に吟唱する處たり山の高さ海面を抜くと三千百八十尺頂は二つに分れ一を男體と稱し一を女體と云ふ山上は頗る開豁にして眺望千里半腹に筑波町あり市街をなして旅舍商店皆備はらざるなし山中には連歌嶽、御幸原、大黒石、胎内潜、高天原、

石門、水無川等の奇勝あり筑波神社華表傍に碑あり嵐雪の句を刻す

雪は申さず先づ紫の筑波山

筑波山脈の一峯に雨引山と稱するあり半腹に延命觀世音ありて坂東廿四番の札所とす櫻樹頗る多く花期の勝遊頗る妙なり

◎旅店

界屋、北島庄三郎等

◎物産

米穀木綿を重ねるものとす

新治停車場

小山より
十四哩四鎖

茨城縣常陸國眞壁郡新治村にあり

◎古跡

○小栗判官の生地 當驛より一里許にして有名なる小栗判官の生地小栗村あり

○桔梗ヶ池 當驛を距る東方二十町許大國村に桔梗ヶ池と稱するあり傳へいふ往古平親王將門の愛妾桔梗の前此池に身を投じて死せしより以來池邊に叢生せる桔梗花咲かずなりぬと無情の草木も亦之を悲しみしや否

岩瀬停車場

小山より
十八哩四十二鎖

茨城縣常陸國西茨城郡西那珂村字岩瀬にあり近傍より花崗石の産出非常に多し

◎寺院

停車場附近なる一丘陵の上に富谷觀世音あり境内頗る眺望に富む、天平七年聖武天皇の勅願に依り行基僧正の開基せし處とす寺内にある三重の塔は天平開創當時の建物にして世に最珍奇せらるゝ處なり先年内務省より特に保存金の下賜あり天平は今を去る殆ど千百七十年蓋我國に現存する最古の建築物なるべし、有名なる雨引觀世音は停車場より一里半許

◎名所

○櫻川 停車場より半里許東那珂村大字磯部にあり兩岸は櫻樹數千株あり花時の艶麗なる筆にも盡されず小金井の櫻花も昔し此地より移植せしもの多しと謠曲櫻川と稱するは即此地にして磯部神社は今稻村神社と稱せり社前に碑あり貫之の「いつよりも春へになれは櫻川波の花こり間なく寄すらめ」歌を刻せり古來櫻花の勝地なるも訪ふ人少く僅かに近郷の兒女遊覽の場となるのみ惜むへき事にこり



◎交通

烏山へ六里、益子町へ三里十八町、眞岡町へ三里、眞壁町へ二里三十町

◎物産

石材、木炭

福原停車場

小山より
二十三哩十四鎮

茨城縣常陸國西茨城郡西山ノ内村大字福原にあり物産は石材雜穀建具等とす

稻田停車場

小山より
二十五哩八鎮

茨城縣常陸國西茨城郡西山ノ内村大字稻田にあり

◎舊跡

停車場より八町許西念寺と稱するあり往時稻田御坊と稱し浄土眞宗開始の靈場たり昔親鸞上人此地に草庵を結び居る事二十年一宗を起し致行信證文類六卷の寶典を

顯し遂に西上せり當時稻田の郷は宇都宮頼綱の弟稻田九郎頼重の領なり頼重深く之に歸依し髻を剪り弟子となり頼重坊教養と號せり寺内に辨圓回心の櫻、神原井等の古跡あり又二町許の處に親鸞上人の内室玉日子の墓あり菩提樹の大木蒼然として墓上を掩ふ

◎物産

石材

笠間停車場

小山より
二十七哩四銀

茨城縣常陸國西茨城郡笠間町にあり當驛は舊牧野越中守の城下にして戸數凡六百を有し稍々繁華なる一市邑なり

◎官衙

郡役所、警察署、登記所

◎名所舊跡

停車場附近に城山公園あり風景頗る絶佳宇都宮時友の城趾及び阪東廿三番の札所玄正院の観音等共に皆名所なり

◎神社

○胡桃下稻荷 頗る名高き神社にして祭禮は毎年舊曆初午の日に舉行せられ又鎮守祭は舊曆十一月十五日にして四方より參詣するもの極めて多し

◎旅店

井筒樓、恵比壽屋等

◎物産

陶器、煙草、建具

穴戸停車場

小山より
三十哩二十五銀

茨城縣常陸國西茨城郡穴戸町字太田町にあり

◎官衙

村役場、郵便局

◎旅・店

龜屋、中村惣兵衛

友部停車場

小山より三十一哩二十八鎖
上野より六十三哩七十三鎖

當驛は水戸線と土浦線との岐るゝ所にして小山地方より水戸に到らむとするものと土浦地方より水戸に到らむとするものとの相合する所なり地は素と山間の一僻村たるに過ぎずと雖も高燥にして空氣清く眼病治療等には恰好の處なり

◎病院

松岡眼科専門病院は停車場附近に在り

◎會社

委託販賣倉庫會社亦附近に在り

◎交通

當驛は蘭生系の産地たる北川根村へ到るの順路なり

◎旅店

伊勢屋、白木屋

◎物産

薪炭、雜穀

内原停車場

小山より卅四哩廿六鎖
上野より六十六哩七十一鎖

茨城縣常陸國東茨城郡下中妻村にあり

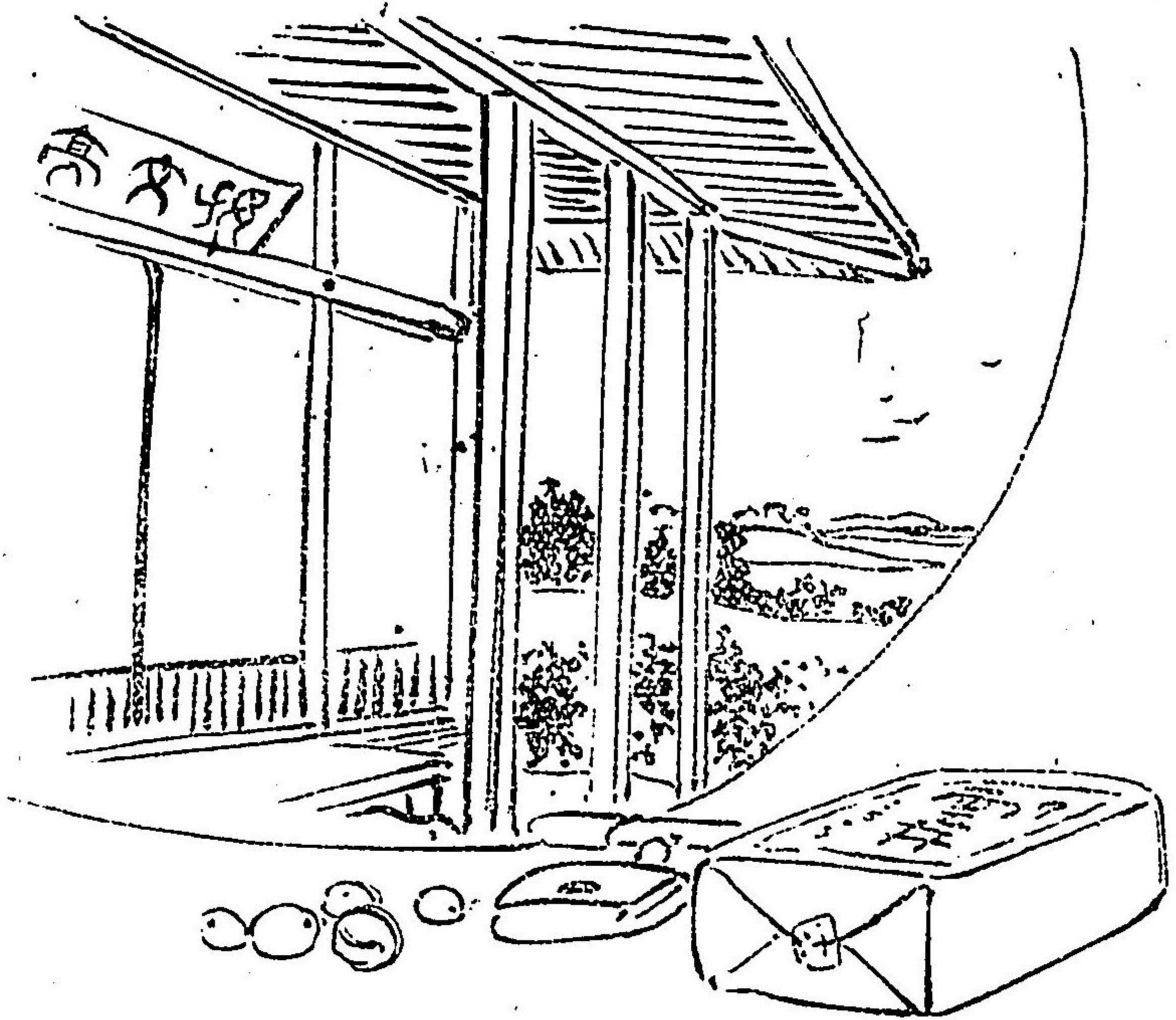
◎古跡

停車場より二里餘小松村大字上入野に平重盛の墓と稱するあり塚は方二間高三四尺塚上古碑一基あり蓋當時の物にあらず平家一族没落の後平貞能重盛の骨及守護佛を負ひ此處に至り山上に葬り一精舎を建て自ら僧となれり

赤塚停車場

小山より三十七哩六十九鎖
上野より七十哩三十四鎖

今一は上市の西南にありて常盤公園といふ天保年間烈公の經營に係り借樂園と名けらる蓋し官民共に樂むの意を寓するなり當時梅樹を栽培したること實に六千株の多きに及びたりしが今は漸く減じて現に四千株に過ぎざるに至り園の中央に好文亭樂壽樓などあり曾て烈公の諸士を集めて詩を賦し歌を詠せられたる所なり此園は當に梅花に著名なるのみならず四時の花卉を栽し就中躑躅花は其數最多し又山



水の風景に富み、東南仙波湖に面し遙かに筑波加波等の諸峯を雲際に望み風景絶佳にして日本三公園の一たるに恥ぢず遠方より態々來遊するも尙其甲斐あるを覺ふ

○水戸家墳墓 太田町に在り結構宏壯境内幽隱にして朱舜水の墓亦此處に在り其他藤田東湖墓(向町)二十三夜尊(馬口勞町)等一々枚擧するに遑あらず

○大洗の海水浴 有名なる大洗の海水浴場は水戸市を距ること三里許磯濱村に在り前面は渺茫たる大洋に對し後方は蜿蜒たる丘陵を負ひ一帶の青松白砂と相映じて風光の美いはん方なし地に鬼洗の澤、琴彈の澤、烏帽子岩、磯濱八景、大洗神社等遊人の杖を曳くべき處亦尠からず旅店には金波樓、同第一別莊、同第二別莊、魚來庵あり浴後鮮を切り太白を傾くれば身は何時しか仙境に遊ぶの思あらしむ

◎旅 店

鈴木屋、芝田屋、太田屋、森川屋、伊勢屋、松水館、鶴田いし等

◎料理 店

垂楊亭、山口樓、津の國、清香亭、本橋

◎劇場及寄席

茨城縣常陸國東茨城郡河和田村字赤塚にあり

水戸停車場

小山より四十一哩四十五鎖
上野より七十四哩十鎖

茨城縣常陸國水戸市上市柵町にあり舊水戸中納言の城市にして今は縣廳所在の地たり市境東西一里八町南北十五町四十間市坊の數百十九を有し人煙頗る稠密にして商業亦繁盛を極む此地は所謂八達の衝に當り後に那珂川の流れありて舟楫の便に富む鐵道の開けしより繁盛亦昔日の比に非ず加ふるに近時太田鐵道の開通ありて又一利便を増せり同線は此地より起り太田町に至る十二哩余間の鐵道にして同地への行旅は此驛にて乗換らるべし

◎官 衙

縣廳、市役所、郡役所、地方裁判所、監獄署、警察署、小林區署、郵便電信局、登記所、葉煙草專賣所、聯隊區司令部等

◎學校、病院

尋常師範學校、尋常中學校、高等女學校、茨城縣病院

◎銀行、會社

川崎銀行、第百四銀行、第六十二銀行、水戸農工銀行、商業銀行、製糸場

◎新聞社

水戸新聞社、茨城日報社

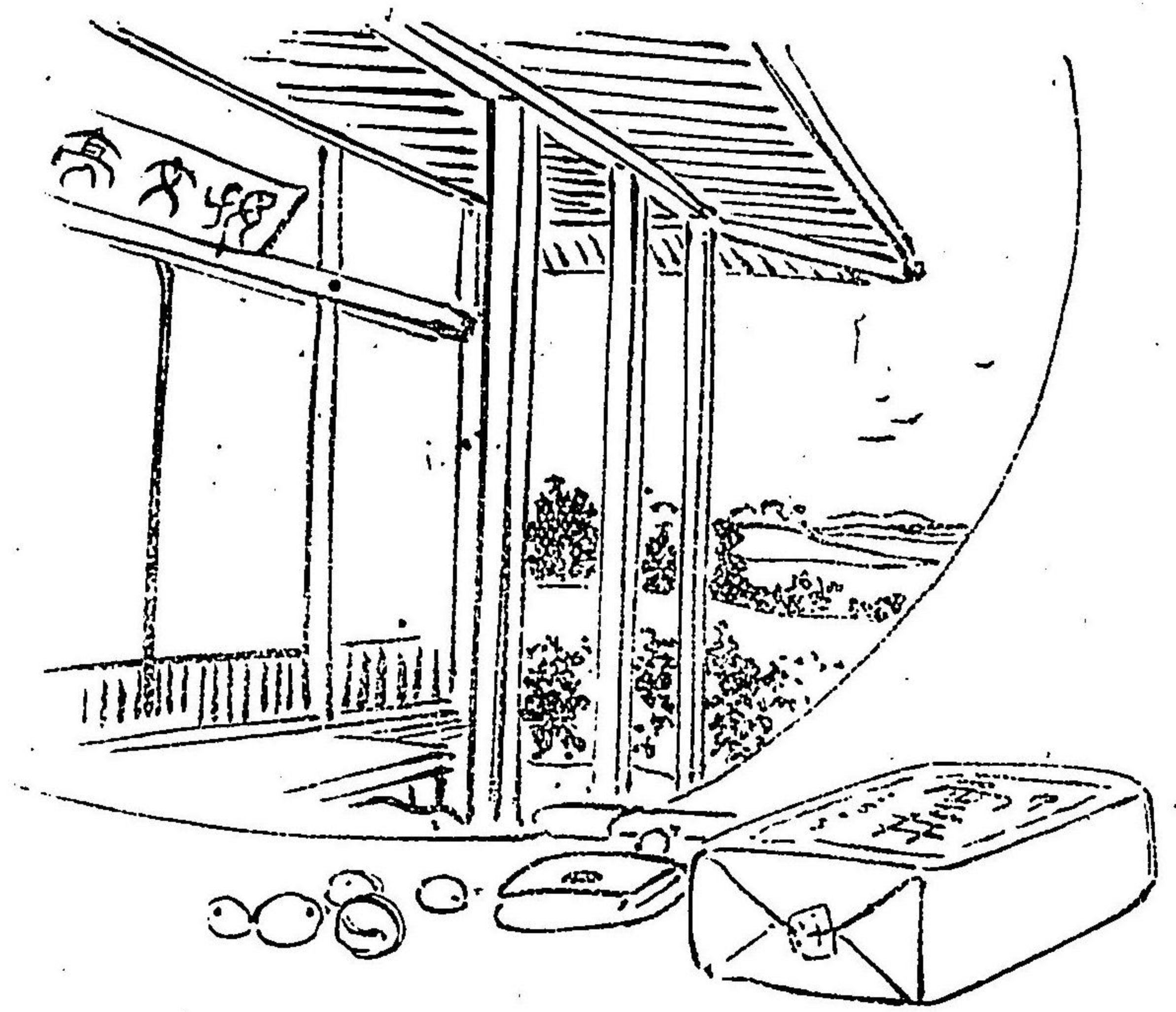
◎交通

當驛と大洗、湊間に乗合馬車往復す、川蒸氣船は當驛の杉山河岸より湊間を往復す

◎名所、古跡

○水戸の公園、水戸に二ヶ所の梅園あり一は弘道館を設け大に文武を講習せしめられし所なり館の四方梅樹數千株老幹起伏して境内を蔽ひ花時遠望すれば宛然白雪の如し境内の弘道館は今水戸市の保存する所に係り其一部は現に幼稚園に充てられ他は舊形のまゝ存す縦覽せむと欲するものは見料二錢を納め案内者に伴はれて館内の各室を巡覽すべし烈公當時の風趣想像に堪へたるものあり、玄關の戸襖に彈痕あるは天狗連の所爲なりしといふ有名なる弘道館の石碑は館の附近八角堂の中に立てらる石材は寒水石にして碑文は烈公の親筆なり

今一は上市の西南にありて常盤公園といふ天保年間烈公の經營に係り借樂園と名けらる蓋し官民共に樂むの意を寓するなり當時梅樹を栽培したること實に六千株の多きに及びたりしが今は漸く減じて現に四千株に過ぎざるに至り園の中央に好文亭樂壽樓などあり曾て烈公の諸士を集めて詩を賦し歌を詠せられたる所なり此園は當に梅花に著名なるのみならず四時の花卉を栽し就中躑躅花は其數最多し又山



水の風景に富み、東南仙波湖に面し遙かに筑波加波等の諸峯を雲際に望み風景絶佳にして日本三公園の一たるに恥ぢず遠方より態々來遊するも尙其甲斐あるを覺ふ

○水戸家墳墓 太田町に在り結構宏壯境内幽隱にして朱舜水の墓亦此處に在り其他藤田東湖墓(向町)二十三夜尊(馬口勞町)等一々枚擧するに遑あらず

○大洗の海水浴 有名なる大洗の海水浴場は水戸市を距ること三里許磯濱村に在り前面は渺茫たる大洋に對し後方は蜿蜒たる丘陵を負ひ一帶の青松白砂と相映じて風光の美いはん方なし地に鬼洗の澤、琴彈の瀨、烏帽子岩、磯濱八景、大洗神社等遊人の杖を曳くべき處亦尠からず旅店には金波樓、同第一別莊、同第二別莊、魚來庵あり浴後鮮を切り太白を傾くれば身は何時しか仙境に遊ぶの思あらしむ

◎旅 店

鈴木屋、芝田屋、太田屋、森川屋、伊勢彦、松水館、鶴田いし等

◎料理 店

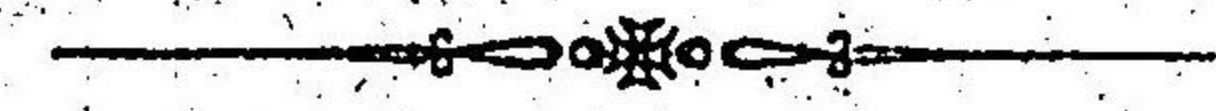
垂楊亭、山口樓、津の國、清香亭、本橋

◎劇場及寄席

目録 郵船 株式會社

Table with multiple columns listing shipping routes, destinations, and dates. The text is dense and partially obscured by heavy noise.

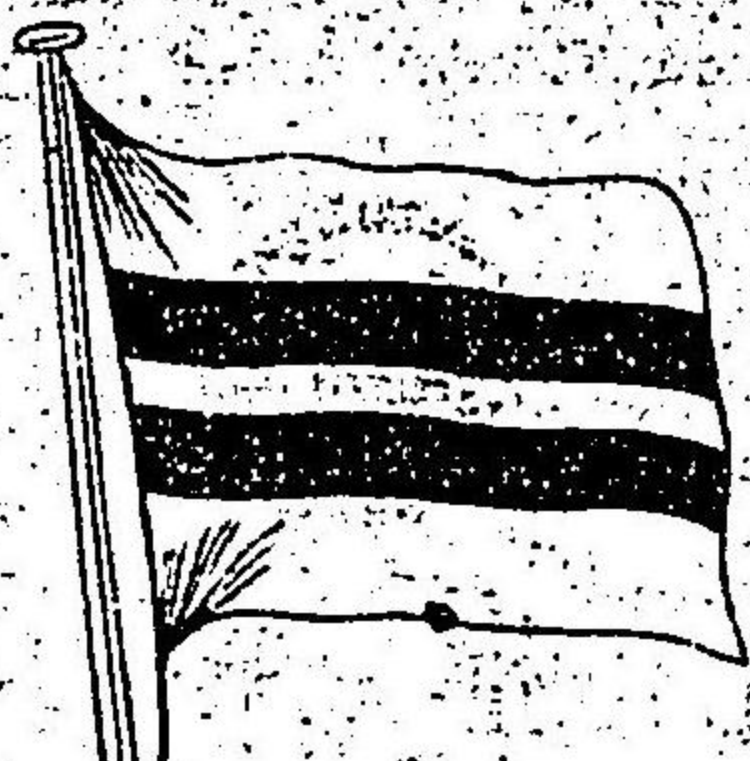
水戸線(前) 往復牛田又八津寄港



常盤座、宮榮亭
◎物産
煙草、鹿野芋、寒水石細工物、梅干等なり

水戸線終り

日本郵船株式會社



電話番號本局
五千五百一拾壹番

電話番號本局
六百七拾七番

東京市麹町區有樂町一丁目番一第

廣告

<p>歐洲線 (二週) 橫濱、神戶、門司 (臨時) 香港、新加坡、檳榔嶼、仰光、孟買、倫敦、安特衛普、蘇士、波爾特、塞得港、馬耳他、熱那亞、亞丁、塞特、亞爾及爾、馬尼拉、宿務、巴拿馬、科隆、聖多明各、哈瓦那、紐約、倫敦、安特衛普、蘇士、波爾特、塞得港、馬耳他、熱那亞、亞丁、塞特、亞爾及爾、馬尼拉、宿務、巴拿馬、科隆、聖多明各、哈瓦那、紐約</p>	<p>孟買線 (四週) 橫濱、神戶、門司 (往香港、古倫、孟買、倫敦、安特衛普、蘇士、波爾特、塞得港、馬耳他、熱那亞、亞丁、塞特、亞爾及爾、馬尼拉、宿務、巴拿馬、科隆、聖多明各、哈瓦那、紐約)</p>	<p>澳洲線 (每月) 橫濱、神戶、門司 (往香港、古倫、孟買、倫敦、安特衛普、蘇士、波爾特、塞得港、馬耳他、熱那亞、亞丁、塞特、亞爾及爾、馬尼拉、宿務、巴拿馬、科隆、聖多明各、哈瓦那、紐約)</p>	<p>米國線 (二週) 橫濱、神戶、門司 (往香港、古倫、孟買、倫敦、安特衛普、蘇士、波爾特、塞得港、馬耳他、熱那亞、亞丁、塞特、亞爾及爾、馬尼拉、宿務、巴拿馬、科隆、聖多明各、哈瓦那、紐約)</p>	<p>上海線 (每週) 橫濱、神戶、門司 (往香港、古倫、孟買、倫敦、安特衛普、蘇士、波爾特、塞得港、馬耳他、熱那亞、亞丁、塞特、亞爾及爾、馬尼拉、宿務、巴拿馬、科隆、聖多明各、哈瓦那、紐約)</p>	<p>神戶線 (三週) 神戶、下關、長崎、釜山、元山、浦沙、新嘉坡 (結水、中山、天津)</p>	<p>天津線 (四週) 神戶、下關、長崎、對馬、釜山、天津、塘沽、神戶、下關、長崎、對馬、釜山、天津、塘沽</p>	<p>牛莊線 (四週) 神戶、下關、長崎、對馬、釜山、天津、塘沽、神戶、下關、長崎、對馬、釜山、天津、塘沽</p>	<p>香港線 (四週) 神戶、下關、長崎、對馬、釜山、天津、塘沽、神戶、下關、長崎、對馬、釜山、天津、塘沽</p>	<p>神戶線 (二週) 神戶、下關、釜山、仁川、鎮南</p>
<p>四日市線 (每日) 往復牛田又八津寄港、復航臨時神戶又八津寄港</p>	<p>小笠原線 (每月) 橫濱、八丈島、小笠原父母島、(時季二依り三宅島、青ヶ島、鰐島、硫黃島寄港)</p>	<p>小樽線 (三週) 橫濱、秋田、函館寄港 (四日市、每日市寄港)</p>	<p>小樽線 (每週) 橫濱、神戶、尾道、下關、境、敦賀、伏木、直江津、新潟、酒田 (以上四港夏季寄港) 佐渡 (夷船川) (以上二港冬季寄港) 能代、函館寄港</p>	<p>神戶線 (每日) 門司寄港</p>	<p>小樽線 (不) 增毛、燒尻、鬼脇、禮文、利根、內線寄港</p>	<p>青森線 (每日) 函館寄港</p>	<p>函館線 (不) 釧路、厚岸、濱中等寄港 (冬季花咲迄)</p>	<p>根室線 (不) 國後、擇捉等諸島北見地方寄港</p>	<p>函館線 (不) 江差、檜都寄港</p>

右記載ノ外内外各樞要諸港行通ノ切符及ヒ通シ船荷證ヲ發行ス
右ノ外臨時船ノ内外各港ヘ回航スルコトアリ

常盤座、富榮亭
◎物産
煙草、鯉鱒辛、寒水石細工物、梅干等なり

水戸線終り

道 鐵 海 南

(間 山 歌 和 阪 大)

リ 限 = 客 乘 通 直 間 山 歌 和 阪 大

賣 發 符 切 復 往 引 割 大

間 日 三 (錢 拾 九 等 三) 金 貨
用 通 (倍 三 八 等 一 倍 二 ノ 等 三 八 等 二)

沿 道 名 所 案 內

天下茶屋 天下茶屋ニアリ豊太閣ノ莠蹟ヲ以テ其名世ニ高シ今ハ遊園地アリテ四時行樂ノ勝地ナリ

住吉神社 住吉驛ヨリ二丁橋高燈籠ノ壯觀云フベカラス

堺大濱公園 堺驛ヨリ三丁堺港ニ連ナリ茅葺海ニ面ス數層ノ樓閣軒ヲ並ベ樓下波靜カニシテ白鷗遊ブ處風光受スベシ

濱寺公園 濱寺驛ヨリ一丁茅葺海ニ瀕ス白砂青松遊ク連ナリ風光明眉ナリ又十數軒ノ料亭アリテ避暑海水浴ニ適ス

大鳥神社 全驛ヨリ十丁官幣大社ニシテ祭神日本武命境内廣潤老樹森々トシテ夏尙ホ寒ク神園酒亦自カラ趣味アリ

牛瀧山 岸和田驛ヨリ三里人力車ノ便アリ紅葉ヲ以テ其名世ニ高シ又山中ニ有名ナル瀧アリテ山河幽邃ナリ最モ避暑ニ適ス

水間 觀音 貝塚驛ヨリ五十丁人力車ノ通行便ナリ厄除觀音ヲ以テ世ニ崇ル信者多ク參詣人常ニ絶ヘズ

金熊寺 梅林 櫻井驛ヨリ五十丁人力車ノ往復自在ナリ和州月ヶ瀬ニシテ大梅淡ニシテ一目千本ノ樹アリ花季遊客隨ヲ接ス

犬鳴山 佐野驛ヨリ二里半滝マデ人力車通ス義犬ノ故事ヲ以テ其名世ニ高シ山深フシテテ清ク最モ避暑ニ適ス

田山稻荷神社 箱作驛ヨリ十丁神殿壯麗ナラスト雖モ城州伏見稻荷社ト共ニ其名世ニ高シ信仰者多ク參詣人絶ユルコトナシ

加太淡島神社 和歌山(北口)驛ヨリ三里世ニ加太大明神ト稱シ婦人ノ信仰最モ厚シ又有名ナル紀淡砲臺モ此神社ヨリ程近シ

和歌浦 全驛ヨリ一里二十丁通路砥ノ如シ一名光明浦ト稱シ風光絶佳ナルコト齒クガ如ク實ニ日本三景ニ亞グ勝地ナリ

紀三井寺 全驛ヨリ二里十丁西國第二番觀世音ノ娑羅ナリ名草山ノ山腹ニ在リテ和歌浦ノ絶景手ニ採ル如シ

高野山 全驛ヨリ十四里我國著名ノ靈地ナリ道程遠シト雖モ紀和鐵道及川舟ノ便アリ

年中無休刊

全國 唯一 郵稅 無料

毎日新聞

金世五錢

● 三ヶ月以上前金御郵送下され候は、全國何れの地へも郵送可仕候

● 毎日新聞は八頁繪入總振假名にて最も面白き新聞なり

● 社説は島田三郎氏の筆に成り一種の特色ある公平不偏の説を立つ

● 連日繪入小説二篇を掲げ日曜日には別に菊判十六頁の講談附録を添也

東京橋區 尾張町新地

毎日新聞社

廣 告

太田鐵道ハ日本鐵道會社水戸驛ヨリ常陸久慈郡太田町ニ至ル線路ナリ

太田鐵道ハ水戸太田間十二哩十一鎖ニシテ全線列車運轉ス

太田町ハ常陸國北部物産ノ集散地ニシテ最モ著名ナル産物ハ烟草、石材、木炭、紙、楮、蒟蒻粉等ナリ

瑞龍山ハ水戸家累代ノ墳墓ニシテ西山ハ徳川光圀公退隱ノ地其他名勝舊跡少カラズ

明治三十二年三月廿一日

太田鐵道株式會社

廣 告

五

野田最上醬油



印

製造場四個所
釀造高三萬石

敷地壹萬三千
坪倉庫百壹棟

弊店釀造ノキハク印醬油は野田最上三印ノ一ニシテ文明ノ學理ヲ應用シ近來釀造上ニ一大改良ヲ加ヘ内外大博覽會ニ出品シ其都度日本醬油中最優等ノ賞牌ヲ受領シタル事ハ江湖諸君ノ知ラル、所ニシテ内地ハ勿論海外輸出モ日ニ月ニ増加スルニ至ル本印ノ外ニ番ニ番四番等ノ次品モ亦近年大ニ改良ヲ加ヘ大暑ト雖トモ腐敗等ノ患ナキニ至ル

右賣捌御望ノ諸君ハ郵便ニテ御照會次第直ニ御回答可仕候物品ノ確實ナルト取引ノ正直ナルハ弊店營業ノ方針ニシテ又愛顧諸君ニ酬ユルノ素志ナリ

千葉縣東葛飾郡野田町

釀造元

茂木七郎右衛門

廣告

廣

告

御旅館 松坂屋藤七

上州前橋市堅町

911

御旅館 元鍋屋彌平

前橋市横山町六番地

高崎停車場際

高崎館は

東京、信越、両毛、上野鐵道乗換の要地たる當
停車場の眞前に有之候に付御乗換への爲自然
御待合せ相來へき間御休息遊され其他御乗車
下車の御折には最も御便利に有之尙弊店前よ
り鐵道馬車の往復も有之伊香保、川中、川原
湯、四萬、澤渡、草津等の各溫泉場へ御駕を
托げらるべきの便利も有之候に付御乗降の御
節は御立寄り被成下度候

高崎停車場前

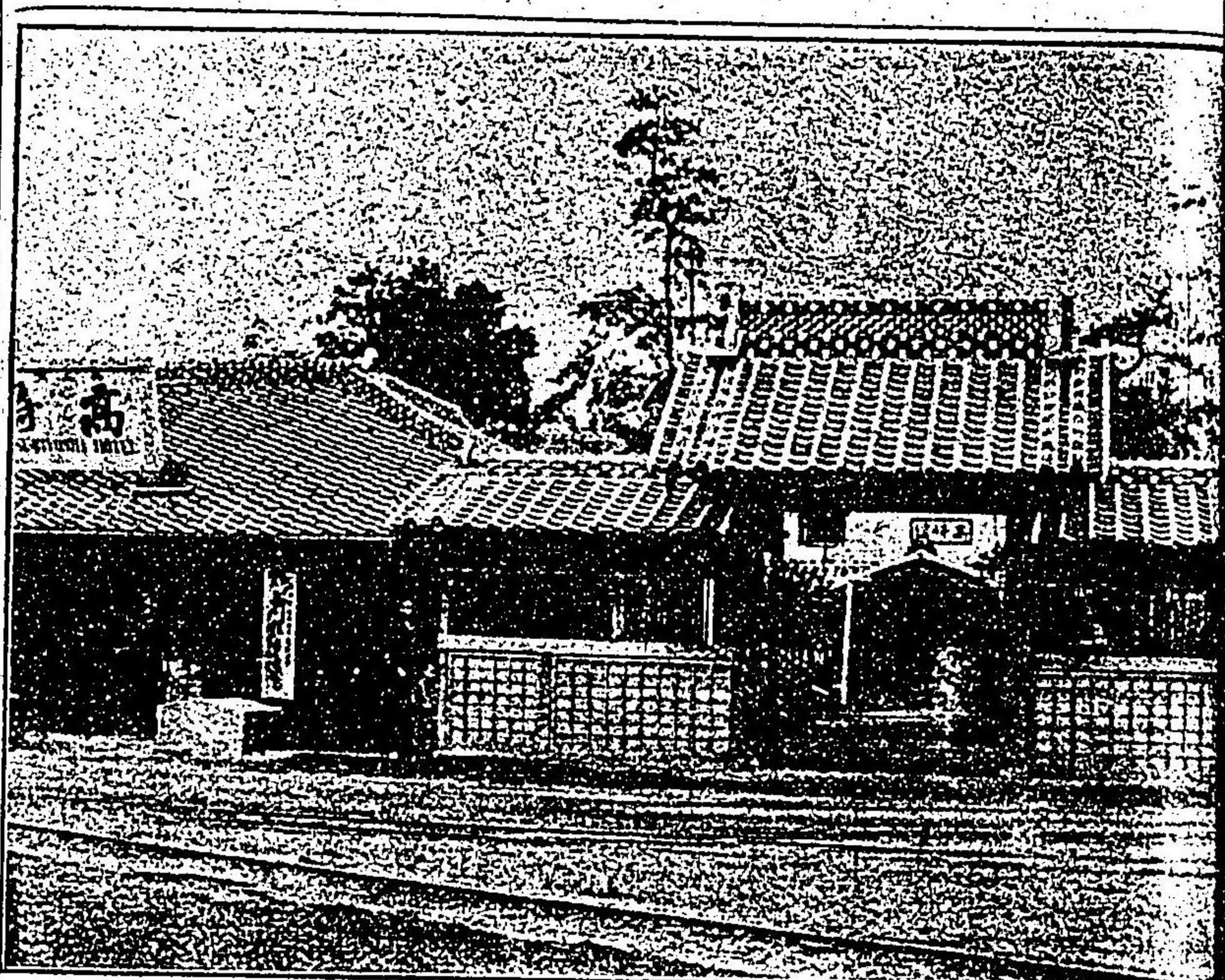
高崎館

壽美餘志富貴壽

913

廣

告

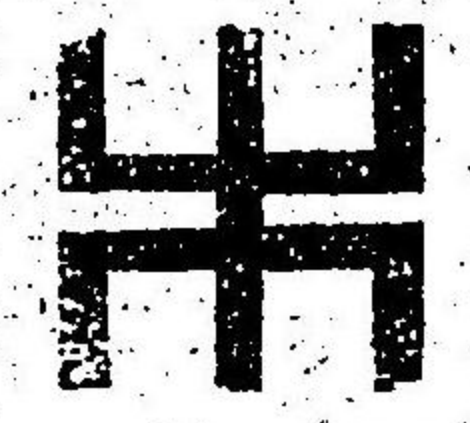


廣告



號二百第
式株道鐵本日
社會取物貨

運送業廣告



全 高崎停車場前

鈴木運送本店

鈴木運送支店

群馬縣高崎飯塚停車場前

第二十一號

日本鐵道株式會社貨物取扱人

高崎運送合資會社

高崎停車場前

草津溫泉廣告

主治効能ハ腦病、癱瘓質斯、胃病、皮膚病、痔疾、痲疾、梅毒、其他痲疾、婦人各種ノ經久病

入浴期ハ四季共ニ宜シ其中三月ヨリ十月迄ヲ最好期トス

草津ハ雷ニ病者ノ浴療ニ適スルノミナラズ避暑ノ地トシテモ亦内外貴賓ノ稱贊ヲ博セリ

道路ハ大ニ改修シ昔日ノ比ニアラス自由ニ腕車ヲ通ス

目下電燈建設中本年五月ヲ期シ山紫水明ノ處又ハ不夜城ノ現出ヲ見ルベシ

入浴費ハ一周間普通三圓ヨリ五圓迄

弊舎ハ勉テ外観上ノ虚禮ヲ排シ勸テ浴客ノ第二ノ郷里タラシト期ス

尙御望ニヨリ端書ヲ投セラレナハ詳細ナル案内書ヲ呈ス

上州草津溫泉一等旅館

望雲館

黒岩忠四郎

明治卅二年四月

五

高崎は舊大河内右京亮城下にして上陽の都會なり凡二萬餘あり市内に歩兵第十五聯隊、衛戍病院及各官衙あり當地は鐵道四通八達にして横川、長野、直江津の乗換地なり向南に吉野、富岡を経て下仁田への便鐵道あり西に澁川、四萬、草津等の温泉あり伊香保、又當町を離るる各温泉への便あり觀音山あり觀音堂あり事十餘丁に於て觀音堂あり及て其他の堂宇あり頂上に遊園地あり月十日は觀音の縁日にして遠近の老壯參詣群集して頗る賑へり

上州高崎新町停車場道眞向

慶雲館

信濃屋事

旅會 古田金五郎

廣告

標 出 神

て附札正ぬけま

豐服價廉物大服呉

地番八拾町山横市橋前

鋪服呉豊米

旅館廣告

弊店儀各位之御愛顧により日に増し繁榮に趣き難有存候弊店は旅人宿待合御料理を相兼ね瀛車御上降之御方一切之御用相辨し申尙御止宿之御方には萬事精廉に相働き料理は極めて注意可仕申殊に家屋清潔に客室には電燈電鈴之備へも有之日光及善光寺へ御參詣之御方並に伊香保、四萬、草津、澤渡り等の各温泉場へ御出で之御方へは大概弊店へ御立寄り下され尙私方庭前より澁川迄鐵道馬車の便利も有之候に付何卒倍舊御愛顧被成下度偏に願上候也

前橋市停車場前

鐵線亭

前橋市曲輪町七番地

ふちの屋

佐藤與三郎

衛生注意御便利を旨とす

旅館

前橋市豎町六十六番地

齒科醫 大野恒吉

廣告

御旅館廣告

弊店儀江湖各位之御愛顧を蒙り日に月に繁盛仕り難有奉感謝候追々御入浴之好季節とも相成り縣下伊香保、草津、四萬、澤渡り、磯部等の温泉を初め數十ヶ所の各温泉場何れに御駕を向けられ候にも當市前橋に御駐車相成候儀なれば何卒御投宿被成下度御取扱向諸事御優待仕り候間一層御眷顧を以て御枉駕賜はらんことを伏して奉祈候頓首

明治卅二年 月 日

群馬縣前橋市桑町字片原

御旅館

住よしや國太郎

上州前橋市本町十一番地

白井屋

御旅館

兼松銀次郎

敬白

磐城線

佐和停車場

上野より
八十四哩三十一併

茨城縣常陸國那珂郡佐野村大字高場にあり

石神停車場

上野より
八十三哩廿二併

茨城縣常陸國那珂郡石神村にあり

◎名所

○村松虚空堂 停車場を距ること二十町許の處にあり俗に「十三参り」といふ男女共十三歳の時に参詣せば福徳其身に生ずるとて遠近より参詣するもの多し

大甕停車場

上野より
八十七哩七十併

茨城縣常陸國多賀郡坂上村字麩の原にあり彼の百人一首にある中納言兼輔の歌に「みかのはらわきてながるといつみ川いつみきとてか戀しかるらん」とは即ち此地を咏したるものにして近傍に泉川等あり

◎名 所

○泉か森 は停車場より六町許にして森林あり老樹巨幹蒼鬱天を掩ふ中に一祠を置て天速玉姫命を祈る又境内辨天祠の傍に一清泉あり所謂泉川の水源なり水は池底より湧出し銀砂巴狀を成す里人語り曰く人其傍に立ち大聲湧たり々々と連呼すれば湧量益多しと稱し定家卿の歌を引證す「何ほとか人を戀しく思ふらんこいにもれたつ泉川かな」此地に來遊する客試に湧たり々々と呼び見るも亦一興ならむ去て大甕神社を訪ふ巨大の怪巖層々相重りて數丈の高に聳へ頂に社殿あり素盞雄命を祭る鐵鎖に纏り僅に攀るを得更に歩を轉じて左方の高地に至れば前面一碧鹿島洋の渺茫たるを見水木の磯、久慈の濱より磯ヶ濱に至る長汀曲浦一握に入る後方は富士筑波の二峯併せて眉宇に跳る馴望の勝言ふ可からず

◎交 通

久慈町へ十八町、水木濱へ十町何れも漁場にして又海水浴に適地たり、太田町へ二里二十町

◎物 産

鮮魚を第一とす

下 孫 停 車 場

上野より
九十哩六十鎖

茨城縣常陸國多賀郡河原字細内にあり

○海水浴 停車場を距ること十數町河原字の濱に海水浴場の設けあり此邊頗る風景に富み遊人の情を惹くに足るものあり

助 川 停 車 場

上野より
九十三哩六十四鎖

茨城縣常陸國多賀郡高鈴村字助川にあり當驛には高萩警察署の分署あり

◎名 所

八幡清水 は驛内にあり水質清冷如何なる旱天にも乾涸せしことなし八幡太郎東征の時箭を以て穿ち得たるを以て八幡清水と稱せり土人之を飲料とす

川尻停車場

上野より
九十六哩六十七鎖

茨城縣常陸國多賀郡櫛形村大字友部にあり川尻町は停車場を距ること二十二町の處にあり

◎神社

○蚕養神社は 停車場より廿二町境内に海水浴旅舎あり風光明媚なるを以て夏日來遊するの客非常に多し

◎名物

鱧鮓、鮮魚

高萩停車場

上野より
百三哩四十鎖

茨城縣常陸國多賀郡松原町大字高萩にあり當驛は濱街道の衝にして戸數凡う五百を有し稍々繁華なる一市邑なり近傍に手綱炭礦あり無煙石炭を産出す

◎官衙

那役所、警察署、町役場、登記所

◎名所

○手綱濱 は近傍赤濱の海岸なり白砂青松の美古來著名なり萬葉集に「遠妻四高爾有世婆不知十方手綱乃濱能尋來名益」とあるは此處なり

磯原停車場

上野より
百九哩十四鎖

茨城縣常陸國多賀郡北中郷村大字磯原にあり近傍に茨城炭礦ありて盛に採掘に従事す

◎名所

○磯原遠見所 は村内權現前にあり脚下に一島を踏みて萬頃の蒼波に對す水戸黃門此

處に於て詩あり

逆旅登高會、開懷萬里風、大津翻浪白、薄葉壓霜紅、獨秀一枝菊、

孤飛片影鴻、三杯桑落酒、興入醉鄉濃、

○天妃山 村内大北川の海に入るの處にあり古は折藻山と稱せり頂に小廟あり翠松之を掩ふ崖上に立ち海風に面せば太平洋の狂波岩に碎けて高く飛散するの狀實に壯快なり左右は白砂遠く連り漁舎點々青松の間に隠見す更に崖を下り丘後の磯邊に至れば白浪怪巖を噛み咆哮耳を聳せむとす無數の蟹兒人の至るに驚き走て岩窟に隠る其捷きこと目送に暇あらす漁父あり網を投ず尺余の銀鱗濺測として躍る又鮪を捕ふるを見るに竿頭に蟹若くは魚の頭等を結び静に窟中に挿入す鮪若之に觸れば忿て八足を延し吸着す於此徐々竿を上げれば彼亦隨て籠中の物となる或は「ヤス」を手にし波間に沈み鯛比目魚等を刺すものあり其巧みなる何れも驚くに堪へたり

○二ツ島 天妃山より十五町海中一町許の處に巨巖高さ十丈許のものあり翠松叢生又其西南に平面石あり是亦往時は島形をなせしも怒濤既に之を碎て今は僅に其幾分を残すのみ海濱に茶亭あり往來の客、景を賞して常に休憩す

關本停車場

上野より
百十三哩四十五錙

茨城縣常陸國多賀郡關本村にあり水戸方面より平瀧、勿來等に臻らむとする客は此驛にて下車さるべし

○大津町 は停車場より十六町許、海岸の一漁市にして風光明媚同町字五浦に鐘鼓洞と稱するあり岩窟にして潮來り之に激する時奇響を發するを以て其名あり又町内字佐波山に佐波々地祇神社あり郷社にして天方日奇目方命を祀る境内老松森々航海の船舶常に目標となす

○平瀧港 は停車場より十四町許連峭之を包み前面の一方僅かに開けて外洋に對す灣内は廣からざるも碇を下すに適せり海岸には棧橋を架して通路とす元來此地は濱街道の要市にして且つ沿岸唯一の港灣なるを以て鐵道開通前にありては船舶の來集するもの非常に多く隨て市内亦繁盛なりしも今や貨物は多く汽車の便に奪はれ旅客亦國道を歩するもの少く市况頓に昔日の觀なし然れども四圍の奇勝は此處を推して本

道第一とす芭蕉翁の句に「このあたり目に見ゆるものみな涼し」實に海は媚び山は秀で一岬一島皆趣を爲し殆ど狩野一派の山水を見るか如し夫より勿來の關趾を訪はむとせば國道に依り數個の洞門を過ぎ山清水媚の間を歩すると五六丁鐵道線路の側に至る茶店あり關礮の石摺及櫻石等を賣る就て順路を問ふべし此近傍は松川磯と稱し風光嶺る明媚たり

◎古跡

○勿來關趾 鐵道線路を越へ小徑を辿り山腹を登ること七八町徑窮まる處古松七八株あり之れ所謂舊關の趾にして碑あり八幡公の詠歌を刻す此地は峯巒背後に聳へ蒼海脚下を遶り眞に要害の衝にして往時關を設けたるの狀察知すべし關趾は山少しく低きを以て前面にある山頂に登れば湊近傍より小名濱迄の濱海漂渺として双眸に入る歸路勿來驛に出てもには往路を取らず北に向て進めば山徑一路自ら迷はず

勿來驛

上野より
百十六哩廿七鐵

福島縣磐城郡窪田村大字關田にあり停車場前面の海岸は頗る海水浴に適せるも僻村にして其設備なく皓砂碧海の美も只漁翁と白鷗の儘に任せり

◎神社

○花園日枝神社 是華川村大字花園にあり昔大同年間坂上田村麻呂の草創にして大物命、大山咋命、大山祇命、を祀る山高ふして溪深く老杉鬱々眞に幽靜の境なり社前の溪流に朱塗の橋を架し神橋と號す其餘廟社拜殿分靈等孰れも構造美なり

植田停車場

上野より
百十九哩十六鐵

福島縣磐城郡石城郡鮫川村大字植田にあり

◎物産

石炭、木炭、木材

泉停車場

上野より
百二十三哩五十六銀

福島縣磐城國石城郡泉村にあり當驛は小名濱港へ到るの順路とす

○小名濱港 當驛の南方附近に在る一港灣にして戸數凡九百其大半は漁業者なり

湯本停車場

上野より
百廿七哩五十三銀

福島縣磐城國石城郡湯本村にあり當驛は石炭輸出の多きこと磐城線中綴驛に亞ぎ就

中小野田炭の輸出最も多し

◎温泉

○湯本温泉 停車場所在地にして人家二百余戸を有する一市街なり温泉は田園或は人家各處に涌出し質は鹽類泉に屬し鹹味あり効能は疥癬、痲氣、痔疾、婦人諸病、儂麻質斯、痛風等に宜しといふ、浴舎數十戸就中大瀧、新瀧等の温泉宿を重ねるもの

とし料理店には柏屋等ありて食餌に不足を告ぐることなく魚類は海岸に近きを以て膳上常に鮮を味ふを得べし

◎交通

湯長谷へ二十七町、小名濱へ二里、小野田へ廿四町、上遠野村へ三里、藤原へ廿町、入山へ一里十八町、白水へ一里九町、

綴停車場

上野より
百二十九哩七十六銀

福島縣磐城國石城郡内郷村字綴にあり當驛は此線路中石炭輸出の最も多き所にして入山炭、白水炭、岡田炭、山口炭等を重なるものとす

◎鑛泉

○高野鑛泉 入の湯、出の湯、佐坐の湯を總稱して高野鑛泉と稱す停車場より一里許山間の幽地にあり泉質は亞兒加里性炭酸泉にして内腹外用共に効あり

◎交通

入山炭坑へ一里、泉炭礦へ半里、岡田、山口、兩炭礦へ十五町、以上何れも鐵道を布き當驛より日々十數回往復し出入貨車の數日々百車以上の石炭を送出す、宮炭坑へ一里

平 停 車 場

上野より
百卅二哩五十三鎖

福島縣磐城國石城郡平町にあり當驛は古へ磐城平と唱へ徳川幕府の始め鳥居忠文封を此地に受け後ち安藤信成の采地となり其城趾今尙存す停車場前丘陵の上に在るもの即ち是也地は夏井川の南岸に位して陸前濱街道の要衝に當り戸數凡り二千、人口七千余を有し此線路中最も繁華なる一都會なり

◎官 衙

郡役所、警察署、區裁判所、監獄支署、稅務署、郵便電信局、町役場

◎學 校

尋常中學校

◎銀行、會社

磐城銀行、平銀行、平勸農會社、開産會社、精米所、硝子製造所

◎神社、寺院

○子楸倉神社 停車場附近に在り延喜式内の舊社にして今は縣社に列し大同元年正月の創建なり地は一堆の丘陵を爲し平町を脚下に瞰ろし赤井嶽は目睫の間に在りて風景最も佳なり

○赤井藥師 停車場を距ること三里許赤井嶽の中腹に在り大同二年の開基とす夏秋の候夜る山上より望めは遙か洋中より無數の光火夏井河を遡り山上に向ふて來集す此地方にては之を龍燈と稱し頗る有名なり毎年舊正月晦日及舊七月廿九日祭禮あり當夜は龍燈を拜せむとして相馬及栃木地方より來詣夜を山上に徹する者萬を以て算ふ

◎旅 店

住吉屋、都田屋、大村、中屋、柳屋

◎料理店

住吉屋、山縣屋、谷口、金本

◎交 通

飯野村へ廿七町、神谷村へ一里九町、好間村へ廿七町、鹽屋崎燈明臺へ三里、好間炭礦へ一里十二町

◎市場

毎年生糸の時季に際して生糸市を開く

◎劇場

聚樂館、磐城亭(寄席)

◎物産

好間炭、薪炭、赤井粘土

草野停車場

上野より
百三十五哩七十八釐

福島縣磐城國石城郡草野村にあり

四ツ倉停車場

上野より
百三十八哩五十六釐

福島縣磐城國石城郡四ツ倉町にあり

◎古跡

停車場を距る八丁許大浦村字仁井田に新妻小左衛門氏あり祐天上人は即ち此家にて誕生せられたる處にして同地最勝院と稱する古刹には自筆の名號及九條の袈裟雨乞天神像其他雲慶の作不動明王土佐元信の筆花鳥等の什寶あり

◎物産

鮮魚

久ノ濱停車場

上野より
百四十一哩五十七釐

福島縣磐城國双葉郡久ノ濱村にあり當驛附近は線路海濱に近きを以て列車は濤聲の上を奔り白帆殆ど手に觸れもとす其風光佳絶妙絶旅客をして須摩舞子に遊ぶが如き感あらしむ夏季は海水浴に來集するの客非常に多し

◎名所古跡

○木奴美ヶ浦 久ノ濱の海濱殿神崎より北方二里余の間を總稱して木奴美ヶ浦といふ大小の巉巖水際に亂峙して或は虎狼の怒るか如きものあり或は牛馬の飲ふが如きものあり頗る奇觀を極む昔し西行法師が「東路のこぬみか濱にひと夜寝てあすやをがまん波立の寺」と咏せしは則ち此處なり

○波立薬師堂 醫王山波立寺と號し久ノ濱村大字田ノ網に在り、臨濟宗に屬し西京妙心寺の末派たり大同年間徳一大師海中より長八寸の瑠璃光如來を得收めて當寺を創建し後文明年間磐城常陸大に堂宇を修繕し今日尙儼然として其舊形を存す、境内は頗る風景に富み俗腸を洗ふに堪へたるものあり毎年舊曆六月十四、十五の兩日に大法會を執行す其式頗る盛大にして遠近より參詣するもの多し又平時は此邊の風光を愛し特に來勝するの客絶へず

廣野停車場

上野より
百四十六哩五十九鎖

福島縣磐城國双葉郡廣野村大字下淺見川にあり當停車場を距ること數丁許の海濱に

有名なる日の出の松あり翠綠鬱蒼果して幾年を経しものによ

○鑛泉

○折木鑛泉 廣野村大字折木の山間に在り泉質は炭酸冷泉にして無色透明僅かに硫化水素の臭を帯び鏡を利用して之を旅舎の湯壺に導き火力を以て沐浴に供へ夏季は浴客來り集ひ繁華を極むといふ

○神社、寺院

○榎葉八幡 廣野村大字上北迫に在り、後方の榎葉嶽は古へ源義家の陣營を布きたる處にして山腹には其舊趾依然として今尙存せり此神社の神寶として義家の軍刀、兜頭巾、鍬等を藏するは曾て祈願を籠めたる時に收めたるものなりと又境内には櫻樹枝を交へ花季遊人の來り集もの甚だ多し

○成徳寺 廣野村大字折木に在り淨土宗の巨刹にして知機山と稱し元徳元年の創建なりといふ境内の眺望快潤を極め炎暑の候と雖も苦熱を感ずることなし

○物産

石炭、木炭

木戸停車場

上野より
百五十四哩二十六銀

福島縣磐城國双葉郡木戸村大字山田岡にあり當驛は一村落に過ぎず

○天神山 停車場を距ること半里許處に在り近く海濱に接し眺望頗る佳なり

◎會社

木戸炭礦會社、木戸炭礦合資會社

◎旅店

橘屋、稻毛屋

◎物産

石炭、薪炭、木材

富岡停車場

上野より
百五十六哩三十五銀

福島縣磐城國双葉郡富岡村大字佛濱にあり當驛は戸數二百許を有する一市邑にして

熊野町へ到るの順路なり

◎官衙

郡役所、警察署、登記所

◎交通

小長ヶ濱へ一里十町、熊野町へ一里十八町、大字開墾地へ一里、上手岡鐵山へ二里八町、吹上温泉へ四里、浪倉へ一里

長塚停車場

上野より
百六十六哩二十八銀

福島縣磐城國双葉郡長塚村大字長塚にあり當驛は新山町へ到るの順路なり

浪江停車場

上野より
百六十九哩三十二銀

福島縣磐城國双葉郡浪江村大字權現堂にあり當驛は戸數五百許を有する一市邑なり

◎官衙

警察分署

◎名 所

○神鳴山 停車場より二里許山中は楓樹叢生隕霜の候は満山紅を織りて頗る美観なり且眺望の勝あるを以て夏秋の期節には來遊するもの多し

◎物 産

陶器(相馬焼に類す)

小高停車場

上野より
百七十四哩七十四鎮

福島縣磐城國相馬郡小高町大字南小高にあり當驛は戸數凡う六百を有し稍々繁華なる一市邑なり

◎旅 店

小松屋支店、小松屋本店

◎物 産

陶器

磐城太田停車場

上野より
百七十八哩二鎮

福島縣磐城國相馬郡太田村大字高にあり

◎古 跡

○小鶴池 和名抄、名所集、和爾雅等に載する所の名蹟にして停車場より十町許相馬郡太田村大字鶴谷字六斗蔭にあり池は方五間許の小池にして池畔に小鶴神祠あり社記を見るに人皇四代懿德帝の元年此地大谷澤と稱し一部落の形をなせり人皇四代孝元帝の二年村中に行徳なるものあり齡既に七十深く神明を尊信す近傍に一池あり古松一樹鬱蒼として水面を翳す一日白鶴一番來りて之に巢ふ行徳見て大に喜び毎朝樹下に來り獨り自ら樂む隅々近隣に惡徒眞門なるものあり行徳の不在を窺ひ松樹に攀ぢ巢中を探りて二卵を得歸りて鼎中に煮る行徳歸來例に依り松下に到れば双鶴飛來りて悲鳴頻に訴ふる處あるか如し行徳大に之を訝り登りて巢中を見れば卵なし怪みて眞門に問ふも偽りて答へず然れども其夜五老星眞門の家に下るを見驚き怖れて實を告ぐ行徳大に之を悲み再び其煮たる處の卵を巢中に置かしめ聊か憐心を憐す然れ

二千五百人、十月千五百人、十一月千人、十二月千人、即ち相馬妙見と稱し東北地方有名の神祠たり祭神は天の御中主大神とす今其縁記を見るに平良文同將門の崇拜する處にして曾て下總國相馬郡守屋城に鎮座せしを元享三年將門の遠孫相馬孫五郎重胤後醍醐天皇の宣旨により當國の檢斷職に補せられ同年四月廿一日太田村別所館に到着し此處を居城とし職政を施すに當り祠も亦此地に移せり爾來毎月廿一日を祭日と定む云々野馬追祭は曾て下總國小金ヶ原に於て舉行せしものにして今に至るも其例に依り年々七月一日二日の兩日附近の廣原に野馬を放ち甲冑の騎者之を追ふ頗る美看なり舊藩の頃は藩主自ら士卒を率ひ祭事を舉行せられたり停車場より十町許

原ノ町停車場

上野より
百八十哩六十三鐵

福島縣警城國相馬郡原の町村にあり當驛は戸數凡二百五十許を有し稍々繁華なる一市邑なり

◎旅 店

丸屋支店、丸屋本店

◎物 産

木材、薪炭

鹿島停車場

上野より
百八十五哩卅六鐵

福島縣警城國相馬郡鹿島村にあり

◎神 社

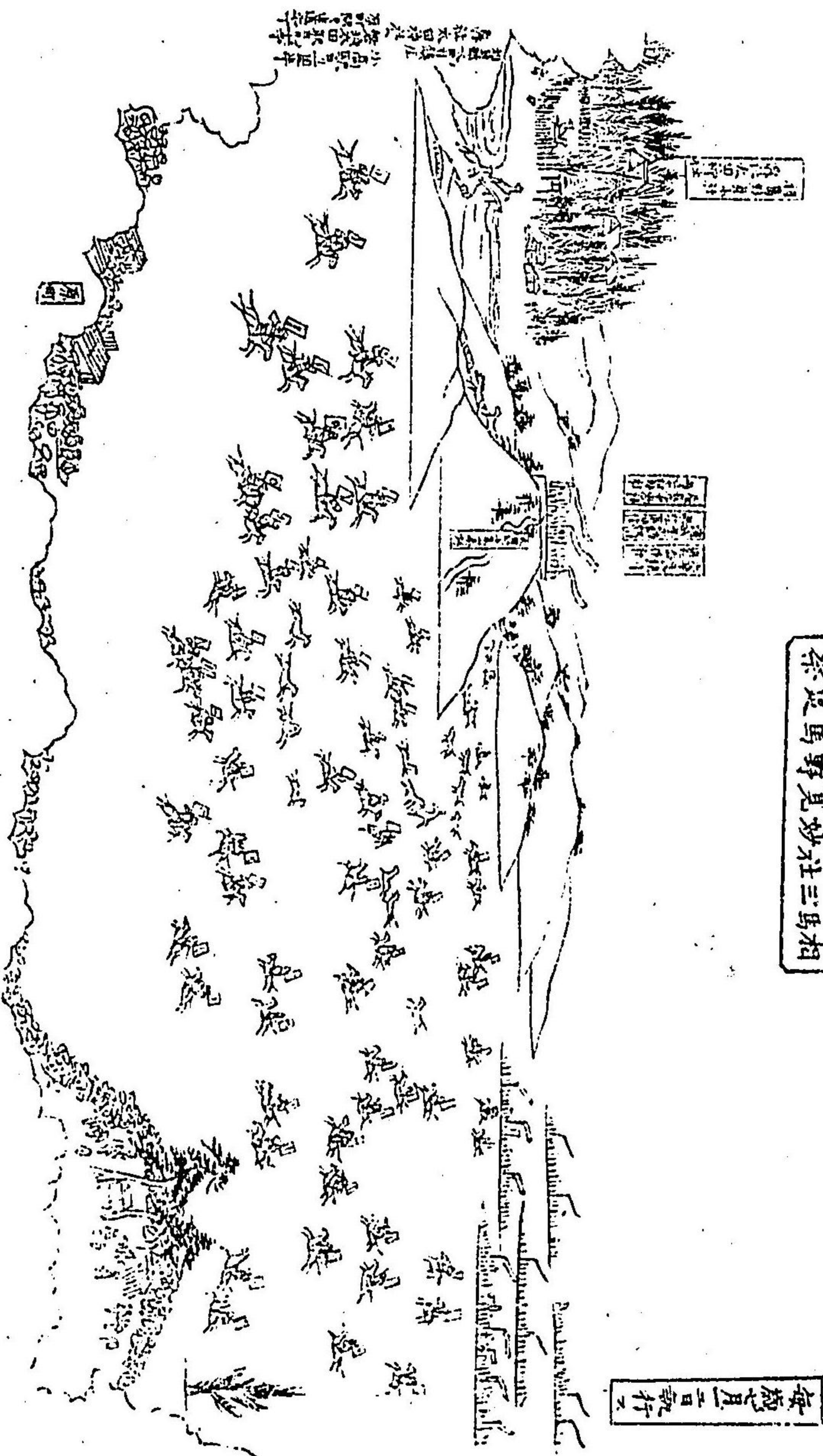
○鹿島神社 郷社にして延喜式内鹿島の神の御子天足別命を祀る、頗る古祠にして神代の創建に係るといふ神寶には神代に使用せしものと覺しき、石槌、石劔、釋空海の匾額等あり境内には喬木蓊々として枝を交へ古色蒼然蒼者をして覺ゆす神氣凛々たらしむるものあり

◎舊 跡

とも快々として樂ます家にある數日十六夜の深更に至り俄然雛鶴の啼聲を聞く怪み
 往て巢中を見れば死卵既に孵化せり行徳其奇異に感じ空卵の上を見るに異木あり取
 て之を驗すれば異香薰芬携へ歸りて神前に置く時に瀧川なるもの來りて之を見て曰
 く是れ反魂木なり鶴之を知り何國よりか取り來りて死子を活す眞に靈鳥と謂ふ可し
 と邑民之を聞き其尋常の鶴に非らざるを稱し樹下に小祠を建て小鶴大明神と號す依
 て池も亦小鶴池と稱せり云々是其概畧なり朱雀帝の承平年間延臣近清涼殿に於て
 其名跡を賞し咏歌あり「千代を經む小鶴の池し替らねは親の齡を思ひ社遺れ」千年
 とは雖にて而已や過しけん小鶴の池と云ひて久しき」近傍に碑あり文は佐藤精明の
 撰ふ處にして地の由來を記せり

◎神社

○太田神社 相馬郡太田村大字中太田にあり相馬氏累代の鎮祠にして參拜者常に多し
 祭日は舊正月一日、二日は元朝參りと稱し又陽曆七月一日、二日は野馬追祭りと稱
 し賽詣者萬を以て算ふ今毎月の參詣者を算するに一月千人、二月六千人、三月二千
 人、四月二千五百人、五月二千五百人、六月千人、七月三萬人、八月二千人、九月



二千五百人、十月千五百人、十一月千人、十二月千人、即ち相馬妙見と稱し東北地方有名の神祠たり祭神は天の御中主大神とす今其縁記を見るに平良文同將門の崇拜する處にして曾て下總國相馬郡守屋城に鎮座せしを元享三年將門の遠孫相馬孫五郎重胤後醍醐天皇の宣旨により當國の檢斷職に補せられ同年四月廿一日太田村別所館に到若し此處を居城とし職政を施すに當り祠も亦此地に移せり爾來毎月廿一日を祭日と定む云々野馬追祭は曾て下總國小金ヶ原に於て舉行せしものにして今に至るも其例に依り年々七月一日二日の兩日附近の廣原に野馬を放ち甲冑の騎者之を追ふ頗る美看なり舊藩の頃は藩主自ら士卒を率ひ祭事を舉行せられたり停車場より十町許

原ノ町停車場

上野より
百八十哩六十三鐵

福島縣磐城國相馬郡原の町村にあり當驛は戸數凡二百五十許を有し稍々繁華なる一市邑なり

◎旅店

丸屋支店、丸屋本店

◎物産

木材、薪炭

鹿島停車場

上野より
百八十五哩卅六鐵

福島縣磐城國相馬郡鹿島村にあり

◎神社

○鹿島神社 郷社にして延喜式内鹿島の神の御子天足別命を祀る、頗る古祠にして神代の創建に係るといふ神寶には神代に使用せしものと覺しき、石槌、石劔、釋空海の匾額等あり境内には喬木萎々として枝を交へ古色蒼然賽者をして覺せず神氣凛々たらしむるものあり

◎舊跡

鹿島神社の北西に方り北畠顯家牙城の趾あり壽勝山といふ、又眞野の長者居館、眞野の入江、片葉の葦などいろくの舊跡あり

中村停車場

上野より
百九十三哩二十三釐

福島縣磐城國相馬郡中村町にあり當驛は舊相馬家の城邑にして陸前濱街道の要衝に當り戸數凡一千、人口六千余を有し此線路中平驛に亞ぎて繁華なる一都會なり

◎官 衙

區裁判所、郡役所、警察署、町役場、登記所

◎名 所

○松川浦 中村町より二里弱にして到るを待へし烟霞縹渺清波湛然たる處に島影横はり青松白砂相映じて風光拭ふが如し此地に至らんには中村よりの途中松が浦茶店より舟を僦ひ浦中の奇勝を探りて水葦山に至り舟を白砂の畔りに捨て一華表をくゞり翠松の間數十段の石階を攀れば夕顔觀音の堂下に出づ是れ松川浦の全景を一眸の

裡に收むるの處たり更に堂後を廻り山端に出れば忽ち斷壁直下數百尺太平洋の奔瀉其下に衝り碎けて飛散し大浪の至る毎に地爲めに震ふ眞に壯快と謂むより寧ろ悽然たり古へより此處に立ち伏瞰して回潮の奇を見むとし瞑眩陥り死するものありと樹に絶り僅かに首を延て下瞰するも猶粟肌の想あり然れども馳望は實に第一たり前は太平洋の蒼波天と連り左右は鹿島岬より金華山迄一帶の長汀奇趣をなし脚下には所謂松川浦の十二勝あり四顧の風光眞に曠世の概あり其十二勝の名稱を擧れば

- 一 松川浦 二 水葦山 三 飛鳥の湊
- 四 松沼の濱 五 離崎 六 川添森
- 七 文字島 八 紅葉園 九 沖ヶ島
- 十 梅川 十一 鶴巢野 十二 長洲の磯



而してこれに就き一々國風の傳はるあるも今は省きぬ、要するに松川浦の勝景は陸前の松島と相比敵して更に甲乙あるを見ず而かも松島の汎く知られたるに反して此地の普く知られざるは地僻にして行旅の不便なりし故ならむも鐵道の便開けし以來常に來賞するの客頗る多く近來貴顯紳商の地を相し別墅を建るものあるに至れり

◎神社

○相馬神社 は相馬城趾に在り相馬家高祖十一世の孫相馬次郎師常の神露を祀り明治十二年九月特に官許に依りて縣社に列せられたり境内には何れも花卉多く眺望に富み雅客の杖を曳ひて來り遊ふもの常に絶へず

◎旅店

満月樓、最上屋

◎物産

相馬焼を重なるものとし其他木材、木炭等

新地停車場

上野より
百九十八哩六十四鐵

福島縣磐城國相馬郡新地村にあり

◎物産

鮮魚

坂元停車場

上野より
二百二哩十二鐵

宮城縣磐城國亘理郡坂元村にあり

◎物産

鮮魚

吉田停車場

上野より
二百七哩三十鐵

宮城縣磐城國巨理郡吉田村にあり當驛は角田町へ到るの順路なり

巨理停車場

上野より
二百十哩三十七銀

宮城縣磐城國巨理郡巨理町にあり當驛附近に阿武隈川の流れあり就て水運の便を得
へし鐵橋の長さ二千三百六十五呎

◎古跡

○抽矢澤 寛治の役、八幡太郎義家の臣鎌倉權五郎景政、敵將鳥海三郎の爲めに左眼を射られしも合戦最中の事として其矢を抽くの暇なく其儘三郎を斃し而して後ち矢を抽きて此澤に投棄せりと澤は當驛の東北阿武隈村字榎袋に在りといひ傳ふれども今や分明ならず

磐城線終り



日本海陸保險株式會社

(電信略語發信社名「カイリク」)

(電話東七百六十六番
東千二百三十番長距離加入)

東京市日本橋區瀬戸物町十一番地

同東京出張所

電話本局(千七番
千百十番長距離加入)

● 毎日海陸一般船舶貨物ノ保險業務ヲ取扱申候規則書類ハ御望次第進呈スベシ

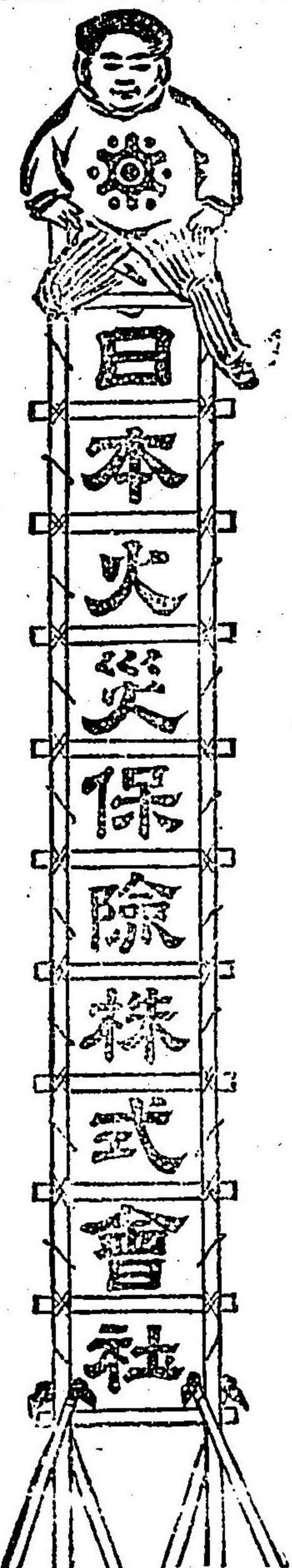
● 東京出張所ニテハ日本火災保險株式會社ノ代理店ヲ引受
輕便且迅速ニ保險契約申候

廣告

廣告

五二

- 當會社ハ資本金壹百萬圓其他積立金アリ
 - 當會社ハ輕便且迅速ニ保險ノ申込ヲ受ク
 - 當會社ハ御申越次第規則書送呈ス又各地
- 代理店アリ



日本橋區瀬戸物町(電話本局千七番
千百十番長距離加入)

本社 大阪市の島 代辨店 日本海陸保險株式會社

東京出張所

信谷 陸奥 興 水 止 三 井 酒店 前

MITSU HOTEL

opposite Station
Sendai Proprietors
Senacke

Handwritten Japanese text: 陸奥興水止三井酒店前

廣告

五三

紙聞新の第一北以京東

報新北河

うぼ んし くほ か

不偏不黨
不羈獨立

定價一ヶ月貳拾七錢
廣告料一行拾貳錢



仙臺市東三番町八十二番地

河北新報社

廣告

五十四

野州小山停車場前

御旅館 角屋満司

弊店は停車場接近に付御乗車
下車には殊に御便利に御座候

下野國日光町

神山徳平

全停車場前右角

神山支店

日光旅館

本店は町の中央に有之日光廟に近く停車場に遠からず室内清潔にして
廣間多く且つ間に電燈の設け有之特に眺望佳絶にして空氣の流通極
めて宜く料理は衛生を専らとし新鮮のものを調進し百事懇篤に御取扱
可申候に付御來光の節は御投宿之程希上候

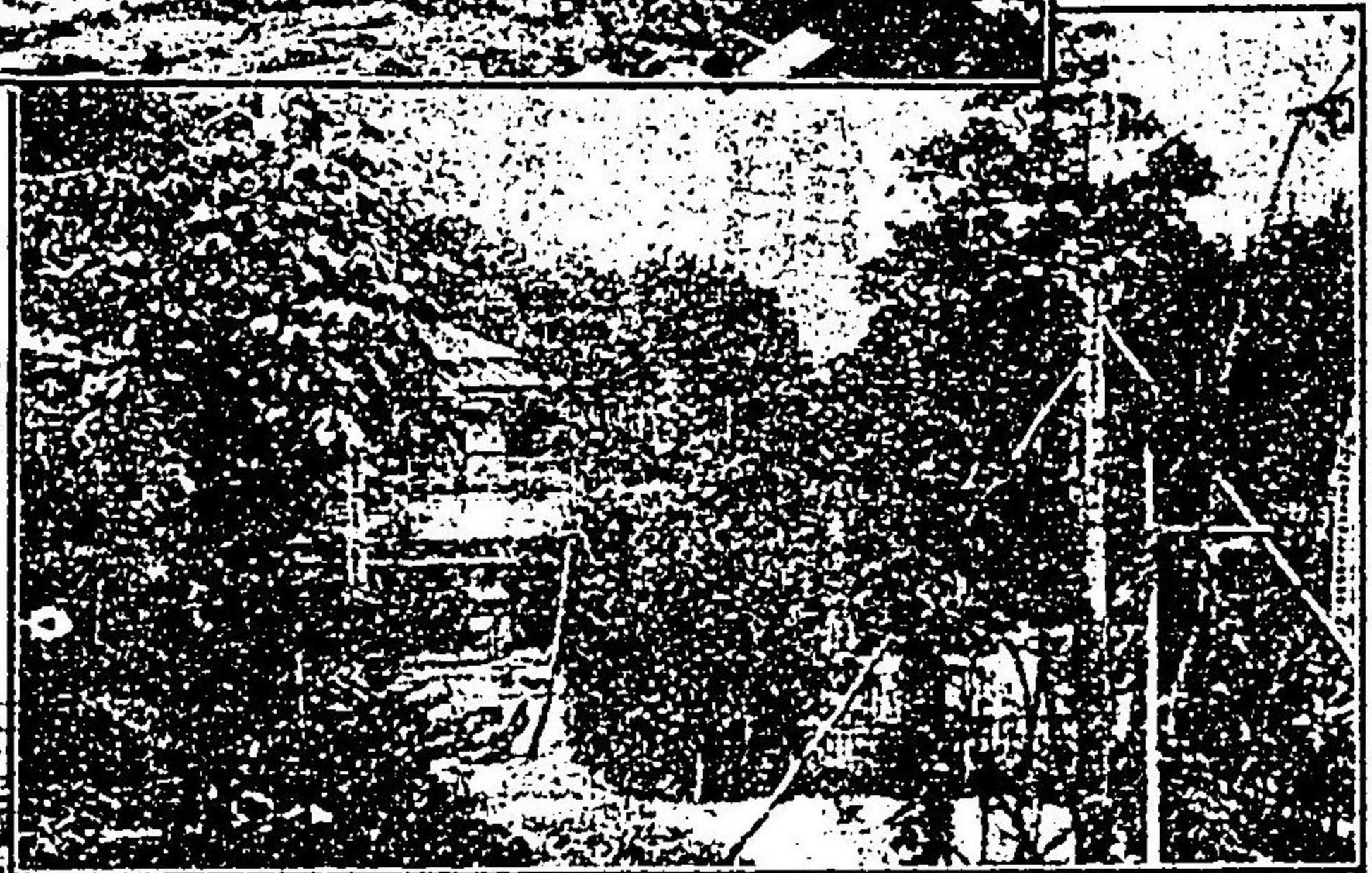
廣告

五十五

廣告

日光旅館

小西別館よ眺望の景



小西別館の圖(其二)



小西別館の圖(其一)

五六

當本店及別館は日光廟接近の地にして社廟拜覽諸名所御漫遊に最便利なり就中別館は土地高燥にして空氣清涼西南に男體山を眺め東北に大谷の清流を望み風景最も佳絶を極む殊に客室其他に電燈を利用し器具最清潔食物は和洋折衷に専ら衛生に注意せり仰き願くは當地御漫遊の諸彦陸續御投宿あらんとを希望仕候

日光 神橋前 旅館 小西喜一郎本店

全 全 別館
全 支店
停車場前

(私設電話)

本支店別館の間

廣告

四七

商口
保管預り
倉

創業 明治廿年四月十五日
資本金 五拾萬圓
東京倉庫株式會社
東京市芝川區小島町七番地
電話一三二番

東京倉庫株式會社
大坂支店
大坂市北區中ノ島五丁目九十一番
電話一三一番

東京倉庫株式會社
兵庫支店
神戸市兵庫今出在家町二丁目二番
電話七二番

日光旅館

衛生專一
晃銅館

電話 尾足銅山 晃銅館 有設間

支店は停車場前に
有之御乗車下車の
華客に對し町喧懇
切の取扱を爲す

日光録石二丁目
あづや本店
同停車場前
あづや支店

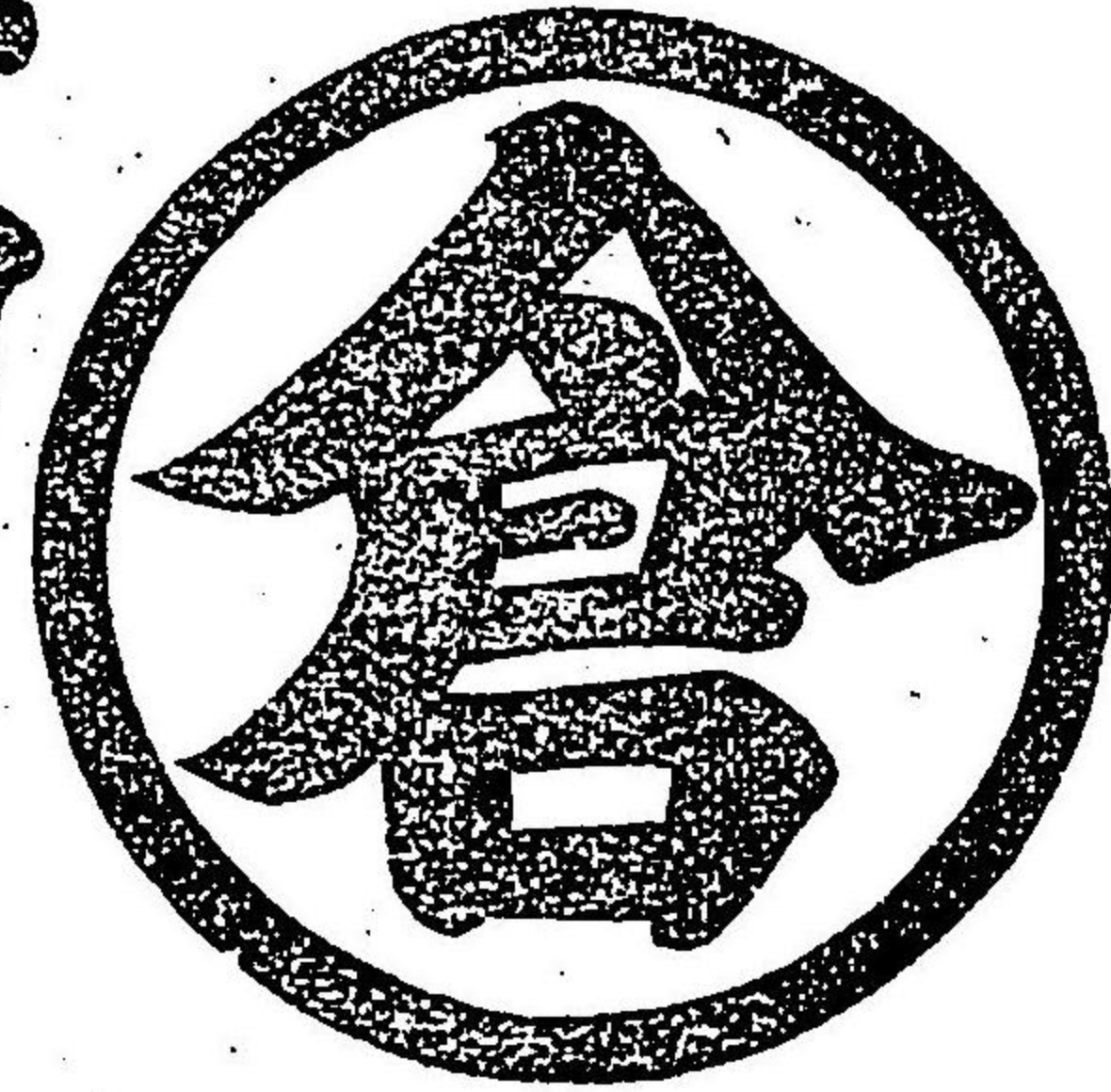
本店は停車場を去る
僅に數町裏に三層の
高樓を有し居ながら
山水の眺望に富む

廣告

八

廣告

商口
保管預り



創業 明治廿年四月十五日
資本金 五拾萬圓

東京倉庫株式會社
東京市深川區小島町七番地
電話現花二二三番

東京倉庫株式會社
大坂支店

大坂市北區中ノ島五丁目九十一番邸
電話一三一番

東京倉庫株式會社
兵庫支店

神戸市兵庫今在家町二丁目二番邸 電話七二番

日光旅館

一 專 生 衛

館 銅 晃

有設間 山銅尾足 話 電

切の華有支
取客之店
扱に御は
を對乘停
爲し車車
す町下場
驛車前
のの

日光旅館
あらいづや支店
同傳車場前
あらいづや支店

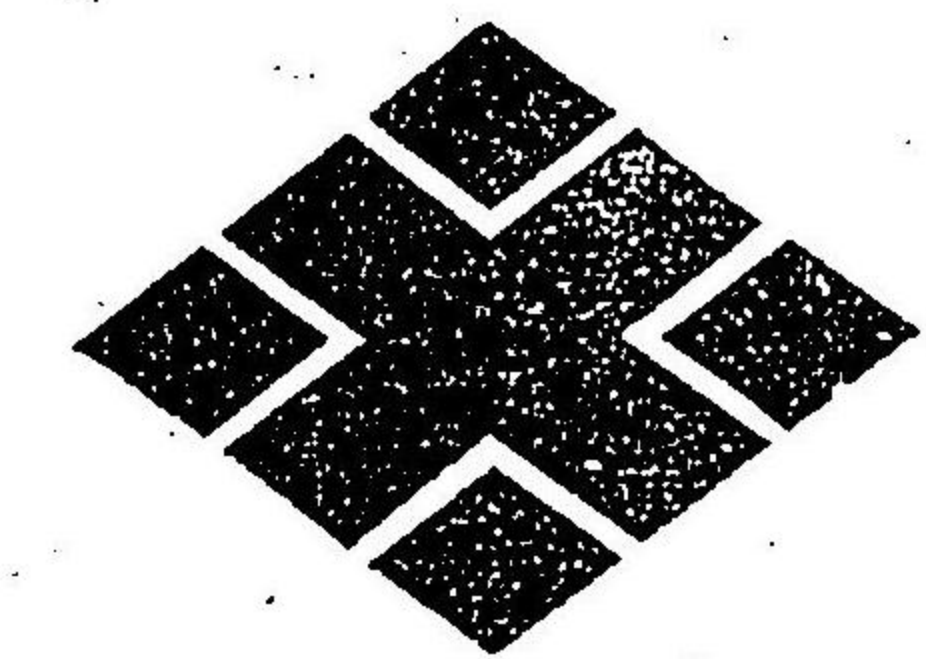
本店は停車場を去る
僅に數町裏に三層の
高樓を有し居ながら
山水の眺望に富む

廣告

八

廣告

一當會社ハ當會社管理ノ倉庫ニ貨物ヲ預リ其貨物ニ對スル預證
 券ヲ發行シ又其貨物ニ對シテ貸付金ヲ爲ス
 一當會社ノ預證券ハ諸取引所ニ於ケル賣買受渡ニ供シ又其證據
 金ノ代用ニ供スルコトヲ得



東京市深川区黒江町三十一番地

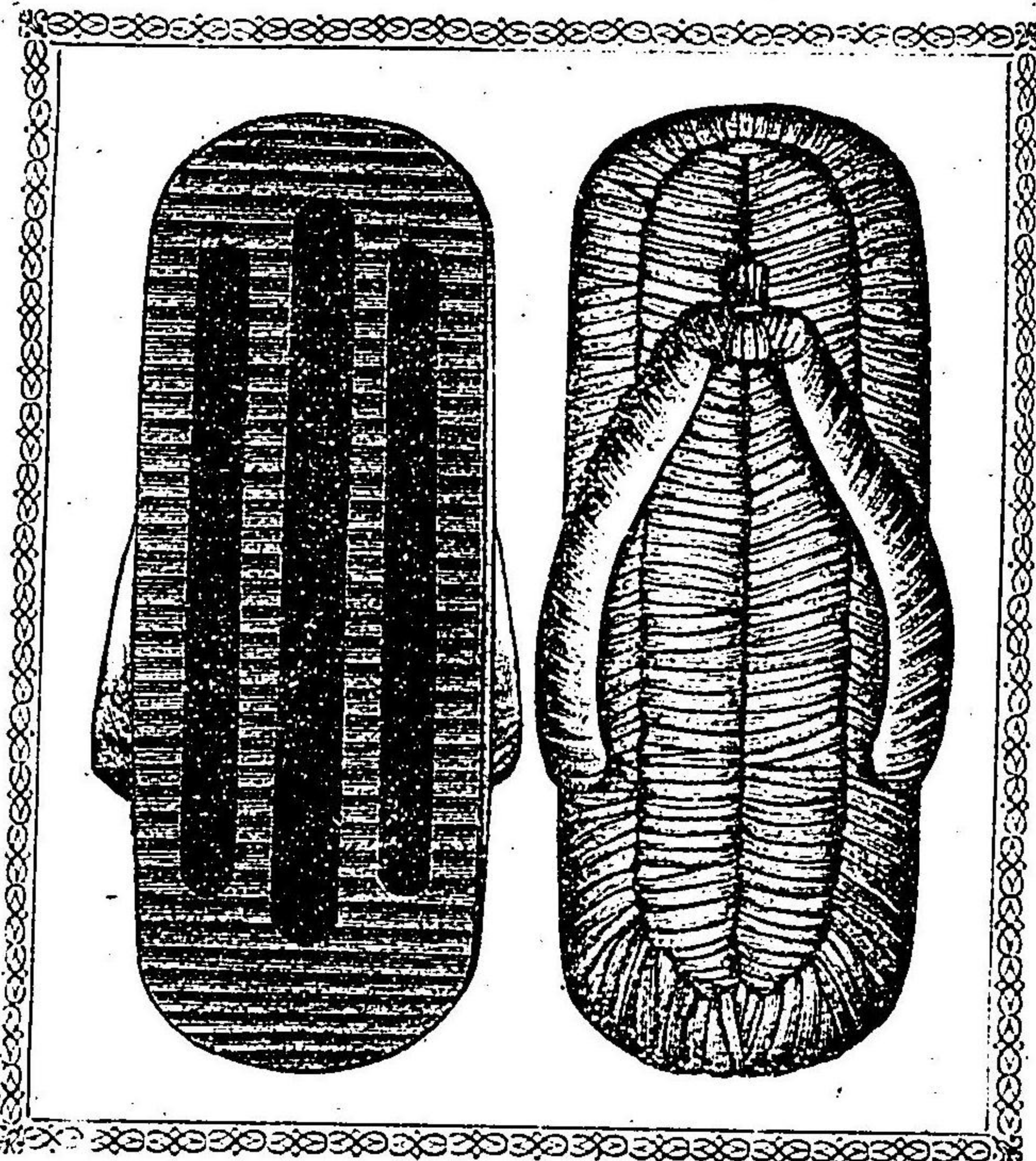
米倉庫株式會社

(電話浪花六七番)

一當會社ハ其保管ノ貨物ヲ賣却セントスル時ハ其幾部分ニテモ
 貨主ノ望次第之ヲ内出スルノ便利アリ
 一當會社ハ貨主ノ望ニ據リ其保管物賣捌代金ノ取立及決算送金
 ノ取扱ヲ爲ス

專賣特許出願中

裏表



衛生護謨草履

十文 金參拾參錢
 外ニ大中小各種有之候

廣告

この衛生草履は名の如く衛生上に最もよく
 しき高申す迄もなく経済上非常な利益を
 決して不常にはあらざるべし先づ其要領を
 摘んで記すれば第一この草履は裏の全面に
 弾力ある厚き護謨を縫ひ合せたるを以て麻
 草履に比し又雪駄の如く砂塵を起す音を生
 ぜず且つ足あたり柔らかなるべし遠路を歩
 れば腰防の一方と雖も脚氣病の人は常に用
 出校、諸會社、病院、船中、諸屋敷、論
 業中、静謐な所、船中、諸屋敷、論
 草履は其裏が例へば如何に土に汚され
 も原草履に比し清潔となれば一足にて上
 を兼ねるを得べし
 この草履は護謨製なれば其代價は麻製より
 は少し高値なれども麻製の如く急に敗れ損
 する例なく丈夫なるも麻製の七八倍なれ
 徳用なるは弊店の保證する所なり希くは
 回試みて前言之虚偽にあらざるを知り玉へ

エライツ顯微鏡日本一手販賣
 學校用身體檢査器械販賣

東京市日本橋區本町
 三丁目十四番地

田中全次郎

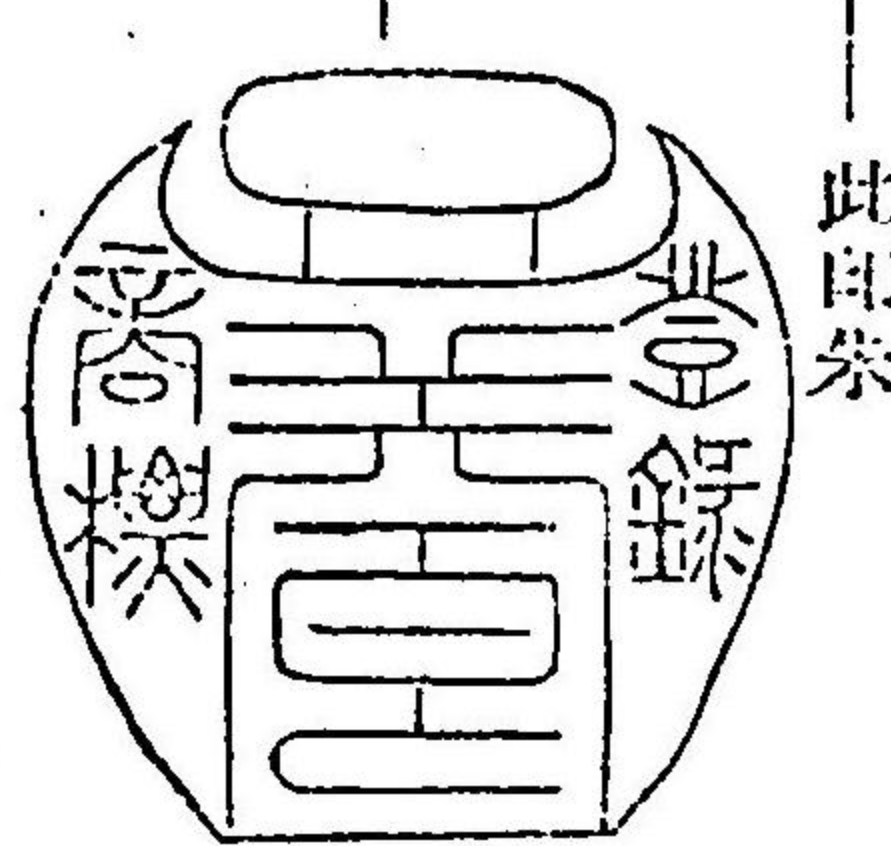
電話本局千五百二十番

三

登録商標廣告

此文字
登録
商標

實母散



我家傳の實母散は、元祿年間はじめて調劑發賣してより方に二百有餘年、婦人産前産後血の道等に特効著しきが故に(實母散)とは名くれども、亦男女の感冒痰咳頭痛鬱症其他諸症に於ける効驗の實證は夙に日本全州に知渡り近時及では臺灣支那朝鮮濠洲に迄も普及して、益々發賣の高を増進するに至れり然るに(實母散)と名けたる同名異種の類藥世間にはあるが上、甚しきは喜谷の名まで濫用して、偽藥を賣り以て世を欺き己を利する者あり、我深く大方諸君が是に誤られん事を懼れ、今度上包紙へ(喜谷實母散)の全部を登録商標となし以て、他の偽藥を防ぐ事とはなしぬ、願くは諸君、我家調劑の正真なる實母散を購求するに臨みては、此商標たる(喜谷)の文字に注意し玉へ、謹て此事を稟告す

官許本家

東京市京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門



明治十年創業

陶磁器問屋



大盛合資會社

(社長前田梅三郎)
日本橋區箱崎一丁目二番地
(電話花八番)

多治見支店

岐阜縣下土岐郡多治見町

明治廿六年改稱

廣告

東京市日本橋區濱町三丁目一番地

陶業株式會社

- 瀬戸焼** (本業焼) 瓶類、植木鉢類、水滌器、水鉢、敷瓦、便器類、摺鉢、紅鉢、火鉢、トシ、茶器類、食器類、片口類、其他品々
- 信樂焼** 茶壺類、土瓶類、燈器類、德利、火鉢、便器、トシ、其他品々
- 堺焼** 摺鉢
- 伊賀焼** 土瓶類、鍋類、其他品々
- 益子焼** 瓶類、土瓶類、德利類、摺鉢、銅類、其他品々
- 笠間焼** 瓶類、摺鉢類、其他品々
- 常滑焼** 土管、水瓶、燒耐瓶、外品々
- 三州焼** 焜爐及火鉢
- 高田焼** 酒屋德利、印附御好次第

新坑採掘石炭之義從來之石炭ニ比シ品質一層佳良ニシテ

瀛船之焚料、瀛車用、各器械場、各工場、ストウフ用

ニ使用シ優等ノ成績アルモノナリ御實試ノ上御評判之程奉願上候

岡田炭新坑開始

東京市日本橋區小網町三丁目廿五番地

② **岡田炭坑事務所**
 (電話浪花千四百七十五番)
 磐城國石城郡内郷村字白水大字不動澤

岡田炭坑礦業所
 横濱市松影町三丁目百九番地

岡田炭坑横濱出張所
 村山捨吉(電話六百四拾三番)

地方賣捌店

仙臺鹽釜港 白石廣造
 下野國足利 峯岸定兵衛
 下總國取手 海老原繁藏
 東海道藤澤 今井忠三郎
 内藤新宿 池組石炭商店

社會名合産物井三女者賣販手一

●兩毛線

栃木停車場
 小山より
 六四六十鐘

栃木縣下野國下都賀郡栃木町宇沼和田にあり昔し昔川秀光の居城なり廢藩置縣の時
 栃木縣廳所在の地なりしが明治十七年縣廳の宇都宮に移されてより其繁華前日に及
 ばずと雖尙一小都會たるを失はず

官 衙

都役所、地方裁判所支部、區長判所、警察署等

學 校

栃木縣第二中學校

名 所

○太平山 栃木町の西一里許に在り山上に三光神社ありて慈覺大師の草創にかゝる元
 治元年水戸の浪士天狗連の栖籠りし處なり幽邃にして眺望亦佳なり其近傍に錦着山

新坑採掘石炭之義從來之石炭ニ比シ品質一層佳良ニシテ

汽船之焚料、汽車用、各器械場、各工場、ストーヴ用

御實試ノ上御評判之程奉願上候

新坑採掘石炭之義從來之石炭ニ比シ品質一層佳良ニシテ

御實試ノ上御評判之程奉願上候

岡田炭新坑開始

東京市日本橋區小網町三丁目廿五番地

岡田炭坑事務所

(電話浪花千四百七十五番)

警城國石城郡内郷村字白水大字不動澤

岡田炭坑礦業所

横濱市松影町三丁目百九番地

岡田炭坑横濱出張所

村山格吉(電話六百四拾三番)

地方賣捌店

仙臺鹽釜港 白石廣造

下野國足利 岸定兵衛

下總國取手 海老原繁藏

東海道藤澤 今井忠三郎

内藤新宿 旭組石炭商店

●兩毛線

栃木停車場

小山より
六哩六十鎖

栃木縣下野國下都賀郡栃木町字沼和田にあり昔し皆川秀光の居城なり廢藩置縣の時
栃木縣廳所在の地なりしが明治十七年縣廳の宇都宮に移されてより其繁華前日に及
ばすと雖尙一小都會たるを失はず

◎官 衙

郡役所、地方裁判所支部、區裁判所、警察署等

◎學 校

栃木縣第二中學校

◎名 所

○太平山 栃木町の西一里許に在り山上に三光神社ありて慈覺大師の草創にかゝる元
治元年水戸の浪士天狗連の楯籠りし處なり幽邃にして眺望亦佳なり其近傍に錦着山

と稱するあり櫻桃躑躅多く花時は頗る美觀なり

○伊吹山 下都賀郡にあり昔は此邊に艾草多く生じ伊吹艾とて其名高かりし

◎旅店料理店

旅店は停車場前に吉野、魚樂支店等市中に金牛、鯉安等あり鯉安は料理店を兼ね

◎交通

壬生町へ二里十町、合戦場へ一里、鍋山へ三里、吹上村へ二里、瑞穂村へ一里半

富山停車場

小山より
九哩四十二鎖

栃木縣下野國下都賀郡富山村にあり

岩舟停車場

小山より
十二哩〇二鎖

栃木縣下野國下都賀郡岩舟村大字静にあり停車場の背後に岩石壘々たる山あり山上に其形舟を倒さまにしたるか如き岩あるを以て名けて岩舟山と云ふ岩舟地尊を安置

し春秋の彼岸には參詣頗る多し

佐野停車場

小山より
十六哩四十六鎖

栃木縣下野國安蘇郡佐野町にあり人家稠密商業亦繁盛なり

◎官衙

郡役所、警察署、區裁判所、郵便電信局

◎銀行

佐野銀行

◎古跡

○佐野古城 は慶長七年佐野信吉徳川家康の命に従ひ唐澤山より移りて築く所なり慶長十九年家絶ゆ城趾は今公園となりて八州園と呼び花は月に士女來遊の地となり
○唐澤山 田原藤太秀郷の城趾にして當驛を距ること一里餘山上は頗る開豁にして兩毛の平野を隔て甲信の諸山を望み天際遙かに富士の秀峯に面す四時來遊の客絶ゆる

事なし山上に唐澤山神社あり

◎神社寺院

○朝日森天満宮 郷社にして停車場より六町許華表より社前迄約三町許の間兩側に梅樹を栽す

○佐野大聖院 は停車場より約十五町寺内に櫻樹あり皆垂枝にして花時は美觀比なし又梵鐘は日本三名鐘の一にして周圍に大般若經の全部を鐫めり

◎旅店

齋藤樓、小林源盛

◎交通

越名葛生間には佐野鐵道あり又箱林へは二里寄合馬車の便あり

◎物産

織物、生糸、石灰、錫物

富田停車場

小山より
十九哩三十銀

栃木縣下野國足利郡富田村大字駒場にあり

○元三大師 は停車場を距ること十八町富田村字寺岡にあり舊曆正月三日の縁日には頗る賑ふ

足利停車場

小山より
二十三哩六十二銀

栃木縣下野國足利郡足利町大字足利にあり尊氏勃興の地とて其名高し西北の山上には今尙城趾あり此地機業頗る盛にして年々の産額非常の數なり市街爲めに殷賑を競へり

◎官衙及學校

郡役所、警察署、郵便電信局、栃木縣工業學校

◎新聞社

兩毛實業新報

◎古跡名所

○足利學校 足利町の北裏に在り淳和天皇の天長年間に小野篁の創建なりといひ或は

國學の遺制なりともいふ朝綱衰へてより學政も亦隨て廢絶せしが永享年間上杉憲實此校を中興し漸く盛なるに至れり校内は古器古書等の見るべきもの少なからず境内にある聖廟は其當時の建築なり

○大日如來 金剛山鑿阿寺と號す眞言宗にして足利義兼の創建する有名の古刹なり

○足利公園 町の西端にあり境内の古墳には學術上有要の考證物ありしと渡良瀬の清流に對し風光明媚

○長都路の櫻 停車場より一里北郷村大字大月にあり小流を狹んで長堤凡う一里櫻樹叢生す花時士女の來遊するもの多し

◎旅 店

初谷、古久屋、巴屋等

◎物 産

織物

◎市 場

織物市場二ヶ所あり五、十の日を市日とす

山前停車場

小山より
二十六哩五十二鑽

栃木縣下野國足利郡山前村にあり

○太田香龍禪師 停車場より二里許太田町大光院に安置せらる參詣人常に絶へず新田神社は大光院の後なる金山に在り新田義貞の靈を祀る

小俣停車場

小山より
二十九哩三十四鑽

栃木縣下野國足利郡小俣村にあり此地昔も澁川義勝の居城にして始め上杉謙信に屬し後北條氏に降る雞足山に其城趾今猶存せり

桐生停車場

小山より
三十二哩七十四哩